

令和6年度第2回一関市まち・ひと・しごと創生有識者会議

日時 令和6年8月30日（金）午後1時30分～3時
場所 一関市役所2階 大会議室

次 第

1 開 会

2 協 議

- (1) 次期計画策定に係る市民ワークショップの結果について
- (2) 次期計画策定に係るアンケート調査の結果について
- (3) 次期計画策定構想体系案について

3 その他

4 閉 会

ワークショップ結果【概要】

【資料No.1】
令和6年度第2回まち・ひと・しごと創生有識者会議
令和6年8月30日(金)

1 ワークショップの概要

(1) テーマ

- ア 一関の「現状」「課題」を考える
- イ 一関の「未来」を考える

(2) 内容

- ア 一関の「現状」「問題点」を考える
 - 一関の「現状」「問題点」を確認するために、一関の強み（良いこと、頑張っていること、資源）、弱み（改善したいこと、困っていること）について意見を出し合った。
- イ 一関の「未来」を考える
 - ・ 一関の「未来」における「現状・問題」に対してどのような状態が理想なのか」について意見を出し合った。
 - ・ 出された意見を踏まえて一関の未来に起きる事象を時系列順に整理した。

(3) 日時・場所

【一関会場】

日時 令和6年7月20日(土) 9:00～12:00
場所 一関市役所2階 大会議室

【千厩会場】

日時 令和6年7月20日(土) 14:00～17:00
場所 一関市役所千厩支所2階 大会議室

(4) 実施体制

- ・ 市内高校生、高専生、関係機関職員、一般公募の参加者を2会場で各6グループに編成
- ・ 企画、運営を総合計画策定支援業務委託業者（株式会社邑計画事務所）に依頼、各グループにファシリテーターとして参加
- ・ 総合計画審議会ワークショップ部会の委員12人に、オブザーバーとして各グループに1名ずつ入っていただいた。

2 参加者数

- (1) 一関会場 26人
高校生 11人
高専生 2人
関係機関 7人 (商工会議所2、JAいわて平泉1、一関市社会福祉協議会2、子育て支援団体1、いちのせき市民活動センター1)
一般公募 6人
- (2) 千厩会場 29人
高校生 9人
高専生 2人
関係機関 10人 (商工会議所3、JAいわて平泉1、両磐インダストリアルプラザ1、一関市社会福祉協議会2、子育て支援団体2、いちのせき市民活動センター1)
一般公募 8人

3 ワークショップの結果

別紙のとおり

※総合計画策定支援業務委託業者が、2会場で出た意見を分類し整理したものの。

今後、基本構想の「将来像」「基本目標」を検討していく過程で、分類などを再整理していく。

4 ワークショップの結果から基本構想策定までの流れ

- R6.8.29 第3回総合計画審議会ワークショップ結果に対する意見聴取
- R6.9.3 総合計画審議会委員ワークショップ部会においてワークショップ等の結果から基本構想の「将来像」「基本目標」の案を検討
→事務局（政策企画課）において基本構想素案作成
- R6.9.27 第4回総合計画審議会基本構想素案を審議
- R6.10 パブリックコメントなどで意見聴取
- R6.12 総合計画審議会からの答申
- R7.3 2月通常会議へ提案

1. 一閃の「現状」「課題」を考える【一閃の強み・弱み】

Strong 強み (良いこと、頑張っていること、資源)	分類	Weakness 弱み (改善したいこと、困っていること)
<p>■まち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思い出の場所:市外に出ても、良い思い出があるため戻ってきたいと思う人が多い。 ・地域への愛着:旧町村ごとに地域への強い思い入れがある。 ・豊かなまち:まちが豊かで個性があるため、人々の気持ちも豊かである。 <p>■人間性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優しく穏やかな住民:ルールを守り、優しく穏やかな人が多い。 ・強い地域の絆:高齢者が元気で、地域の絆が強く、人とのつながりが深い。 ・礼儀正しさと活動的:地域の活動に積極的に参加する元気な高齢者が多い。 	<p>全般</p>	<p>■まち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域間の格差:市内の地区によって、人口やお店、サービスに大きな差がある。 ・連携不足:地区間での連携がなく、一体感が欠けている。 ・住民自治の意識不足:官民ともに住民自治に対する意識が低い。 <p>■人間性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過干渉な文化:周囲の人々の過干渉や、長男文化に対する不満がある。 ・個の尊重が強い:個の尊重が強調されすぎて、若い人が集団活動に消極的になっている。 ・消極的な大人:大人たちが子どもたちに模範となる姿を見せられていない。
<p>■産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業と企業誘致:工場が多く立地し、企業誘致にも積極的である。 ・まちの賑わい:若い人が経営するオリジナリティ溢れるカフェや本屋があり活気があ る。 ・一次産業と食の豊かさ:米や野菜が美味しく、道の駅では安くて新鮮な食材が手に入 る。 <p>■雇用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職以降:一旦は県外に進学しても地元や県内への就職志向がある人が多い。 <p>■観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊富な観光資源:巖美渓や狛鼻溪、あじさい園などの観光スポットに加え、温泉、キャンプ場、水辺公園などの自然豊かな観光資源が充実している。 ・文化と体験:郷土芸能や舞草刀などの歴史文化、また祝鼻溪での飲食や体験が観光コ ンテナツツとして完璧である。 	<p>産業・雇用・観光</p>	<p>■産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来への投資不足:企業や自治体が目先の利益を追求し、未来への投資をしていない。「まちのため」という考え方が地域の企業に欠けている。 ・まちの賑わいの低下:商店街がシャッター街化し、若者が遊べる場所や施設が少なく、高齢者は買い物難民になるおそれがある。 ・一次産業の課題:農業や林業への新規就業に興味を持つ人々への支援が不十分である。 <p>■雇用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職票摺の課題:就業先の選択肢が少ない。また、女性の労働人口が少なく、福祉施設職員の賃金が安いことも課題となっている。 <p>■観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通過型観光の課題:一閃は観光の通過点として利用されるためお金が落ちない。 ・観光スポットの連携と交通の不便さ:市内観光スポットを周遊する回り方や交通手段が確立されておらず、周遊が難しい。
<p>■交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの多様化と参加:TGCや音楽イベントなどの若者向けのイベントが活発。キッチンカーの出店などにより、イベント時の賑わいが増している。 ・住民が楽しめる豊富なイベント:地域ごとに夏祭りや夜市などの祭りがあり、住民や市外からの参加者も多い。 <p>■交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域の交通環境:盛岡、仙台、東京に気軽にに行ける立地で、山や海にも1時間で行けるため、広域の移動が容易である。 <p>■地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の結束と行事:地域に強い結束があり、地域行事が豊富で盛んに行われている。 ・高齢者の活躍と地域貢献:お年寄りが地域のリーダーとなり、地域の地盤を支えている。 ・協働とインフラ:市民と行政の距離が近く、行政が市民活動に協力的である。 	<p>交流・交通・地域づくり</p>	<p>■交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場づくりと出会いの場:交流のための場づくりが難しく、枠にとられない自由な交流の場が不足している。また、結婚の出会いの場が少ない。 ・世代間と国際交流の不足:世代間の交流が少なく、若者に必要な情報が届いていない。外国人との交流機会も不足している。 ・情報発信とイベントの問題:市のSNS発信が若者向けになっておらず認知度が低い。 <p>■交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の問題:市街地中心部の公共交通は良好だが、市街地以外では交通の便が悪い。学生が遊びに行く際の交通費が高い。免許返納者が不便を感じている。 <p>■地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参画の困難と世代間ギャップ:地域づくりへの熱意には地域差や世代間ギャップがあり、次世代の育成や後継者不足が課題。

1. 一閃の「現状」「課題」を考える【一閃の強み・弱み】

Strong 強み（良いこと、頑張っていること、資源）	分類	Weakness 弱み（改善したいこと、困っていること）
<p>■子育て ・充実した子育て環境: 医療費補助や保育園バスなどが充実しており、子育てで困らない。</p> <p>■教育 ・多様な学校と取り組み: 市内で高校を選べる。中高一貫校の取り組みや、学校開放での夏休みの宿題支援、活発なボランティア活動が特徴。</p> <p>・スポーツの充実: スポーツ施設が多く、スポーツが盛んに行われている。</p> <p>・生涯学習機会の充実: 生涯学習の住民グループが豊富である。</p> <p>■文化 伝統技能と多様な文化: 寺社仏閣が多く、ガラス細工や和紙作りなどの伝統技能がある。地域ごとに異なる文化が魅力で、日本の原風景を感じられる景観が残っている。</p> <p>郷土芸能の継承と多様性: 郷土芸能の継承がしっかりとされており、地域ごとに特色の異なる舞踊などが盛んに行われている。</p> <p>豊かな食文化: 郷土料理やもち文化が豊かで、薄皮饅頭や酒造も自慢。美味しい海の幸、山の幸が楽しめる。</p>	<p>子育て・教育・文化</p>	<p>Weakness 弱み（改善したいこと、困っていること）</p> <p>■子育て ・子育ての困難さ: 子どもを預ける場が少なく、遊び場や公共施設も不足している。子育て中の就労や活動に困難を感じる。</p> <p>■教育 学校の統合による影響: 学校の統合などによって、地域の特色が失われつつある。また、子どもと大人の距離感が広がっている。</p> <p>■文化 ・文化の継承: 積み重ねてきた文化を大切にしていきたい。人口減少により地域の文化や風俗、昔からの舞が失われそうである。</p> <p>・餅の食文化の衰退: 餅を食べる子どもが減少している。</p>
<p>■環境 SDGsと循環型社会: 2021年にSDGs未来都市に選定された。木質資源の地域循環や新エネルギー導入の支援が行われている。</p> <p>豊かな住環境: 水や食べ物豊富で、温泉や四季も楽しめる。どの家にも畑や田んぼがあり、庭には花が咲いている。ネットの発展で田舎のデメリットが感じにくくなっている。</p> <p>自然の美しさと豊かさ: 自然の美しさがあり、農地や自然環境が豊かで、山や里、海にも近い。住民が元気に生活できる環境が整っている。</p>	<p>環境・エネルギー・インフラ</p>	<p>■環境 住環境: 空き家が増加し、公園が少ない。街路樹の管理が不十分で景観が損なわれている。獣害と環境の劣化: 農村部では熊や鹿による獣害があり、野菜作りが困難に。外来種の増加や山・畑・田んぼの荒廃が進行し、自然環境や景観が損なわれている。</p>
<p>■医療・福祉 充実した医療・福祉施設: 病院同士の連携が取れていて、高齢者施設は充実している。</p> <p>■防犯・防災 安心して暮らせる環境: 治安が良く自然災害が少ない。</p>	<p>医療・福祉 防犯・防災</p>	<p>■医療・福祉 ひっ迫する施設: 病院は混んでおり、介護施設は人材不足である。</p> <p>■防犯・防災 不安な帰り道: 街灯が少ない。</p>

2. 一閃の「未来」を考える 【目指すまちの姿】

意見			
分類	抽象的（アウトカム）	中間（アウトプット）	具体的（アウトプット ※より具体的）
全般	<p>■まち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者が帰りたい魅力あるまち：前向きにイキイキと暮らせる環境が整っている。若者が主体的に活動できる場がある。 ・住民主体のまち：住民全員が参加し、地域の良さを出し合いながら、選択肢が豊富で変化を受け入れられる環境がづくられる。長く住み続けられるまち：将来も住み続けられるような住みやすい環境が整っており、高齢になっても暮らしやすい。 <p>■人間性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体性と自立した行動力を持つ人になる：志を持ち、自分自身で物事に取り組み、他人任せにしない。自分自身が率先して動く。 ・広い視野と創造性を持つ人になる：広い視野を持って様々な角度から物事を考えられ、創造性を発揮できるようになる。 ・良好なコミュニケーション能力をもつ：ルールを守り、周囲と良好なコミュニケーションを取り、他者との関わり方を大切にす。 	<p>■まち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者が活躍するまち：若者が活躍できる場がある。 ・地域への誇り：市民が地域のことを自慢できるようになる。 <p>■人間性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境づくり：挑戦できる環境をつくる。 	<p>■まち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戻ってきたくなるまち：市民がまちに対して興味を持ち、まちを知り、市民がまちに誇りを持つことで魅力的なまちになる。共助で成り立つ地域をつくる。 ・自己表現ができるまち：若者が自己表現できる場をつくる。 ■人間性 ・人の気持ちがかかる：人の気持ちがかかることが大事である。 ■人口 ・移住定住支援の充実：U・Iターン、移住定住の支援がある。 ・情報発信の見直し：SNSの充実や情報発信を見直す。
産業 雇用 観光	<p>■雇用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己が認められる雇用環境：自己実現としての働き方ができる社会がある。また、就職してなくても非難されない社会がある。 	<p>■産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域経済の活性化：市内で経済が循環する仕組みを構築し、地域で経済を回す。 ・地域資源の活用：地元の食材や資源、休耕田、古民家、山林資源を活用する。 ・まちのにぎわい：中心市街地を人が集まる場にする。 <p>■雇用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な働き方と環境の整備：自由な働き方を推奨し、自分の時間を作りながら働ける環境をつくる。 ・雇用機会の拡大：市内で就職できる企業を増やし、業種や専門性、やりがいのある仕事を提供する。 <p>■観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何度も訪れる観光地：一閃の魅力・情報を市民が理解し、市外の人に伝えることで何度も来てくれるまちにする。 	<p>■産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内需拡大と地域資源の活用：市内で買えるものは市内で購入し、地域の食材を活かした飲食店を営業することで、内需を拡大する。 ・企業誘致と起業支援：起業支援のための空き家の貸出、大企業の本社機能やアニメータースタジオの誘致、ドローンやインターネットによる販路開拓、コミュニティビジネスの起業促進などに取り組む。 ・まちのにぎわいづくり：中心市街地で、マルシェ開催、空き家活用、若者が憩う場づくり、映画上映等に取り組む。 <p>■雇用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用環境の改善：リモートワークを推進、優良企業の視察研修、転入者への雇用支援等に取り組む。 <p>■観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信：若者にSNSでの情報発信を任せる。

2. 一閃の「未来」を考える【目指すまちな姿】

意見		具体的（アウトプット） ※より具体的	
分類	抽象的（アウトカム）	中間（アウトプット）	具体的（アウトプット） ※より具体的
交流 地域づくり	<p>■交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・快適な交流：交流を通じて生きがいを感じる環境がありつつ、プライベートな時間が持てる場もある。 ・安心の生活を実現する交通：お年寄りや運転できないう人が移動に不便を感じず、安心して生活できる交通環境を実現する。 ■地域づくり ・多世代による共助：若者が積極的に地域づくりに参画し、共助で問題を解決できるような多世代活躍社会をつくる。 	<p>■交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気軽な交流の場：外国人や市外の人が気軽に交流し立ち寄りやすい場、趣味や習い事などを楽しめる場をつくる。 ・若者主体のイベント：多くの世代が集まるような、若者主体のイベントを開催する。それ上の世代が応援する。 ■交通 ・公共交通の機能強化：人がスムーズに移動でき、市内を歩いて楽しめるように、公共交通の機能を強化する。地域内で移動手段を確保する。 ■地域づくり ・地域づくりの推進：福祉・教育に力を入れ、子どもや高齢者に優しいまちづくりを進める。あいさつの絶えないコミュニティを維持し、情報・施策の差を解消する。 ・世代間交流の強化：世代を超えた話し合いの場を作り、意見を尊重し合う。イベントに多世代が参加し、若者が主体的に活動できる環境を作る。 	<p>■交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流：世代を超えて話し合える場を作り、ベテランと若者がお互いの意見を尊重し対話する。 ・協力と持続可能性：地域の仲間が協力がし合い、無理なく楽しみながら取り組む環境を作る。 ■交通 ・交通インフラの改善：一ノ関駅に東西自由通路を設け、市街地の交通をユニバーサルデザイン化する。 ・公共交通の充実：市民センター間のシャトルバスやデマンドタクシーの運行、鉄道沿線の土地利用活性化、自家用有償旅客運送の自由化に関する社会実験等の取組を行う。 ■地域づくり ・地域の魅力を知り機会をつくる。 ・世代間交流の促進：高校生のボランティア活動や若者向けの体育館利用を通じて、地域とつながる機会を増やす。 ・地域の協働と連携：地域行事を活用して若者同士の交流を促す。学校との連携を深め、地域全体の協働体制を強化する。
子育て 教育 文化	<p>■子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てしやすいまち：どこでも子育てしやすいまちにする。 ■教育 ・自己表現ができるまち：多様な自己表現を認め合う。 ■文化 ・郷土芸能を通じた誇りの醸成：伝統芸能の継承に誇りを持つ。 	<p>■子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てしやすい仕組み：子育て支援を充実させる。育休などの就労支援だけではなく、復職できる環境をつくる。 ■教育 ・教育環境の充実と人材育成：未来への投資として、大学の設立や学び・体験の場の増設を通じて、学びの選択肢を広げ、子どもや若者が生き生きと学べる環境を整える。 ・生涯学習と世代間交流：生涯学習の機会を活用して、世代間交流を促進し、感謝の気持ちを育てる場をつくる。 ■文化 ・文化の継承と新しい文化の受け入れ：新しい文化を取り入れながら、既存の文化を守り、祭りや郷土料理の遺産を次世代に引き継ぐため、担い手の世代交代や新規参入を進める。 	<p>■子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な子育て支援策：保育園、放課後サービスなどの支援、病児保育等の子育てサービスを拡充する。 ■教育 ・まちづくりにつなげる教育：まちづくりについて勉強できる学科のある大学をつくる。教育現場での情報発信、文化の継承を行う。 ・過ごしやすい学校：カフェがある学校があれば、不登校の子どもが通う場や、子どもたちの活動の場になる。 ■文化 ・守るもの見極め：守っていかねばならないものと、リメイクしなければいけないことを見極める。 ・郷土芸能の伝承：伝統芸能の継承は引き続き学校主体で実施する。
環境 エネルギー インフラ		<p>■環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環型社会の形成：SDGs 未来都市に選定された実績を生かす。木質資源の地域内循環活用を推進する。 	<p>■環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未利用資源の活用：古民家や閉校した学校、企業の跡地を活用し、地域資源の有効活用を図る。 ・空き家の活用と若者の定住促進：空き家のリフォームや賃貸需要のマッチングを推進して、町の中心部に住む機会を増やす。 ■エネルギー ・新エネルギーの導入：新エネルギー導入の支援策を充実させる。
医療 福祉 防犯・防災		<p>■福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスの拡充：介護関連の市民向けサービスを増やす。 	<p>■福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の居場所づくり：高齢者の居拠点としてシェアハウスづくりを進める。各種体験を通じた自立型の環境をつくる。 ■防犯 ・安全な道：暗い時でも周辺が見えるくらい街灯を整備する。

3. 目指すまちの姿の時系列整理

分類	意見			
	1～5年	5～10年	10～30年	30～100年
全般	<p>■人口</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住者、定住者を増加させる。 		<p>■まち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やりたいことができるまちなになっている。 ・学校、企業、地域がつながる。 	<p>■まち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活にキラキラ、ワイワイ、ガヤガヤ、ワクワク、ドキドキがある。
産業 雇用 観光	<p>■産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル先進地として手を挙げる。 ・企業を誘致する。 ・農家支援、起業支援を充実させる。 <p>■観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントを開催し様々な人を呼ぶ。 ・市をPRするコンテンツを開催する。 	<p>■雇用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山林整備を雇用確保につなげる。 <p>■観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が地域をPRするセールスマンになる。 ・活動している人たちがつながる。 	<p>■産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ILCを実現する。 	<p>■産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力が確立されている。 ・お金だけでなく、資源（お米など）も循環している。
交流 交通 地域づくり	<p>■交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップを増やし世代間交流につなげる。 ・なくなつたお祭りを復活する。 ・多世代が遊べる環境をつくる。 ・音楽イベントを開催する。 <p>■交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不便を感じず移動できる。 ・一ノ関駅東西自由通路を開通する。 <p>■地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃校を活用する。 ・課題解決の担い手を育てる。 	<p>■交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人と市民の交流の場をつくる。 ・市民マルシェを活性化させる。 ・みんなが集える場を整備する。 <p>■交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの自動運転を実現する。 <p>■地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シェアハウスを整備する。 ・若い人や面白いことをやっている人が地域とつながっている。 ・地域に活躍する場がある。 	<p>■地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のニーズと人がつながる仕組みがある。 ・色々な楽しみがあり楽しく活動できる人材がいる。 	<p>■地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人も高齢者も、世代を問わず協力できるまちなになっている。
子育て 教育 文化	<p>■子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが遊べる場として、公園や室内遊技場などを増やす。 <p>■教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会を誘致する 	<p>■子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の政策に採れない共助の子育てを促進する。 		<p>■文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊近（平成～令和）始まった行事が続いている。 ・現在の伝統行事は、超・伝統行事になっている。
環境 エネルギー インフラ	<p>■環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山林を整備する。 			
医療 福祉 防犯・防災	<p>■防犯・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街灯を整備する。 			

アンケート結果【概要】

【資料No.2】
令和6年度第2回まち・ひと・しごと創生有識者会議
令和6年8月30日(金)

1 調査の概要

(1) 調査実施期間

令和6年6月18日(火)から7月5日(金)まで

(2) 調査方法

郵送により調査票を配布し、郵送又はWEBにより回答を得た

(3) アンケートの種類と回答数

アンケート種類	調査対象	配布数	抽出方法	回答率			
				※矢印はR1との比較	調査票	WEB	【参考】R1回答率
1 市民アンケート	無作為抽出された18歳以上の市民	4,500人	住民基本台帳から無作為に抽出	41.5% ↑	33.1%	8.4%	36.3%
2 中高生アンケート	市内の中学3年生、高校2年生	900人	学校毎に標本数・男女内訳を定め、各学校で抽出	86.3% ↓	19.1%	67.2%	100.0%
3 企業アンケート	岩手県南・宮城県北地域の企業	150社	市町村毎の標本数を定め、商工労働部で抽出	56.7% ↓	35.3%	21.3%	58.2%
4 結婚・出産・就労に関するアンケート	無作為抽出された20歳から39歳までの市民	1,500人	住民基本台帳から無作為に抽出	28.4% ↑	14.4%	14.0%	28.1%
5 転入者アンケート	無作為抽出された18歳から49歳までの転入者	500人	住民基本台帳から無作為に抽出	29.0% ↑	13.8%	15.2%	23.2%
6 転出者アンケート	無作為抽出された18歳から49歳までの転出者	500人	住民基本台帳から無作為に抽出	23.4% ↑	7.8%	15.6%	20.1%

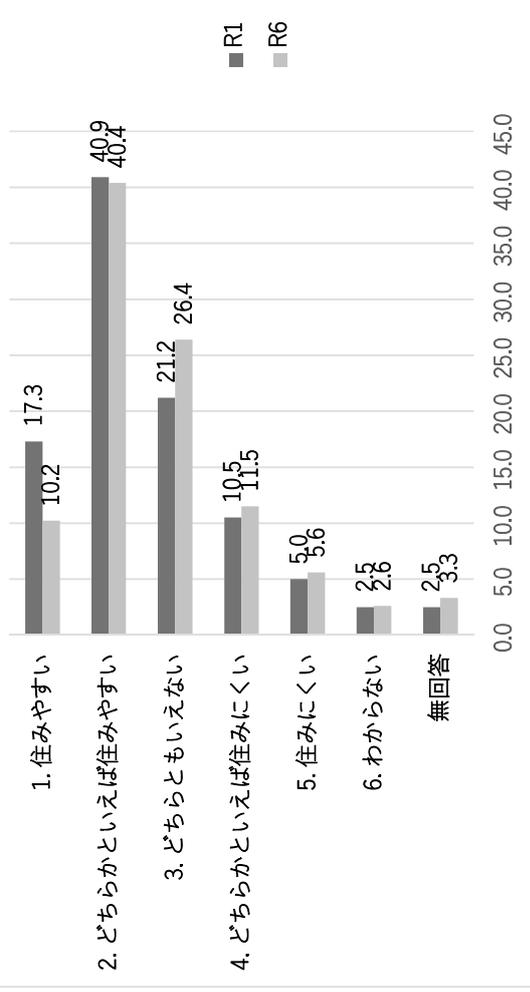
▶ 回答率は、6アンケート中、4アンケートで令和元年実施時の回答率を上回った。

▶ 回答率が上がった要因は、WEB回答の導入によるものと思われるが、中高生アンケートについては、調査票による回答と比較し、WEB回答の有無を学校側で管理しにくく、回答率が下がった。

各アンケートの設問のうち、「一関市の住みやすさ」など全般的な項目について、主に令和元年のアンケート調査の結果との比較から分析を行った。

(1) 市民アンケート

問35 あなたは、一関市の住みやすさについて、どのように感じていますか。(1つに○) P16



一関市の住みやすさ

「1.住みやすい」「2.どちらかといえば住みやすい」の合計

R1 : 58.2%

減少

R6 : 50.6%

「4.どちらかといえば住みにくい」「5.住みにくい」の合計

R1 : 15.5%

増加

R6 : 17.1%

住みやすと感じている人の理由 (自由記述) で多いもの

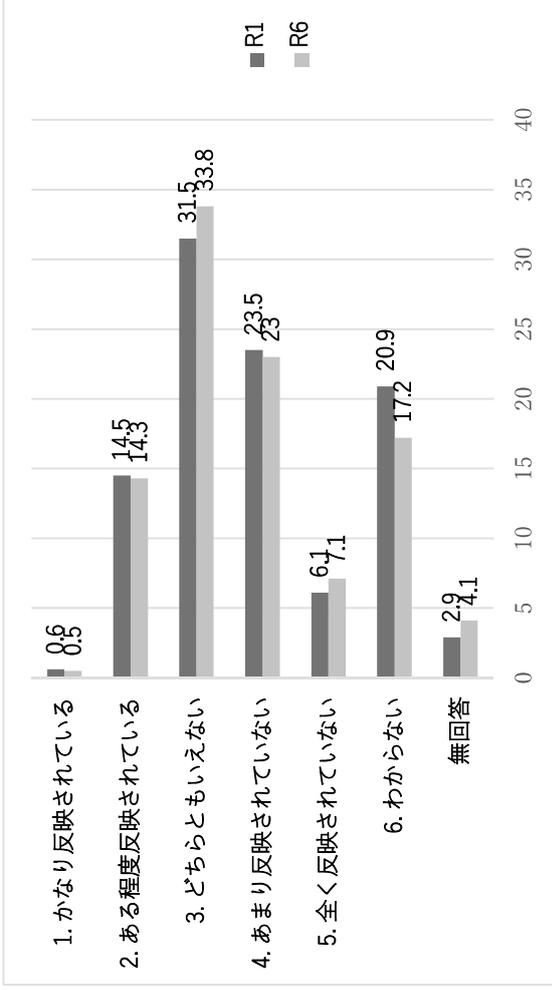
「日常生活の利便性が良い」「交通の便が良い」「自然が豊かで、都市と農村のバランスが良い」など

住みにくと感じている人の理由 (自由記述) で多いもの

「日常生活の利便性が悪い」「交通の便が悪い」など

▶「日常生活の利便性」「交通の便」は、住みやすと感じる理由、住みにくと感じる理由のどちらにも含まれており、住んでいる地域や年代によって状況や感じ方が異なることがある。

問37 あなたは市民の考えや意見が市政全般にどの程度反映されていると思いますか。(1つに○) P17



年代別の分析

「1. かなり反映されている」「2. ある程度反映されている」の合計

10代：13.0% 40代：10.5% 70代：18.4%

20代：21.8% 50代：12.8% 80代以上：28.6%

30代：8.9% 60代：14.0%

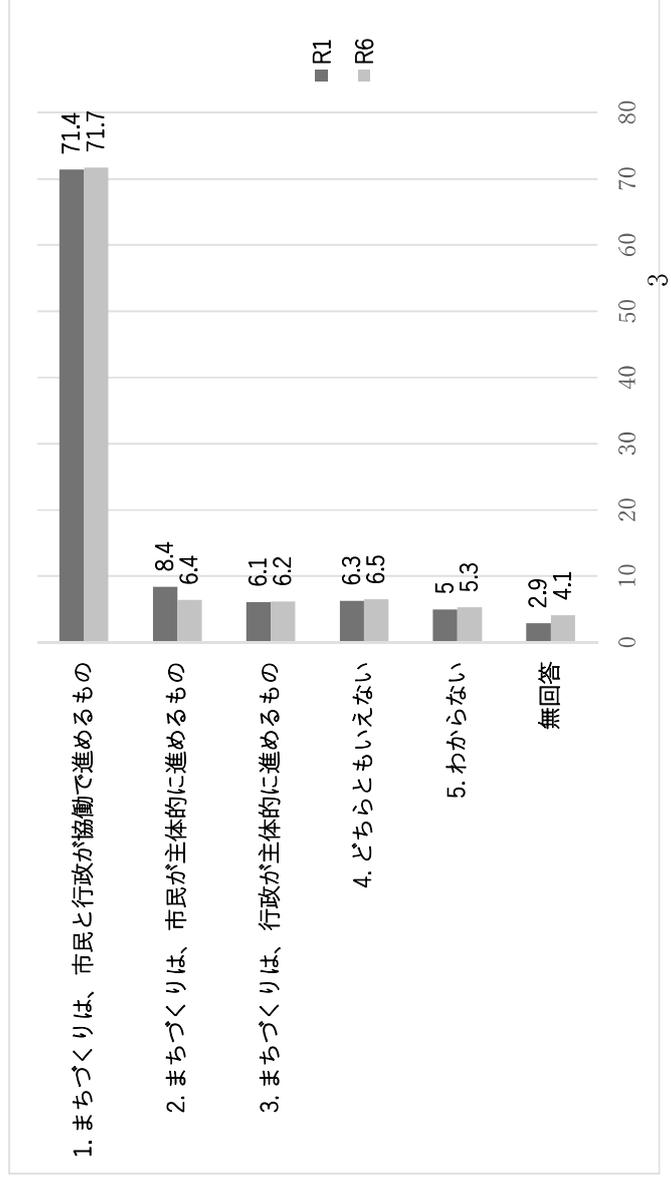
▶ 20代と80代以上が他の世代より高い。

市民参画のために必要と考えること

P18 問39「市政への市民参加をより活発にするために、あなたは市が特にどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。」に対し、「アンケートなどによりできるだけ数多くの市民の意見を聞く」と回答した人が31.3%と最も多い。

▶ 市民の意見を聞く場を求めている方が多いと言える。

問38 まちづくりに関する次の意見のうち、あなたの考えに近いのはどれですか。(1つに○)



「1. まちづくりは市民と行政が協働で進めるもの」の回答割合

R1：71.4%

R6：71.7%

▶ 大きな変化はなく、協働のまちづくりの考え方が市民に根付いてきていると言える。

(2) 中学生アンケート

問6 あなたは将来、一関市に住みたいと思いますか。(1つに○) P21

【R6】

選択肢	回答 (%)
1. 学校を卒業しても住み続けたい	6.4%
2. 進学や就職で一度離れるかもしれないが、将来的には住みたい	21.6%
3. 将来的に住みたくない	33.7%
4. わからない	38.0%
無回答	0.3%

「1. 学校を卒業しても住み続けたい」「2. 進学や就職で一度離れるかもしれないが、将来的には住みたい」の合計

28.0% ▶ 「3. 将来的に住みたくない」を下回っている。

住みたくない理由 (P22 問10) 「希望する職場や職業がない」

R1 : 22.6% 増加
R6 : 50.0%

▶ 就業の問題から一関市を離れようと考えている中高生が増えていることがわかる。

【R1】

あなたが就職後に住みたい場所はどこですか。(1つ選択)

選択肢	回答 (%)
1. 一関市に住みたい	21.2%
2. 一関市以外に住みたい	56.2%
3. わからない	22.2%
無回答	0.3%

将来的に一関市に戻ってくる考えはありますか。(1つ選択)

選択肢	回答 (%)
1. 一関市に住みたい	11.3%
2. 一関市以外に住みたい	17.3%
3. わからない	60.0%
無回答	11.3%

問15 あなたは学校卒業後、どの地域で働きたいですか。(1つに○) P24

【R6】

選択肢	回答 (%)
1. 一関市	22.8%
2. 盛岡市	6.4%
3. 盛岡市以外の岩手県内市町村	5.5%
4. 仙台市	26.5%
5. 仙台市以外の宮城県内市町村	2.7%
6. 首都圏	25.1%
7. その他	10.3%
無回答	0.9%

【R1】

選択肢	回答 (%)
1. 一関市	15.2%
2. 岩手県内の近隣市町	18.1%
3. 宮城県内の近隣市町	2.3%
4. 盛岡方面	2.5%
5. 仙台方面	25.6%
6. 東京方面	25.2%
7. その他	10.2%
無回答	0.9%

地元志向の上昇

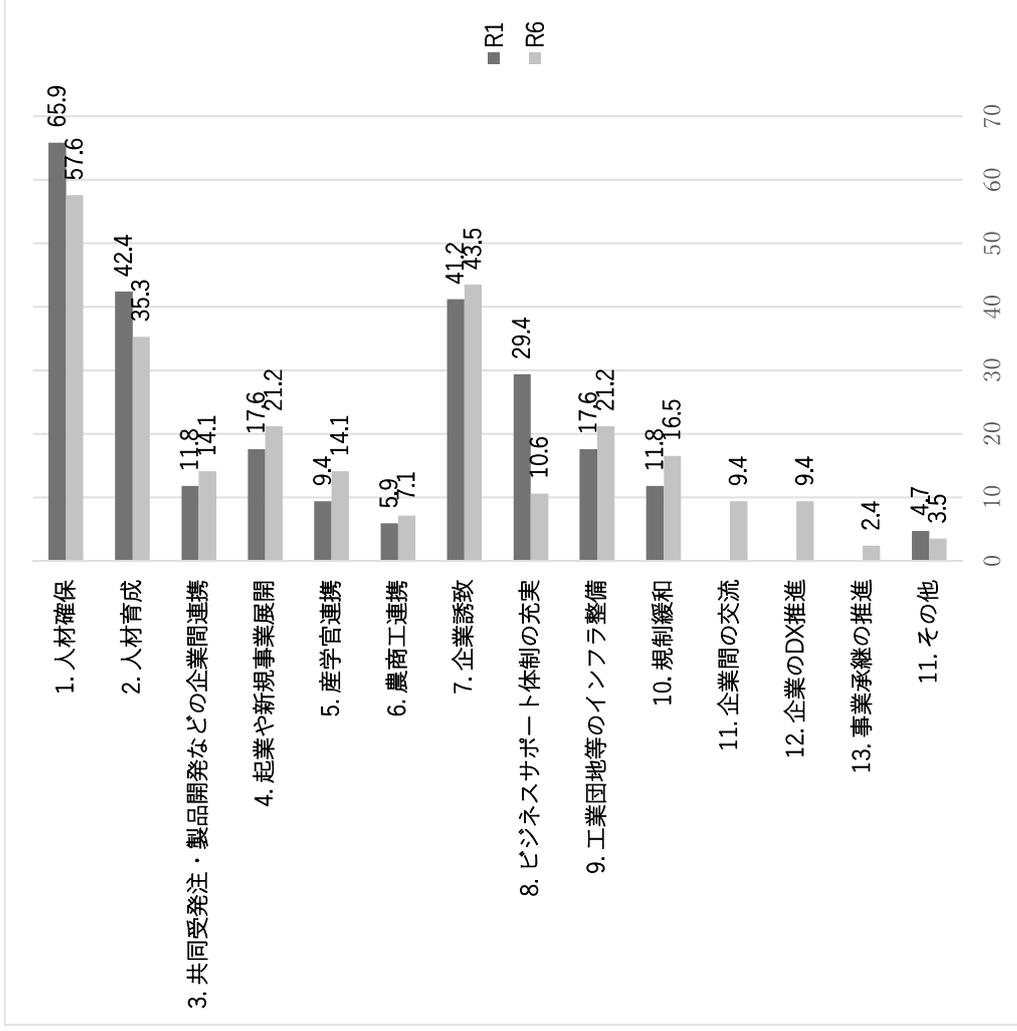
「1. 一関市」と回答した人の割合

R1 : 15.2% 増加
R6 : 22.8%

▶ 7.6ポイント上昇しており、以前として「5. 仙台方面」「6. 東京方面」が多いものの、コロナ禍以降続いてきた地元志向が上昇へとつながったと考えられる。

(3) 企業アンケート

問 26 一関市の商工業の振興のために必要とお考えのものは、次のうちどれですか。(あてはまるもの3つまで) P 38



連携が必要と考える企業の増加

「3. 共同受発注・製品開発などの企業間連携」

R 1 : 11.8% 増加

R 6 : 14.1% 増加

「5. 産学官連携」

R 1 : 9.4% 増加

R 6 : 14.1% 増加

「6. 農商工連携」

R 1 : 5.9% 増加

R 6 : 7.1% 増加

▶ 連携を求めめる回答が伸びており、自社単独ではなく、行政や他企業と連携が必要と考えている企業が増え
てきていると言える。

企業誘致への期待

「7. 企業誘致」

R 1 : 41.2% 増加

R 6 : 43.5% 増加

「9. 工業団地等のインフラ整備」

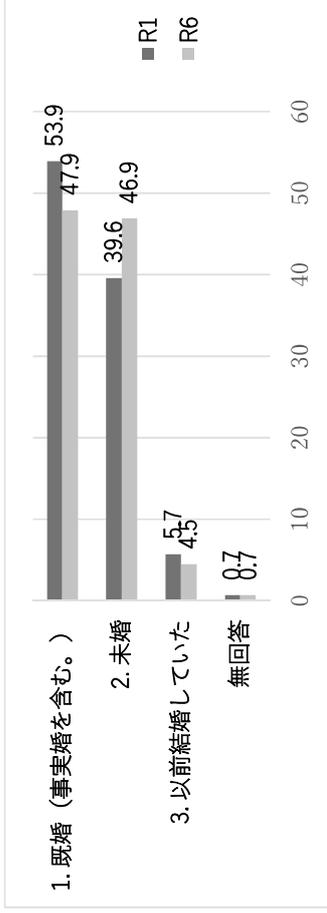
R 1 : 17.6% 増加

R 6 : 21.2% 増加

▶ 市の商工業全体に波及効果を及ぼす企業の誘致への期待がうかがえる。

(4) 結婚・出産・就労に関するアンケート

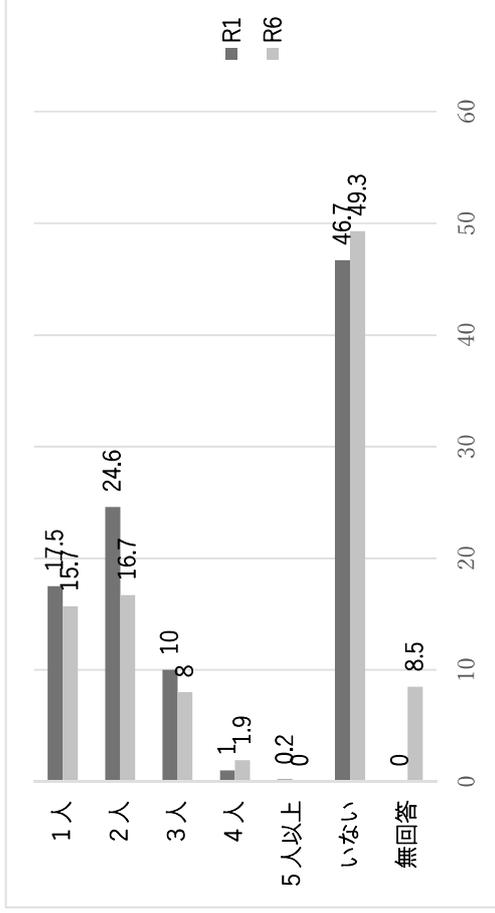
問8 あなたは、現在結婚されていますか。(1つに○) P43



結婚に対する意欲低下

P48 問21 「あなたは、結婚についてどのような考えですか」
 「1. 結婚したい」「2. できれば結婚したい」と回答した人の合計
 R1 : 74.2% 減少
 R6 : 63.8%
 ▶ 10.4ポイント減少しており、市民の結婚に対する意欲が低下していると言える。

問13 お子さんは何人いらっしゃいますか。(同居・別居は問いません)(1つに○) P45



「いない」と回答した人の増加

無回答を除く回答者では、こどもがいないと回答した人が半数以上となった。
 ▶ 「いない」と回答した人のうち、P46 問15で理想のこどもの数を「0人」と回答した人は19.0%で、約2割の人が今後こどもはいると考えていることがわかる。

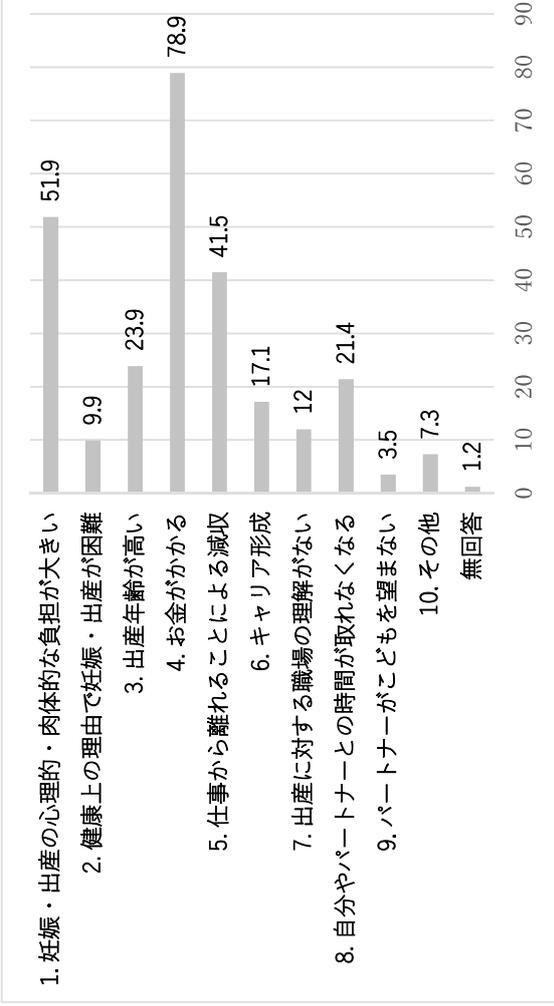
年代別分析

「いない」回答した人の割合

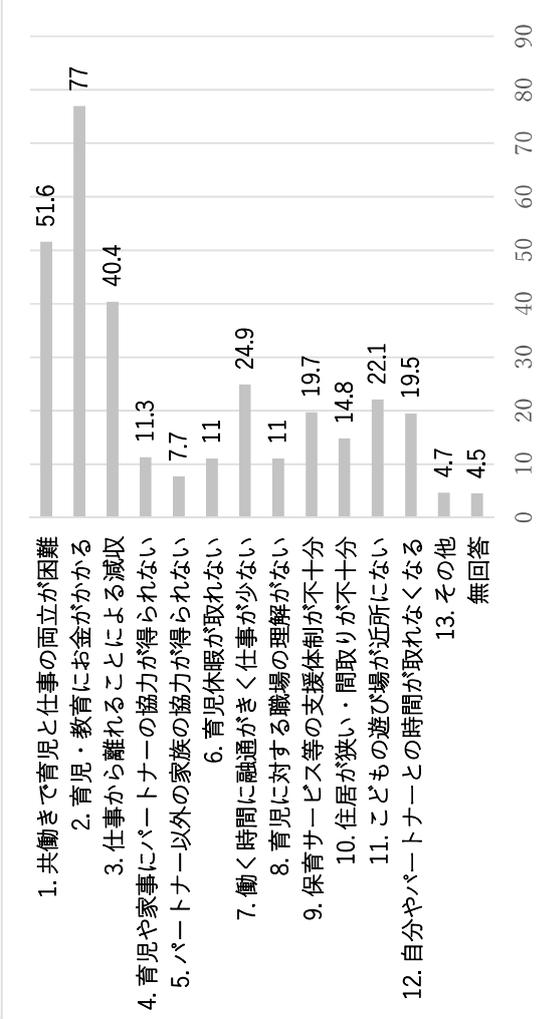
20～22歳 : 90.0% ※大学卒業の年齢で区切っている
 23～29歳 : 68.8%
 30～34歳 : 41.2%
 35～39歳 : 32.5%

▶ 若い層ほど割合が高くなっているが、35～39歳でもおよそ3人に1人はこどもがいない状況となっている。

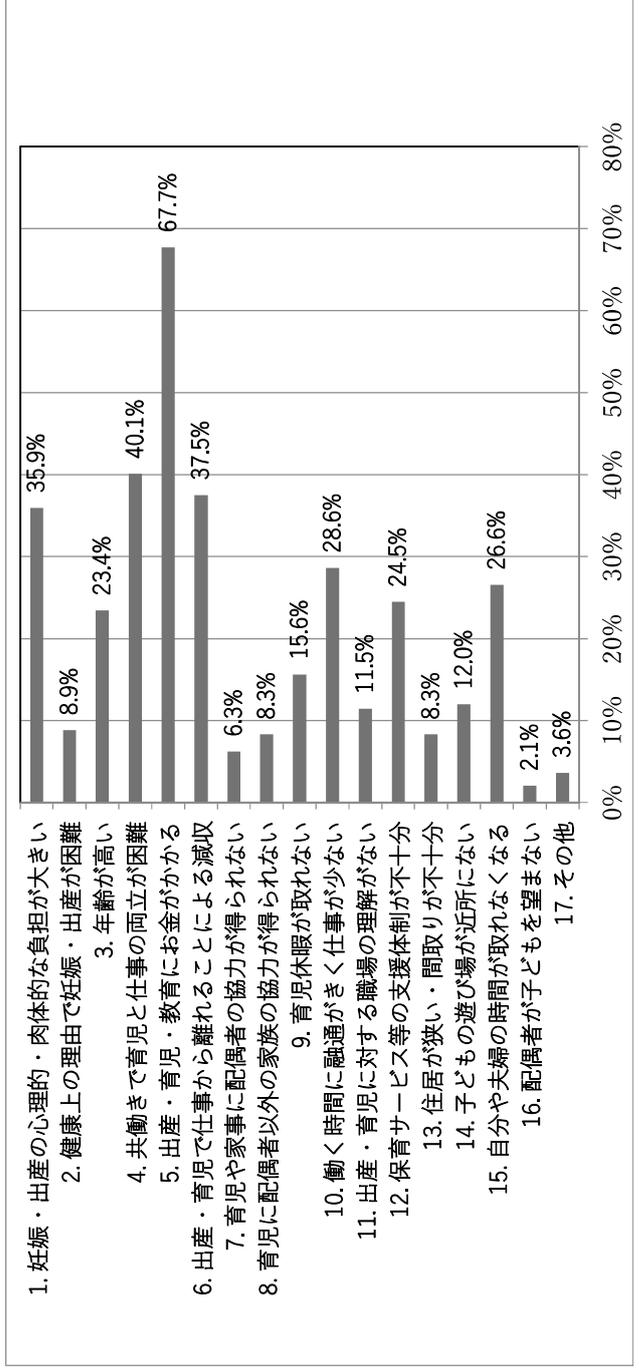
問29 こどもを持つことについて、不安になったこと・なりそうだと感じることと感
 じることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○) P50



問31 子育てについて、不安になったこと・なりそうだと感じることはど
 のようなことですか。(あてはまるものすべてに○) P51



【R1】 出産や子育てについて、支障になりそうだと感じることはどのようなことですか



設問の構成見直し

これまで出産と子育てに関することを同じ設問としていたがR6からは2つに分けた。

金銭面の不安

問29 出産：78.9%

問31 子育て：77.0%

▶ 出産、子育てともに金銭的な面を不安に思っている人が多いことがわかる。

「1. 共働きで育児と仕事の両立が困難」の増加

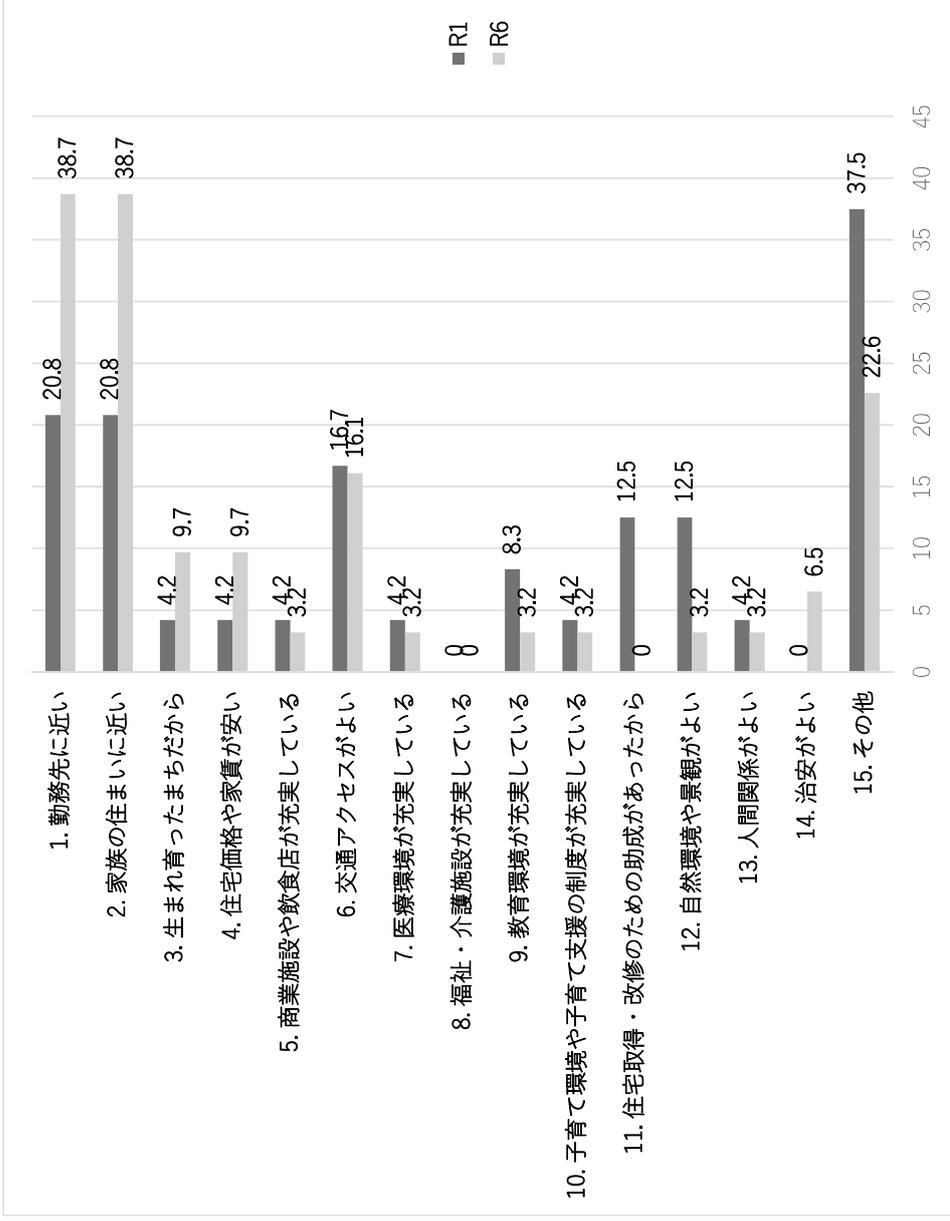
R1：40.1% 増加

R6：51.6%

▶ 11.5ポイント増加しており、子育てという長い期間における家庭や職場の支援体制がより求められている。

(5) 転入者アンケート

問 17 他[○]の市町村と検討した結果、一関市に決めた理由として大きかったものは何ですか。(あてはまるもの3つまで)



仕事、家族の都合による転入の増加

「1. 勤務先に近い」

R 1 : 20.8% 増加

R 6 : 38.7% 増加

「2. 家族の住まいに近い」

R 1 : 20.8% 増加

R 6 : 38.7% 増加

▶ P54 問 11 の転入の理由も

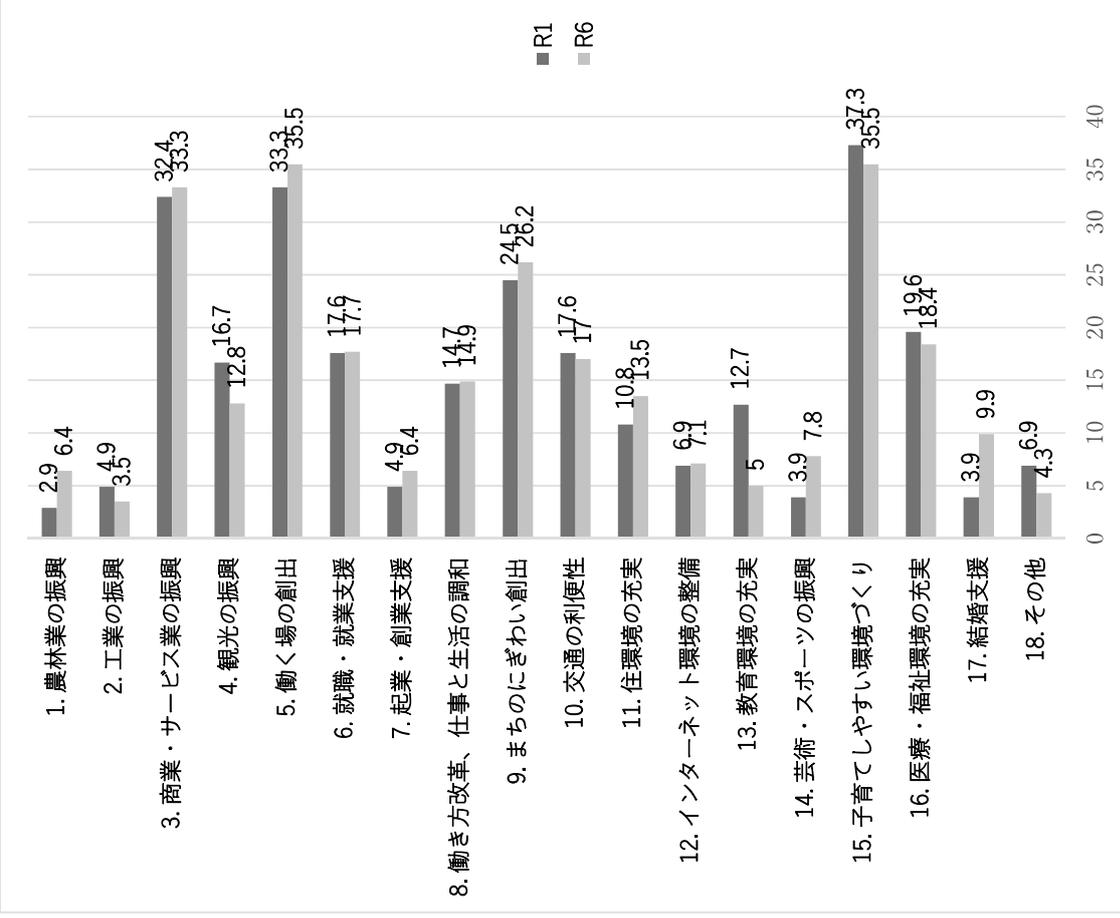
- ・自分の仕事の都合
- ・家族の仕事の都合
- ・家族と同居、近居のため
が上位3つを占めている。

転入の理由「一関市に住みたかったから」

P54 問 11 で転入の理由を「10. 一関市に住みたかったから」と回答した人は、本設問に「4. 住宅価格や家賃が安い」「3. 生まれ育ったまちだから」と回答している。

転入前の情報収集

P56 問 21 で転入前に一関市の生活環境に関する情報は得られていたかを聞く設問では、「1. 十分得られた」「2. ある程度得られた」で70.3%となっており、転居先を検討する際に必要な情報は得られていたと考えられる。



「5. 働く場の創出」の増加

最も多い回答

R 1：「15. 子育てしやすい環境づくり」

R 6：「15. 子育てしやすい環境づくり」「働く場の創出」

▶ 市外から転入してきた人の視点で見たとときに、一関市に人を呼び込むために必要なものは、子育て環境の充実と雇用の場の創出であることがわかる。

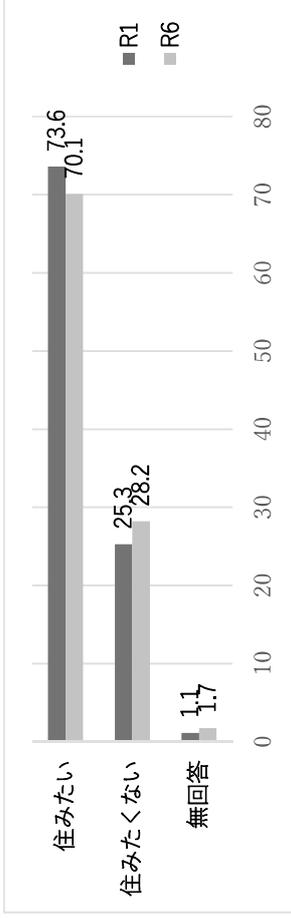
一関市の生活環境の満足度

P 57 問 22 の一関市の生活環境の満足度が高かった項目

「自然環境」「治安・防犯」「日常の買い物の利便さ」「近所・地域の人間関係」「通勤・通学」など、低かった項目は「交通の利便さ」「娯楽・余暇の楽しみ」「収入」「飲食店の多さ」「働く場の多さ」など

(6) 転出者アンケート

問 16 機会があれば、もう一度一関市に住みたいですか。(1つに○) P 64



住みたいと考えている人の理由 (自由記述) で多いもの

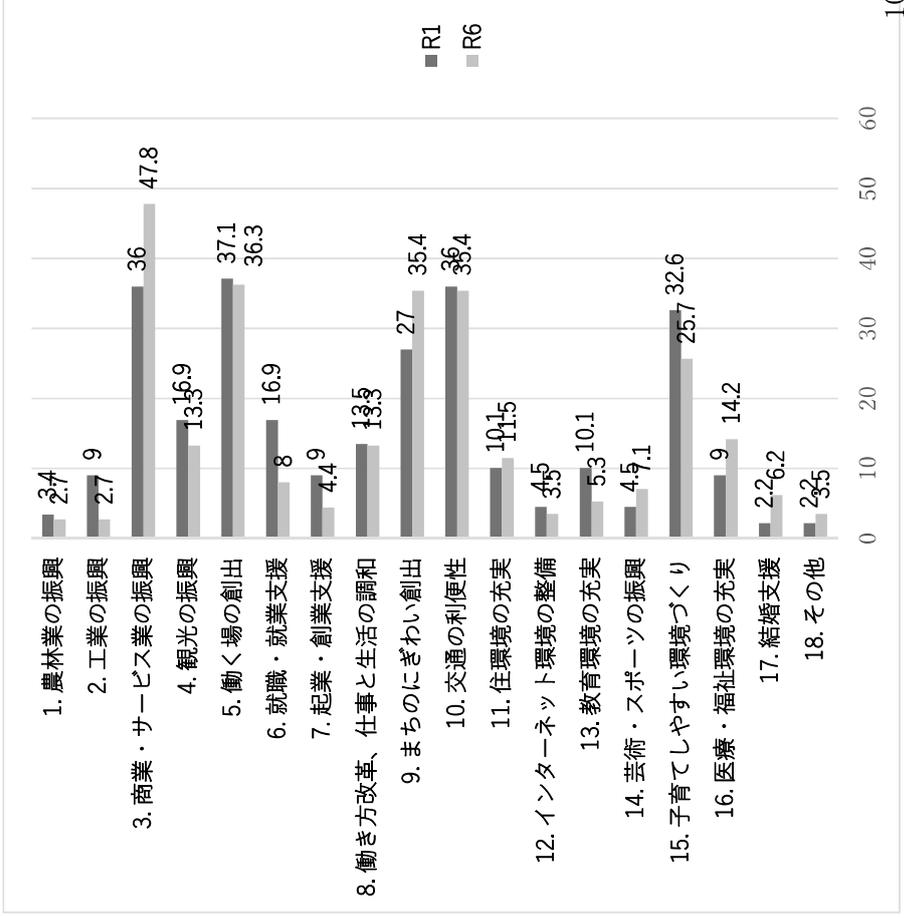
「住み慣れている」「家族との同居を考えている」「交通の利便性が良い」

住みたくなくと考えている人の理由 (自由記述) で多いもの

「交通の便が悪い」「通学、就職に不便」「住みたい地域に引越すため」

- ▶ 「交通の便」は、住みたい理由、住みたくない理由のどちらにも含まれており、住んでいる地域や年代によって状況や感じ方が異なることがわかる。

問 19 一関市が住みたいと思われるまちになるためにどのような分野に力を入れればよいと思いますか。(あてはまるもの3つまで○) P 65



「3. 商業・サービス業の振興」の増加

R 1 : 36.0% 増加

R 6 : 47.8% 増加

「9. まちのにぎわい創出」の増加

R 1 : 27.0% 増加

R 6 : 35.4% 増加

- ▶ 転入者アンケートの同設問においても「商業・サービス業の振興」「まちのにぎわい創出」は高く、他市と比較したときに当市の課題と捉えている人が多いことがわかる。

一関市の生活環境の満足度

P 63 問 15 の一関市の生活環境の満足度が高かった項目

- 「自然環境」「治安・防犯」「近所・地域の人間関係」「暮らしのゆとり」「日常の買い物物の利便さ」など、低かった項目は「働く場の多さ」「娯楽・余暇の楽しみ」「交通の利便さ」「収入」「飲食店の多さ」など。割合の違いはあるものの、転入者アンケートの同設問の結果と同様の結果となっている。

【資料No.3】

令和6年度第2回まち・ひと・しごと創生有識者会議
令和6年8月30日(金)

アンケート結果【抜粋版 R6.8.15時点】

- ・その他の記載、理由の記載など自由記述形式の設問については現在集計中のため掲載していません
- ・グラフ表中の  矢印は集計の過程で付したものであり、今回の結果には関係ありません。

市民アンケート

1. 回答結果

有効回答数:1,866 件(回答率 41.5%)

【地区別回答結果】

地域	配布数	回答数			回答率		
		調査票	WEB	調査票	WEB		
一関市	4,500 件	1,866 件	1,489 件	377 件	41.5%	33.1%	8.4%
一関地域	2,303 件	972 件	775 件	197 件	42.2%	33.7%	8.6%
花泉地域	478 件	186 件	145 件	41 件	38.9%	30.3%	8.6%
大東地域	457 件	169 件	138 件	31 件	37.0%	30.2%	6.8%
千厩地域	389 件	155 件	124 件	31 件	39.8%	31.9%	8.0%
東山地域	252 件	121 件	87 件	34 件	48.0%	34.5%	13.5%
室根地域	181 件	72 件	58 件	14 件	39.8%	32.0%	7.7%
川崎地域	143 件	52 件	47 件	5 件	36.4%	32.9%	3.5%
藤沢地域	297 件	101 件	77 件	24 件	34.0%	25.9%	8.1%
無回答	—	38 件	38 件	0 件	—	—	—

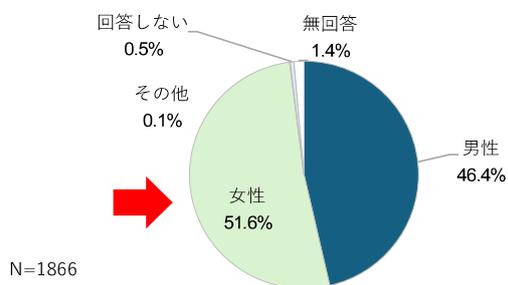
※合計 4,500 件を発送後、住所があっても住んでいる実態が無い等のため返送が 9 部あった。

2. 回答者の属性

問1 あなたの性別

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	男性	866	46.4
2	女性	963	51.6
3	その他	2	0.1
4	回答しない	9	0.5
	無回答	26	1.4

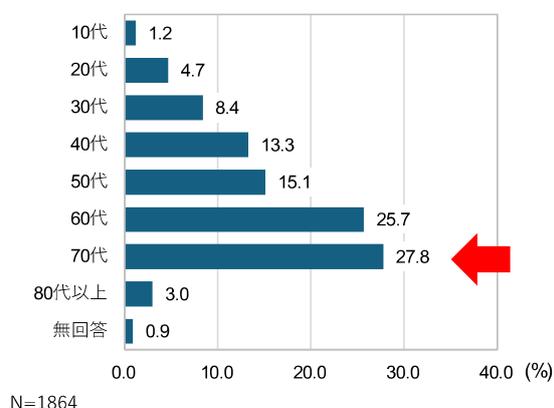
有効票数 = 1866



問2 あなたの年代

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	10代	23	1.2
2	20代	87	4.7
3	30代	157	8.4
4	40代	247	13.3
5	50代	281	15.1
6	60代	479	25.7
7	70代	518	27.8
8	80代以上	56	3.0
	無回答	16	0.9

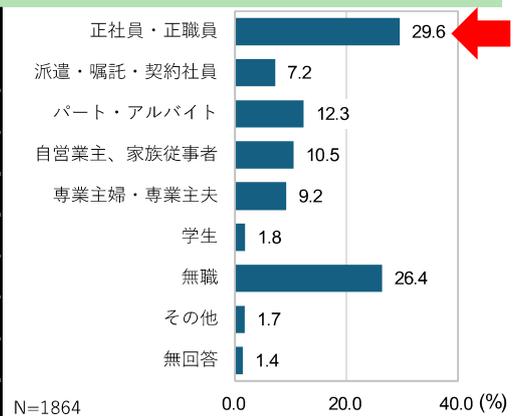
有効票数 = 1864



問3 あなたの就労状況

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	正社員・正職員	551	29.6
2	派遣・嘱託・契約社員	134	7.2
3	パート・アルバイト	229	12.3
4	自営業主、家族従事者	195	10.5
5	専業主婦・専業主夫	172	9.2
6	学生	33	1.8
7	無職	492	26.4
8	その他	31	1.7
	無回答	27	1.4

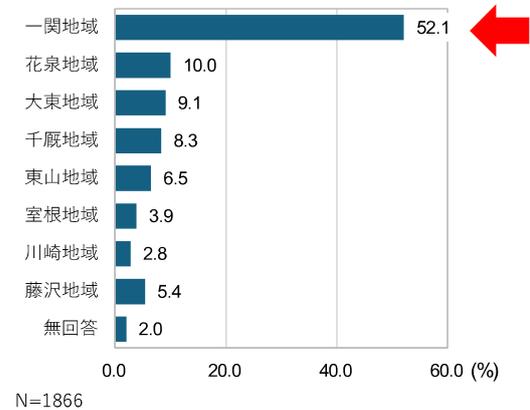
有効票数 = 1864



問5 現在お住まいの地域

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	一関地域	972	52.1
2	花泉地域	186	10.0
3	大東地域	169	9.1
4	千厩地域	155	8.3
5	東山地域	121	6.5
6	室根地域	72	3.9
7	川崎地域	52	2.8
8	藤沢地域	101	5.4
	無回答	38	2.0

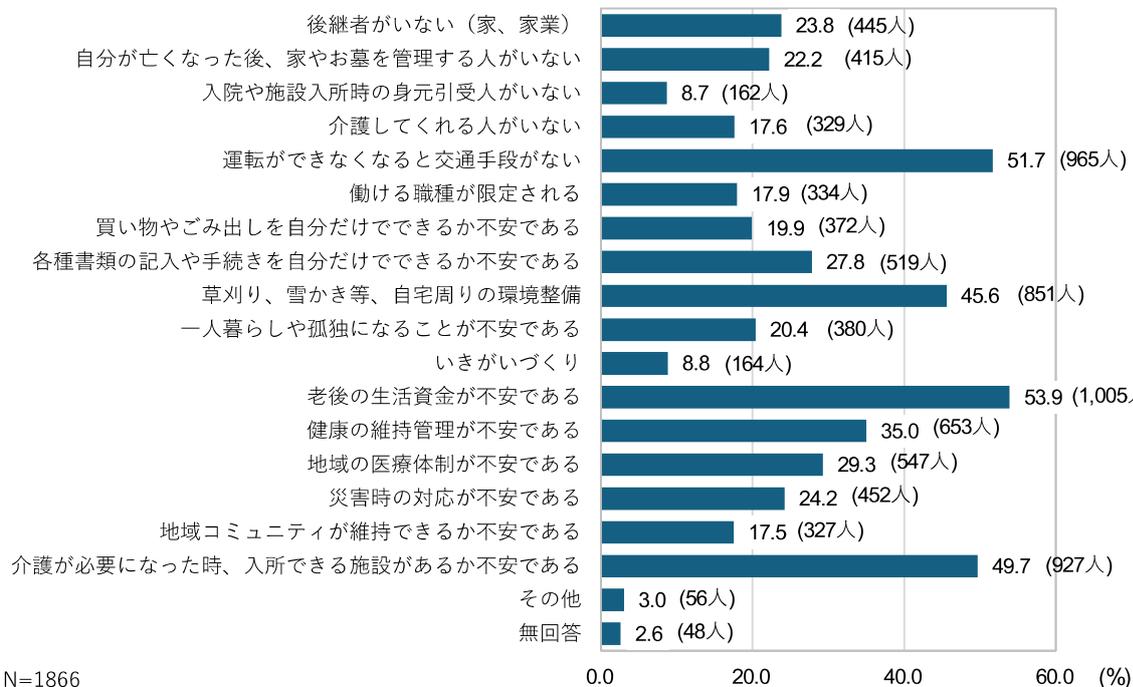
有効票数 = 1866



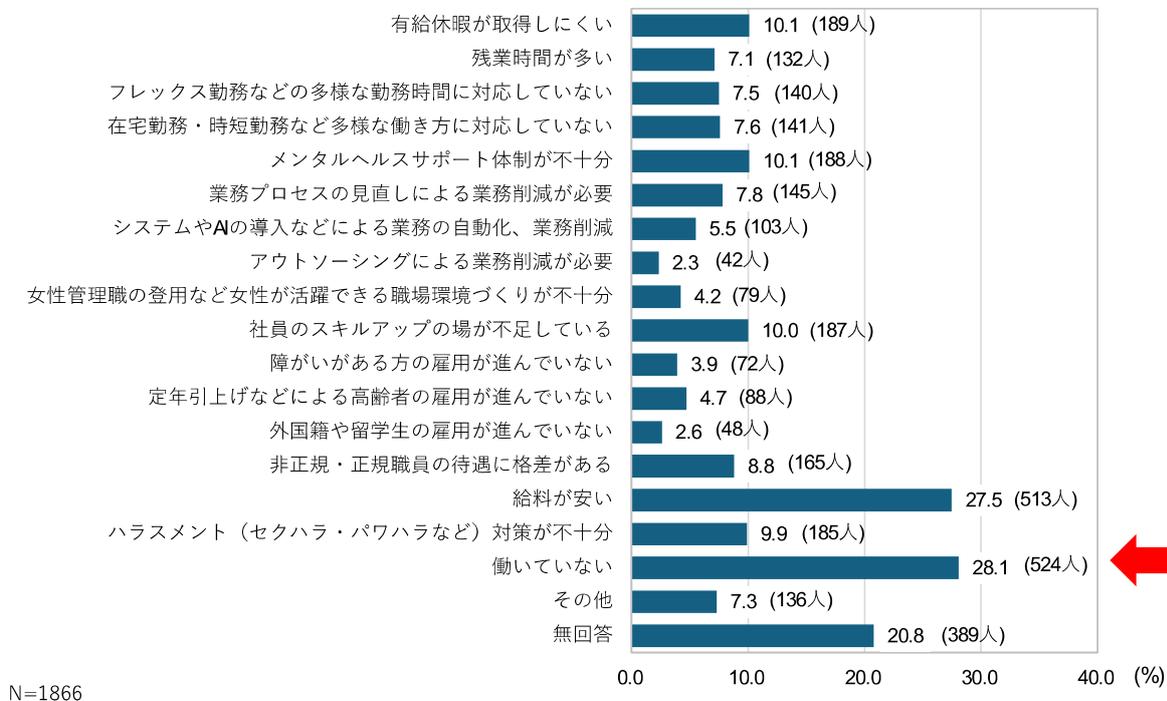
3 調査結果

(1) 生活や地域について

問6 高齢化社会が進行する中であなたが不安に思っていること、困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

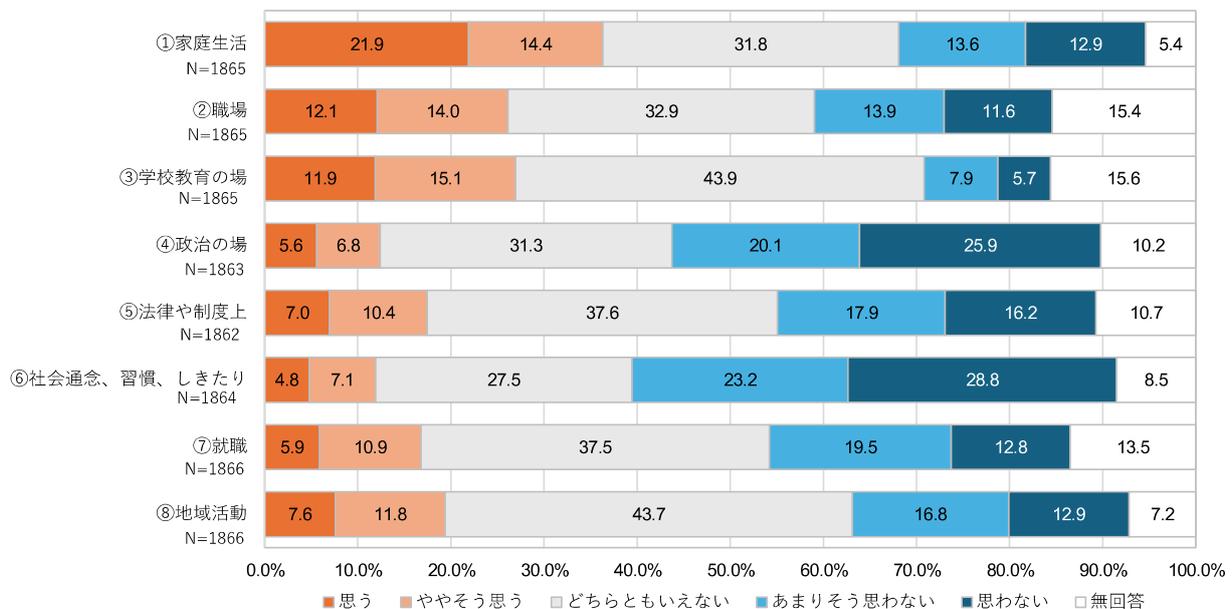


問8 あなたは働いている環境に不満や悩みがありますか。(あてはまるものすべてに○)

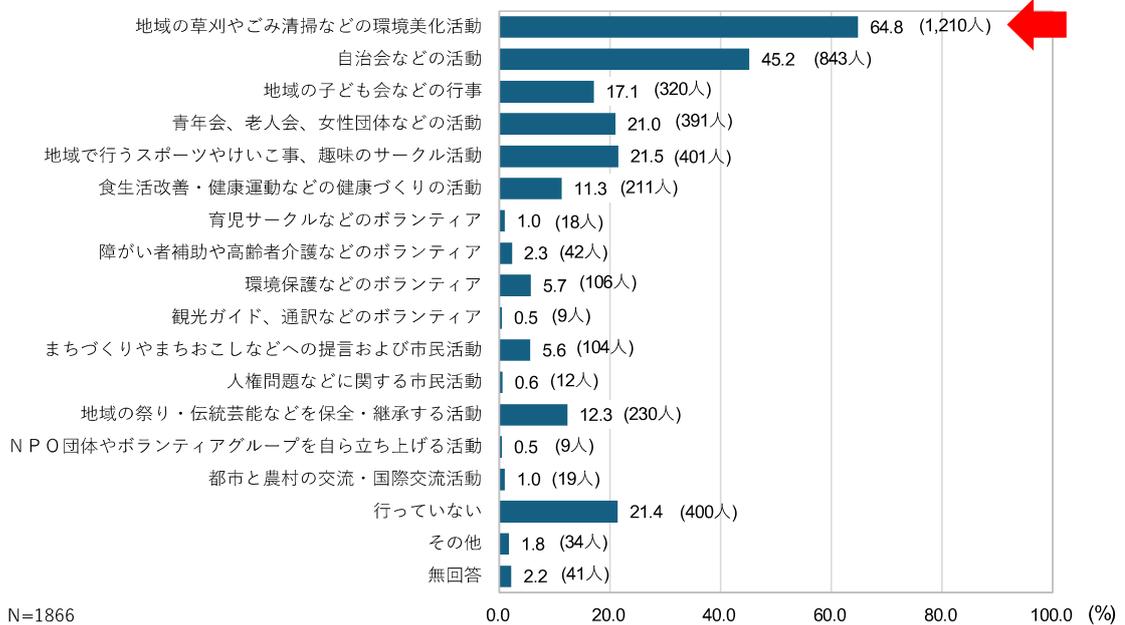


問 10 次にあげる各場面において、あなたの身の回りでは男女平等になっていると思いますか。(それぞれ1つに○)

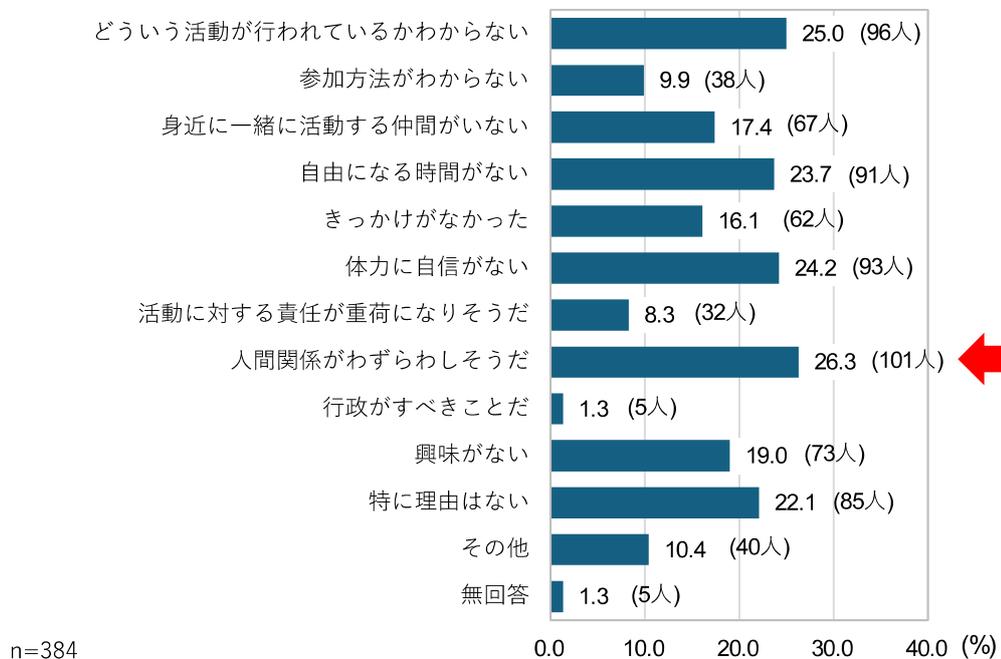
		思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	思わない	無回答	計
①家庭生活	(人)	409	268	594	253	241	100	1,865
	(%)	21.9	14.4	31.8	13.6	12.9	5.4	100.0
②職場	(人)	226	262	613	260	217	287	1,865
	(%)	12.1	14.0	32.9	13.9	11.6	15.4	100.0
③学校教育の場	(人)	222	281	818	147	106	291	1,865
	(%)	11.9	15.1	43.9	7.9	5.7	15.6	100.0
④政治の場	(人)	105	127	584	374	483	190	1,863
	(%)	5.6	6.8	31.3	20.1	25.9	10.2	100.0
⑤法律や制度上	(人)	131	194	701	334	302	200	1,862
	(%)	7.0	10.4	37.6	17.9	16.2	10.7	100.0
⑥社会通念、習慣、しきたり	(人)	90	133	512	433	537	159	1,864
	(%)	4.8	7.1	27.5	23.2	28.8	8.5	100.0
⑦就職	(人)	110	203	699	364	239	251	1,866
	(%)	5.9	10.9	37.5	19.5	12.8	13.5	100.0
⑧地域活動	(人)	141	221	816	313	240	135	1,866
	(%)	7.6	11.8	43.7	16.8	12.9	7.2	100.0



問 11 あなたが行っている地域での活動やボランティア活動はどのような活動ですか。(あてはまるものすべてに○)

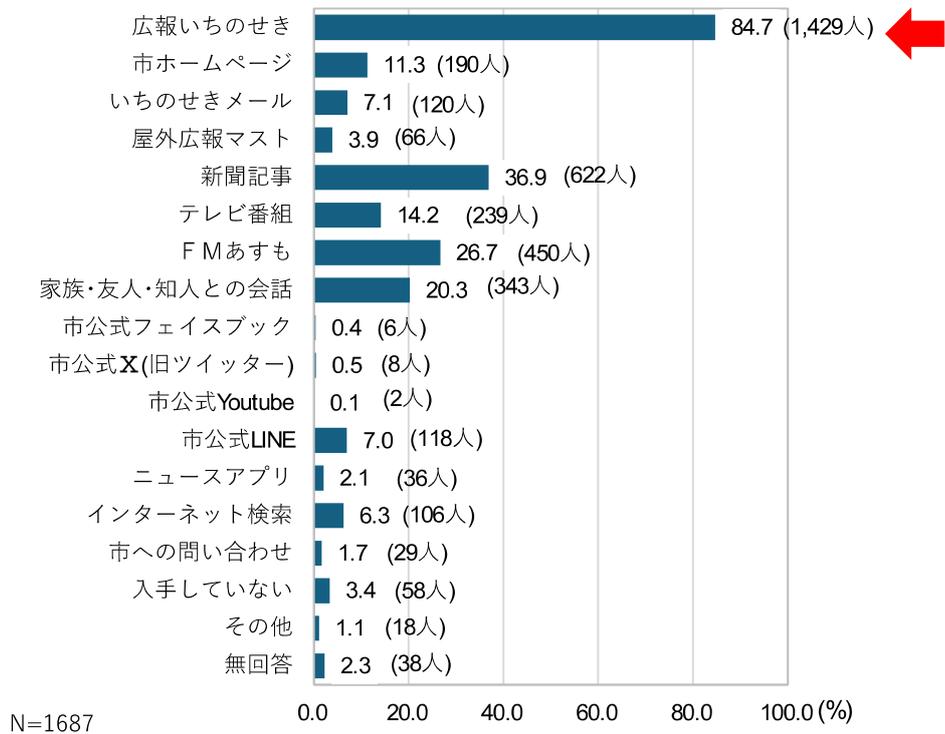


問 13 問 11 で「16. 行っていない」を選んだ方にうかがいます。活動をしていないのは、どのような理由からですか。(あてはまるもの3つまで○)

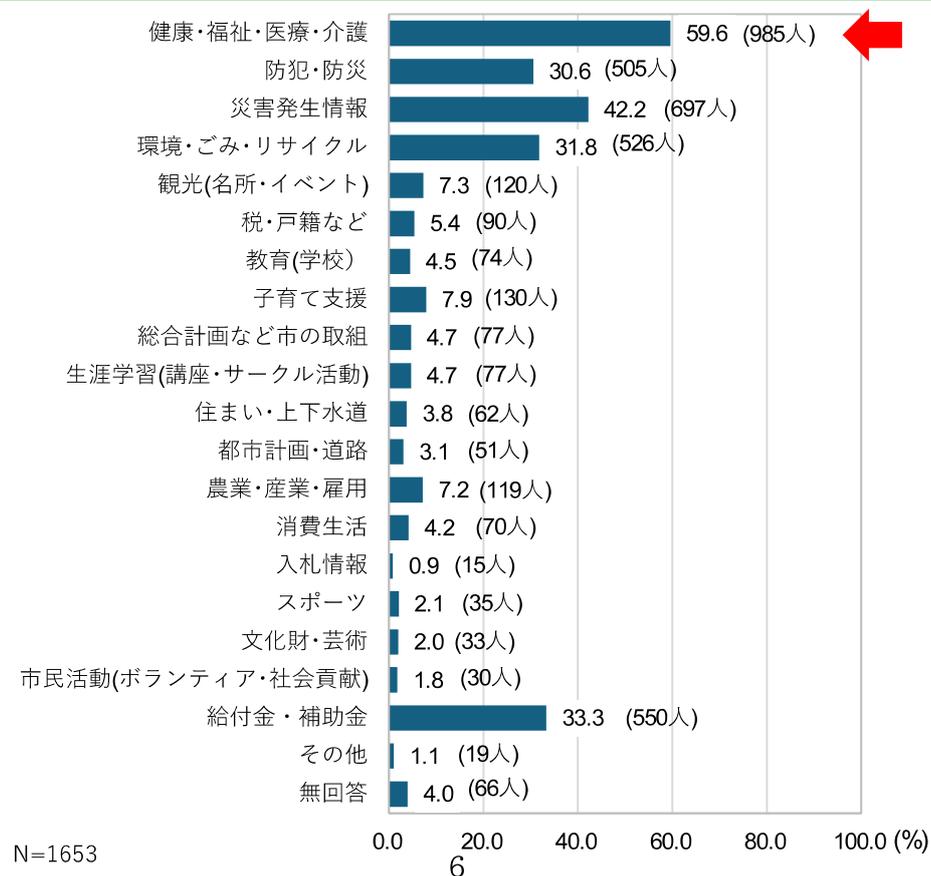


(2) 情報環境について

問 15 市からの情報は主に何で入手していますか。(あてはまるもの3つまで○)



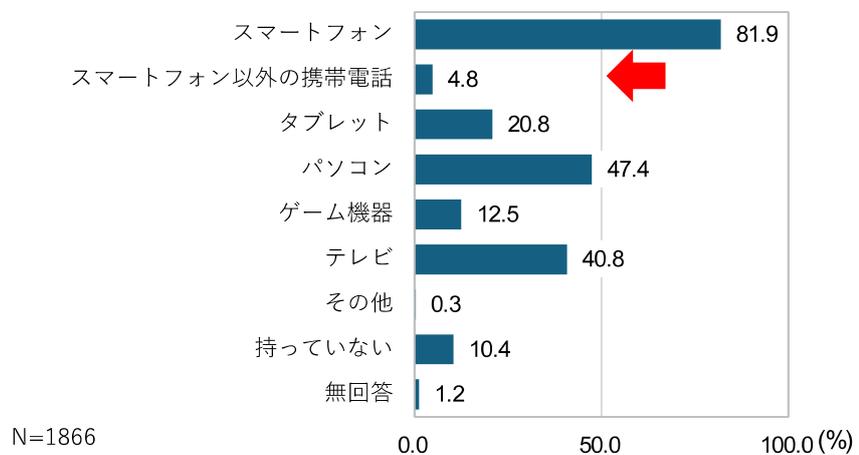
問 17 市からの情報は主にどのようなものを必要としていますか。(あてはまるもの3つまで○)



問 19 インターネットに接続できる機器を持っていますか(あてはまるものすべてに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	スマートフォン	1,529	81.9
2	スマートフォン以外の携帯電話	90	4.8
3	タブレット	389	20.8
4	パソコン	885	47.4
5	ゲーム機器	233	12.5
6	テレビ	761	40.8
7	その他	5	0.3
8	持っていない	194	10.4
	無回答	22	1.2

有効票数 = 1866

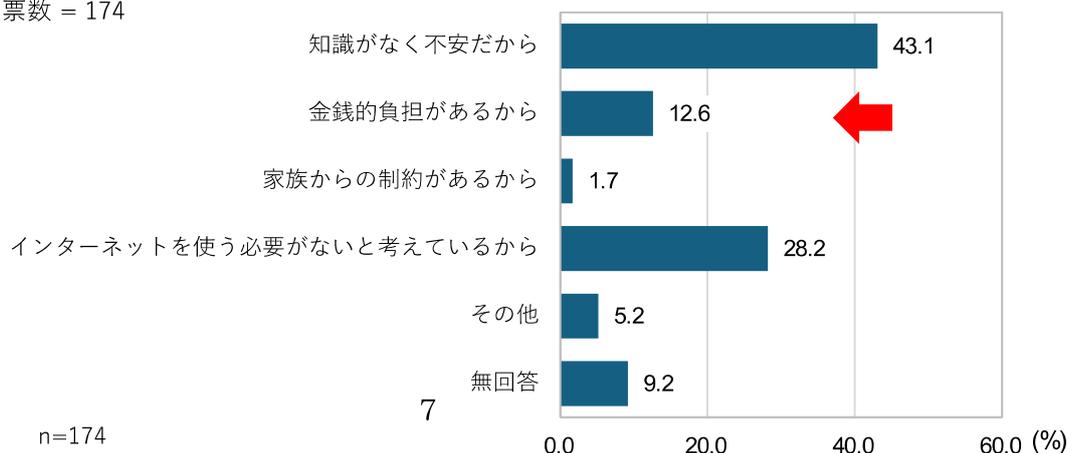


問 21 問 19 で「8. 持っていない」と回答した方にかがいます。

インターネットを使わない理由を教えてください。(最もあてはまるもの1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	知識がなく不安だから	75	43.1
2	金銭的負担があるから	22	12.6
3	家族からの制約があるから	3	1.7
4	インターネットを使う必要がないと考えているから	49	28.2
5	その他	9	5.2
	無回答	16	9.2

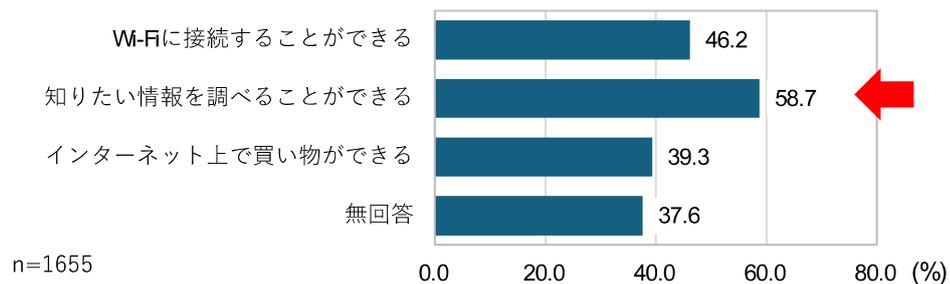
有効票数 = 174



問 23 問 19「8.持っていない」以外を回答した方にうかがいます。
 あなたはインターネットを用いてどのようなサービスを利用することができますか。(あてはまるものすべてに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	Wi-Fiに接続することができる	765	46.2
2	知りたい情報を調べることができる	971	58.7
3	インターネット上で買い物ができる	650	39.3
	無回答	622	37.6

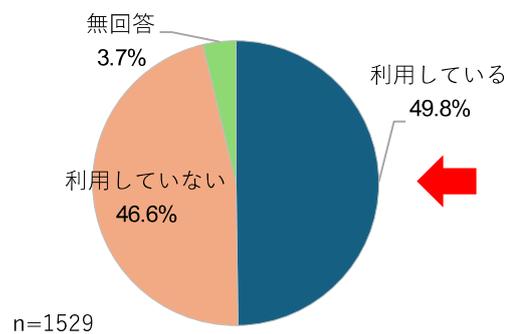
有効票数 = 1655



問 24 問 19 で「1. スマートフォン」と回答した方にうかがいます。
 スマートフォンでキャッシュレス決済を利用していますか。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	利用している	761	49.8
2	利用していない	712	46.6
	無回答	56	3.7

有効票数 = 1529

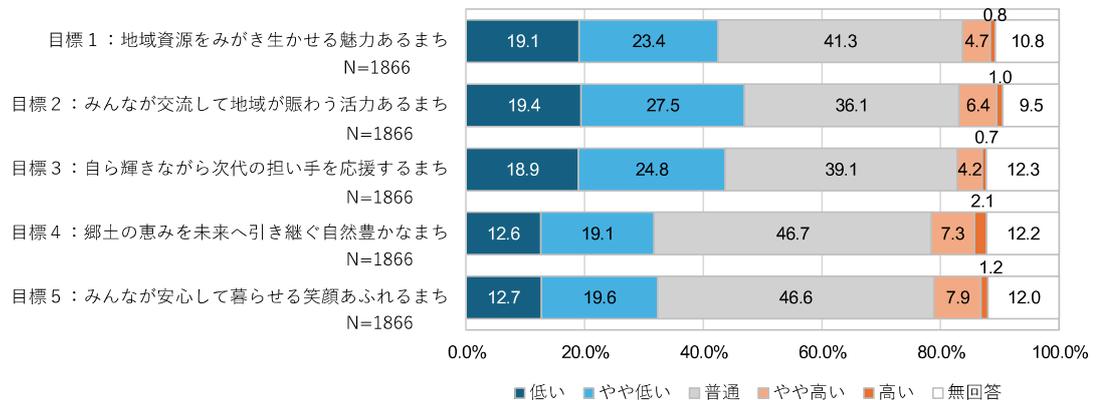


(3) まちづくりについて

問 25 現在の一関市総合計画(計画期間:2016年~2025年)では5つのまちづくりの目標を掲げ、各施策に取り組んできました。

・①目標ごとの市の取組への評価点数を選んでください。

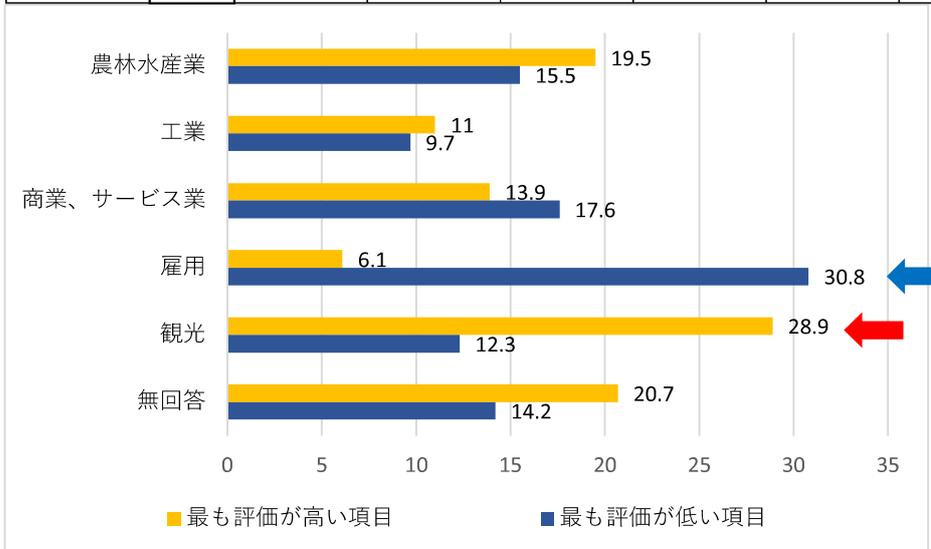
		低い	やや低い	普通	やや高い	高い	無回答	計
目標1：地域資源をみがき生かせる魅力あるまち	(人)	356	436	770	88	15	201	1,866
	(%)	19.1	23.4	41.3	4.7	0.8	10.8	100.0
目標2：みんなが交流して地域が賑わう活力あるまち	(人)	362	514	674	120	18	178	1,866
	(%)	19.4	27.5	36.1	6.4	1.0	9.5	99.9
目標3：自ら輝きながら次代の担い手を応援するまち	(人)	353	462	730	79	13	229	1,866
	(%)	18.9	24.8	39.1	4.2	0.7	12.3	100.0
目標4：郷土の恵みを未来へ引き継ぐ自然豊かなまち	(人)	235	357	871	136	39	228	1,866
	(%)	12.6	19.1	46.7	7.3	2.1	12.2	100.0
目標5：みんなが安心して暮らせる笑顔あふれるまち	(人)	237	365	870	148	22	224	1,866
	(%)	12.7	19.6	46.6	7.9	1.2	12.0	100.0



・目標ごとに②最も評価が高い項目と③最も評価が低い項目を教えてください。

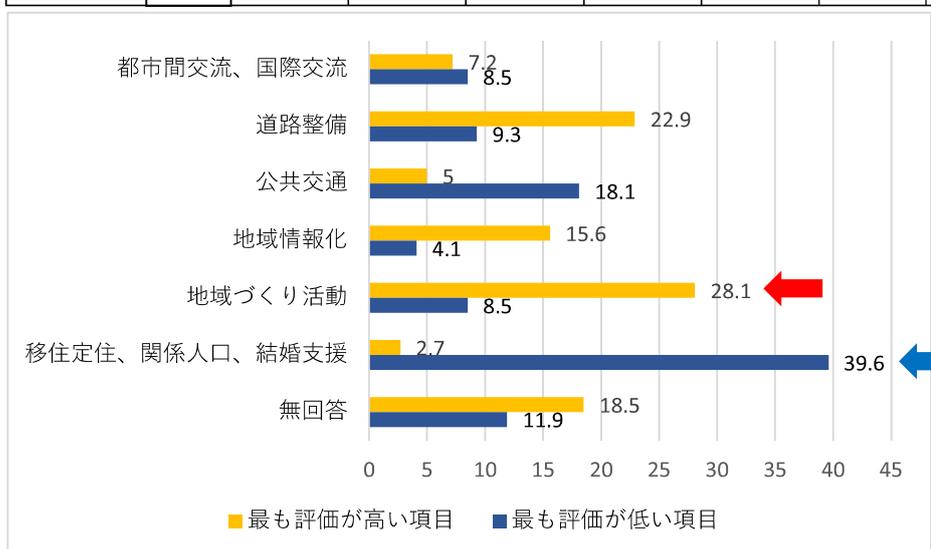
目標1:地域資源をみがき生かせる魅力あるまち

		農林水産業	工業	商業、サービス業	雇用	観光	無回答	計
最も評価が高い項目	(人)	362	204	258	113	538	386	1,861
	(%)	19.5	11.0	13.9	6.1	28.9	20.7	100.0
最も評価が低い項目	(人)	287	179	326	569	227	262	1,850
	(%)	15.5	9.7	17.6	30.8	12.3	14.2	100.0



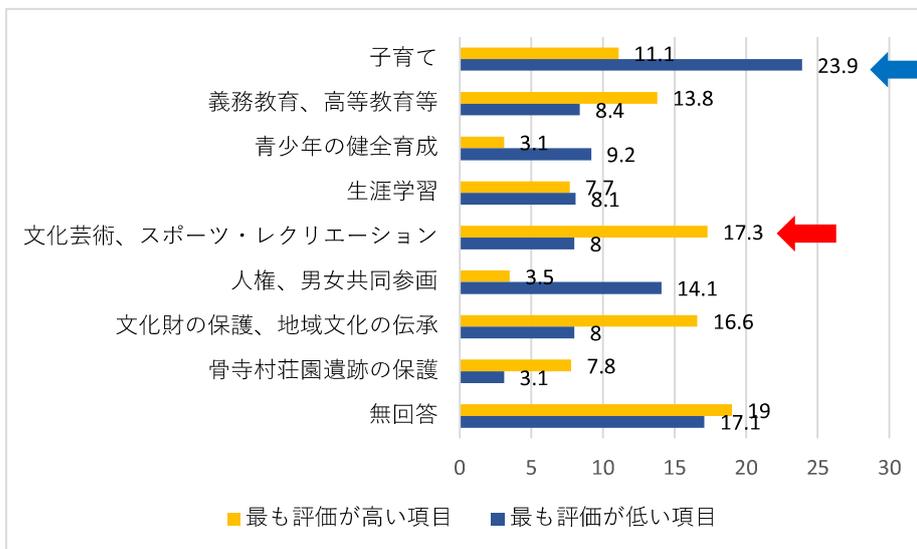
目標2:みんなが交流して地域が賑わう活力あるまち

		都市間交流、国際交流	道路整備	公共交通	地域情報化	地域づくり活動	移住定住、関係人口、結婚支援	無回答	計
最も評価が高い項目	(人)	134	427	93	290	523	50	345	1,862
	(%)	7.2	22.9	5.0	15.6	28.1	2.7	18.5	100.0
最も評価が低い項目	(人)	157	172	333	75	156	730	220	1,843
	(%)	8.5	9.3	18.1	4.1	8.5	39.6	11.9	100.0



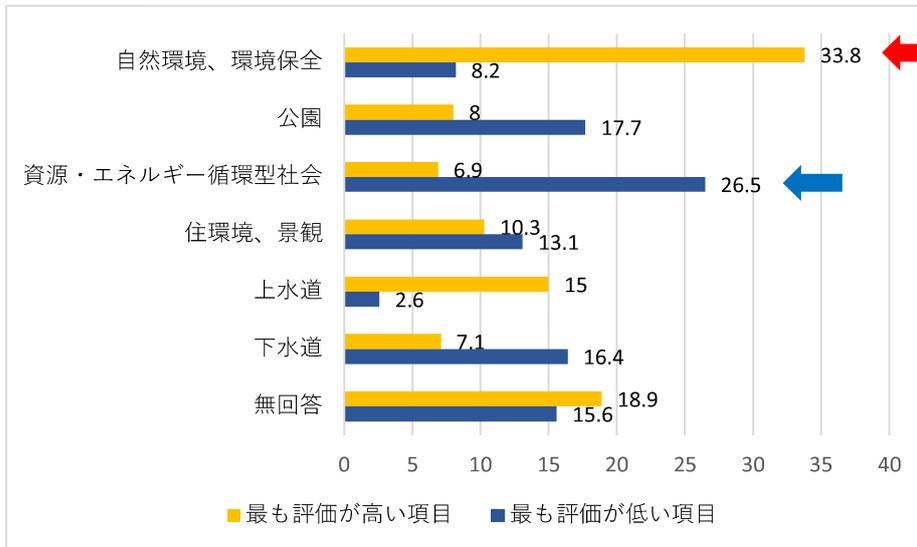
目標3:自ら輝きながら次代の担い手を応援するまち

最も評価が 高い項目		子育て	義務教育、高 等教育等	青少年の健全 育成	生涯学習	文化芸術、ス ポーツ・レク リエーション
	(人)	206	257	58	143	322
	(%)	11.1	13.8	3.1	7.7	17.3
		人権、男女共 同参画	文化財の保 護、地域文化 の伝承	骨寺村荘園遺 跡の保護	無回答	計
	(人)	65	309	145	352	1,857
	(%)	3.5	16.6	7.8	19.0	100.0
最も評価が 低い項目		子育て	義務教育、高 等教育等	青少年の健全 育成	生涯学習	文化芸術、ス ポーツ・レク リエーション
	(人)	444	156	171	151	148
	(%)	23.9	8.4	9.2	8.1	8.0
		人権、男女共 同参画	文化財の保 護、地域文化 の伝承	骨寺村荘園遺 跡の保護	無回答	計
	(人)	262	149	57	318	1,856
	(%)	14.1	8.0	3.1	17.1	100.0



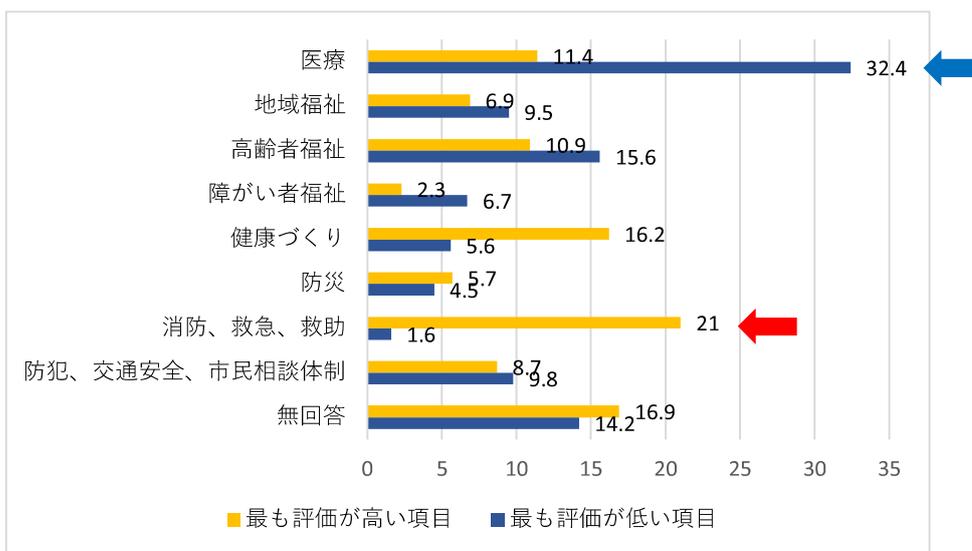
目標4:郷土の恵みを未来へ引き継ぐ自然豊かなまち

		自然環境、 環境保全	公園	資源・エネ ルギー循環 型社会	住環境、 景観	上水道	下水道	無回答	計
最も評価が	(人)	629	149	128	192	280	132	352	1,862
高い項目	(%)	33.8	8.0	6.9	10.3	15.0	7.1	18.9	100.0
最も評価が	(人)	153	328	492	243	49	304	289	1,858
低い項目	(%)	8.2	17.7	26.5	13.1	2.6	16.4	15.6	100.0



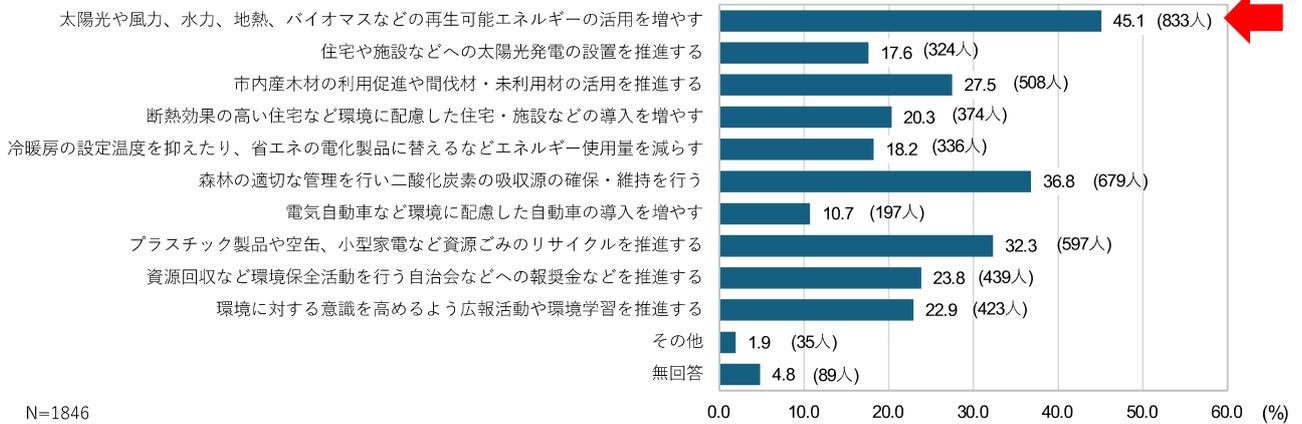
目標5:みんなが安心して暮らせる笑顔あふれるまち

最も評価が 高い項目		医療	地域福祉	高齢者福祉	障がい者福祉	健康づくり
	(人)	212	128	203	42	300
	(%)	11.4	6.9	10.9	2.3	16.2
		防災	消防、救急、 救助	防犯、交通安 全、市民相談 体制	無回答	計
	(人)	106	389	161	313	1,854
	(%)	5.7	21.0	8.7	16.9	100.0
最も評価が 低い項目		医療	地域福祉	高齢者福祉	障がい者福祉	健康づくり
	(人)	600	175	289	124	104
	(%)	32.4	9.5	15.6	6.7	5.6
		防災	消防、救急、 救助	防犯、交通安 全、市民相談 体制	無回答	計
	(人)	84	29	182	263	1,850
	(%)	4.5	1.6	9.8	14.2	100.0

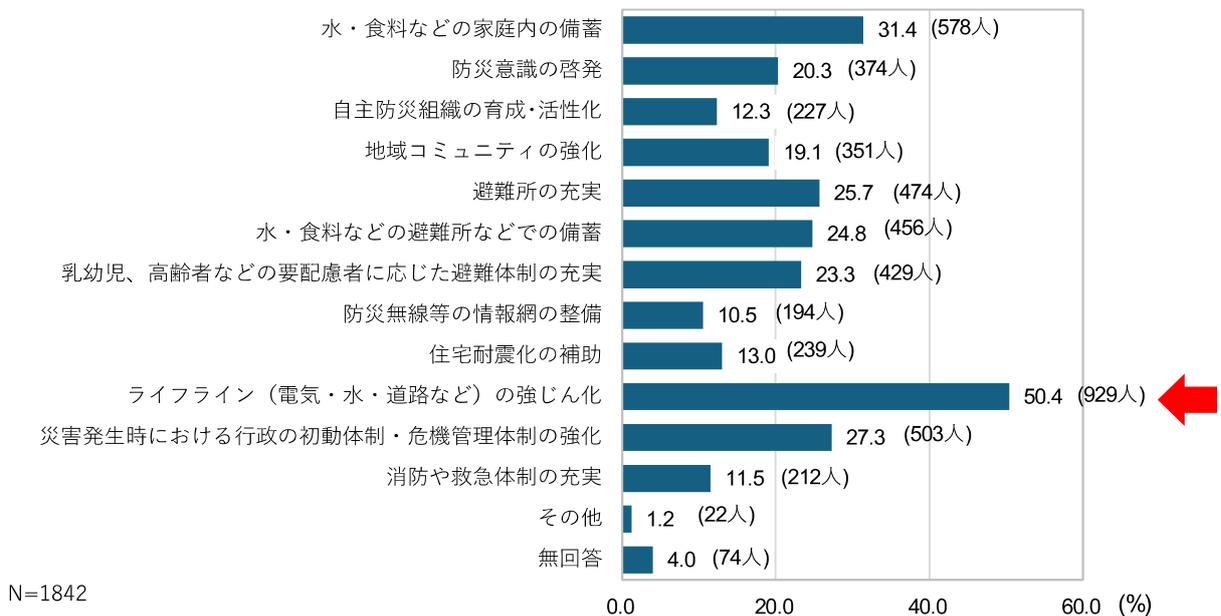


問 26 地球温暖化が深刻な環境問題となっています。

温暖化を防止するために行政や市民、事業所ではどのような取組を進めることが必要だと考えますか。特に重要だと思うものをお選びください。(あてはまるもの3つまで○)



問 28 災害に強いまちづくりに向け、どのような取組を進めることが必要だと考えますか。特に重要だと思うものをお選びください。(あてはまるもの3つまで○)

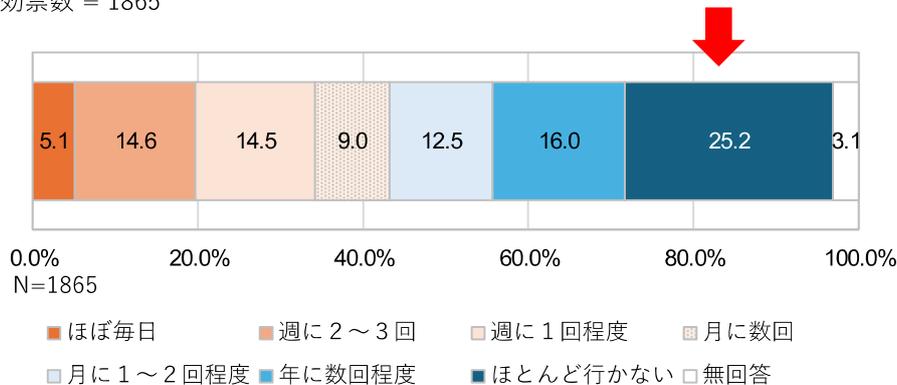


(4) 市街地の活性化の取組のために

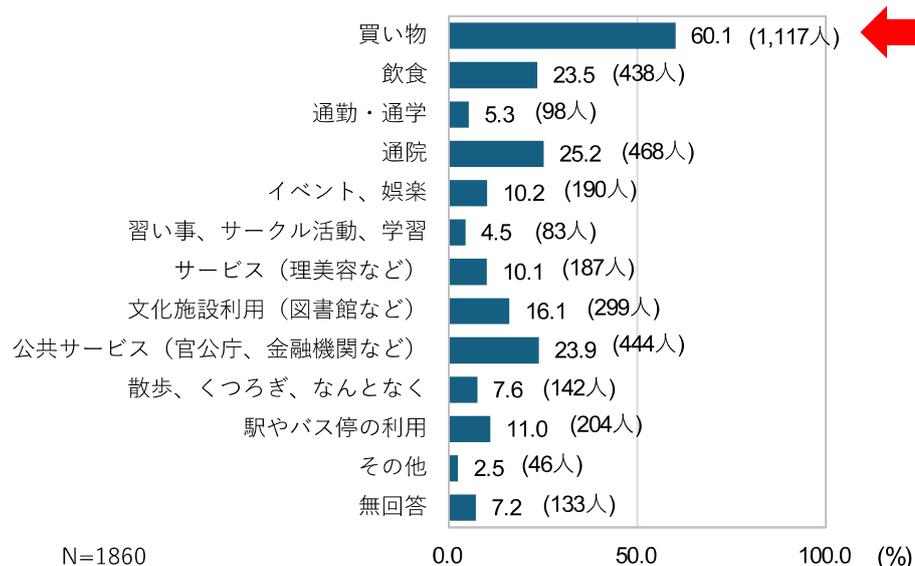
問 30 中心市街地の商店街(一ノ関駅西側商店街)またはお住まいの地域の商店街にどれくらいの頻度で出かけますか。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	ほぼ毎日	96	5.1
2	週に2～3回	272	14.6
3	週に1回程度	270	14.5
4	月に数回	168	9.0
5	月に1～2回程度	233	12.5
6	年に数回程度	298	16.0
7	ほとんど行かない	470	25.2
	無回答	58	3.1

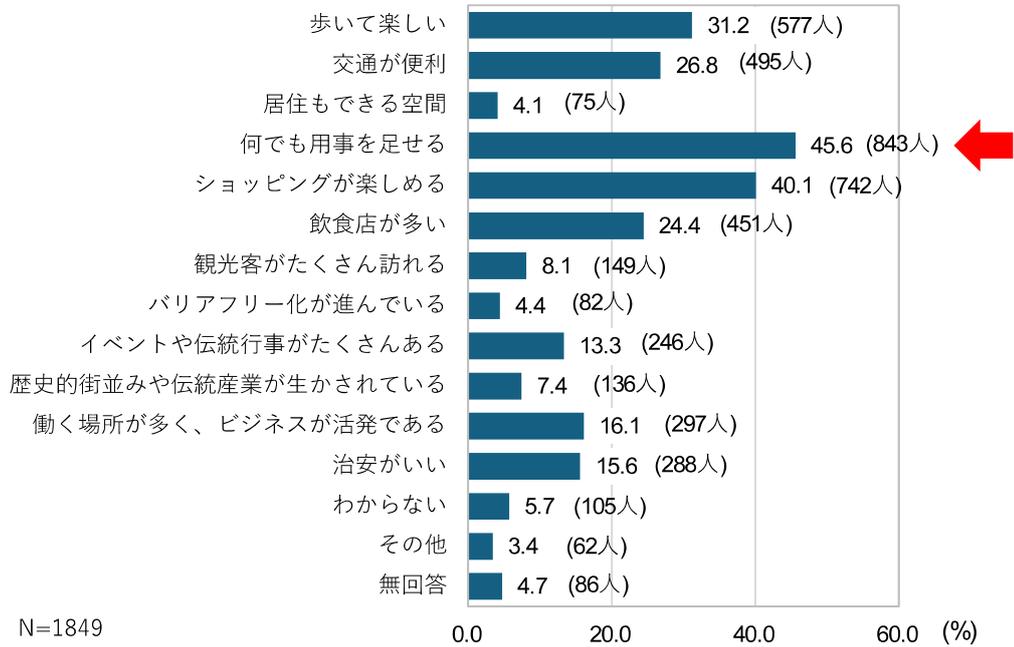
有効票数 = 1865



問 31 中心市街地の商店街(一ノ関駅西側商店街)またはお住まいの地域の商店街に出かける目的は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)



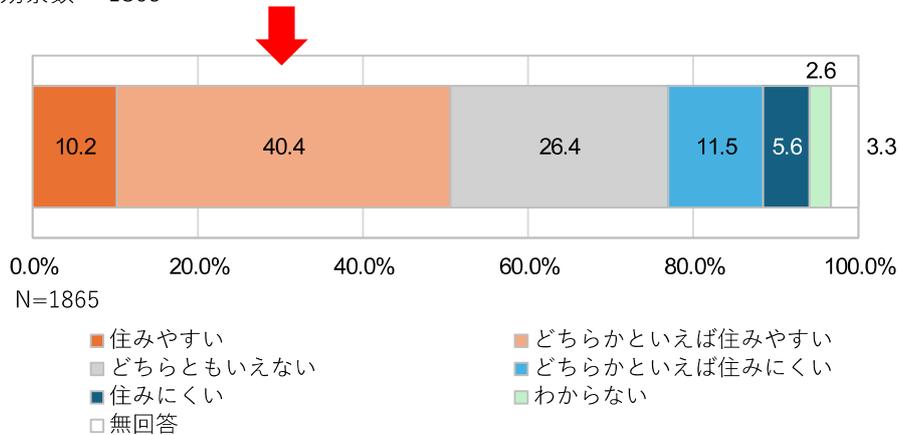
問 33 中心市街地の商店街(一ノ関駅西側商店街)またはお住まいの地域の商店街がどのような空間になるとよいと思いますか。(あてはまるもの3つまで○)



問 35 あなたは、一関市の住みやすさについて、どのように感じていますか。(1つに○)

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 住みやすい	191	10.2
2 どちらかといえば住みやすい	754	40.4
3 どちらともいえない	492	26.4
4 どちらかといえば住みにくい	214	11.5
5 住みにくい	105	5.6
6 わからない	48	2.6
無回答	61	3.3

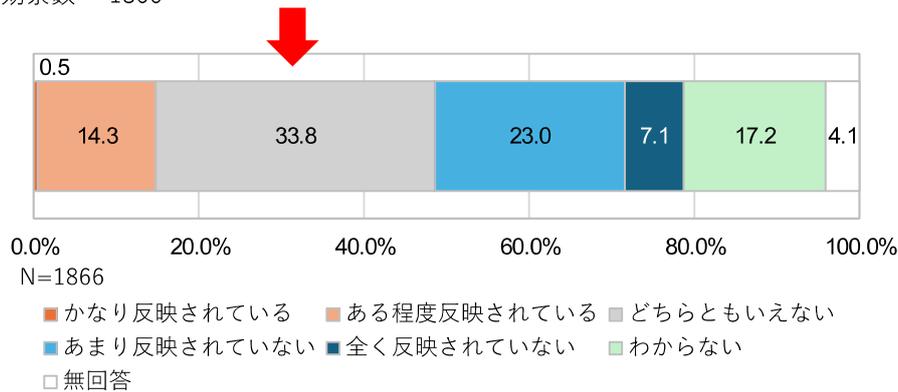
有効票数 = 1865



問 37 あなたは市民の考えや意見が市政全般にどの程度反映されていると思いますか。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	かなり反映されている	9	0.5
2	ある程度反映されている	267	14.3
3	どちらともいえない	631	33.8
4	あまり反映されていない	430	23.0
5	全く反映されていない	132	7.1
6	わからない	321	17.2
	無回答	76	4.1

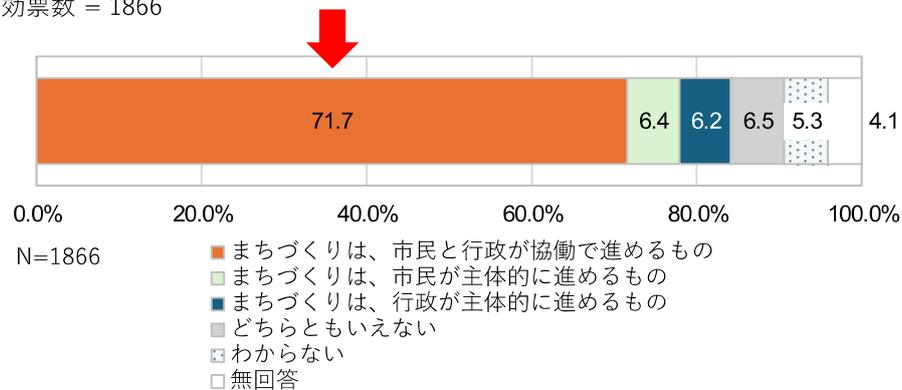
有効票数 = 1866



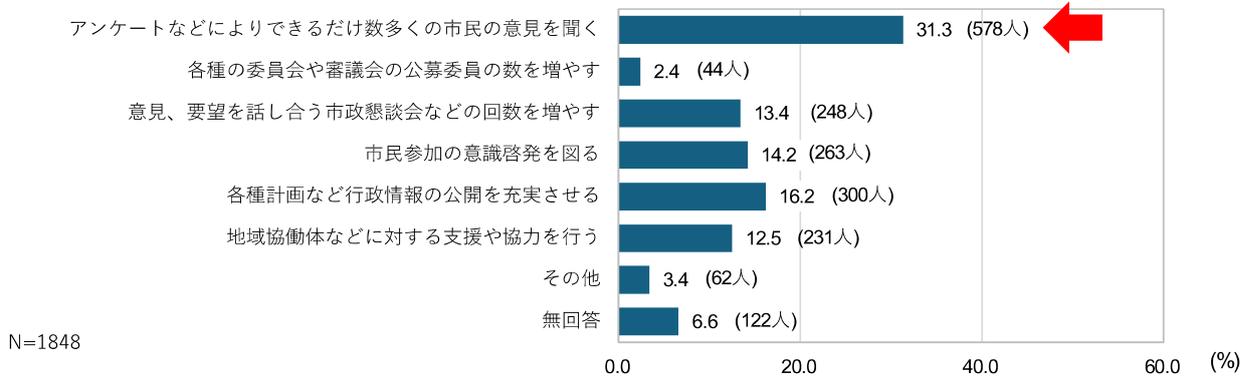
問 38 まちづくりに関する次の意見のうち、あなたの考えに近いのはどれですか。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	まちづくりは、市民と行政が協働で進めるもの	1,337	71.7
2	まちづくりは、市民が主体的に進めるもの	119	6.4
3	まちづくりは、行政が主体的に進めるもの	115	6.2
4	どちらともいえない	121	6.5
5	わからない	98	5.3
	無回答	76	4.1

有効票数 = 1866



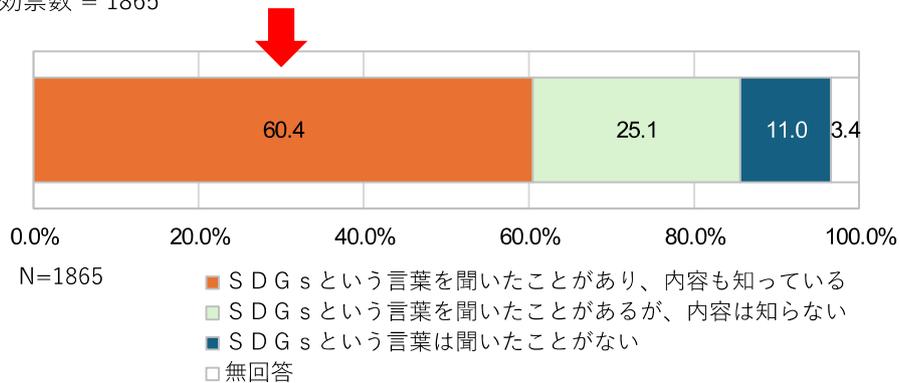
問 39 市政への市民参加をより活発にするために、あなたは市が特にどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(1つに○)



問 41 SDGsという言葉を知っていますか。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	SDGsという言葉を知ったことがあり、内容も知っている	1,127	60.4
2	SDGsという言葉を知ったことがあるが、内容は知らない	469	25.1
3	SDGsという言葉は聞いたことがない	206	11.0
	無回答	63	3.4

有効票数 = 1865

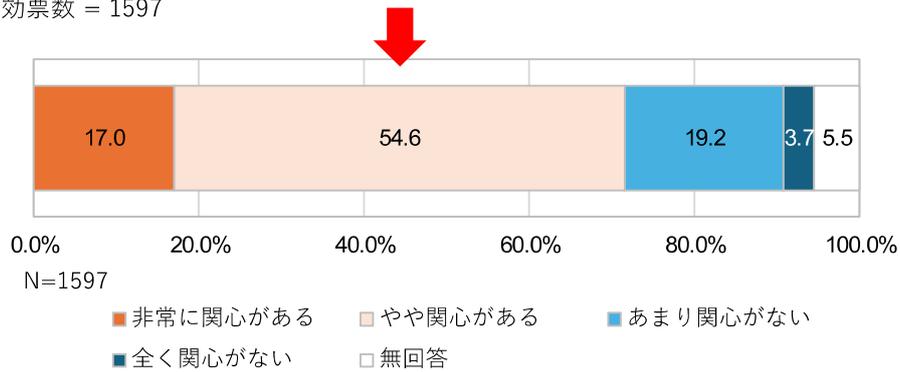


問 42 問 41 で「1. SDGsという言葉を知ったことがあるが、内容も知っている」「2. SDGsという言葉を知ったことがあるが、内容は知らない」と回答した方に伺います。

SDGsに関心はありますか。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	非常に興味がある	271	17.0
2	やや興味がある	872	54.6
3	あまり興味がない	307	19.2
4	全く興味がない	59	3.7
	無回答	88	5.5

有効票数 = 1597



中高生アンケート

1. 回答結果

有効回答数:777 件(回答率 86.3%)

【回答結果】

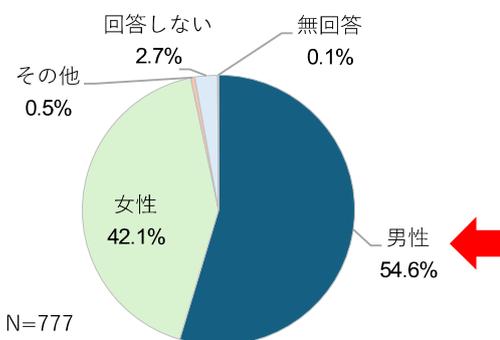
種類	配布数	回答数		回答率			
		調査票	WEB	調査票	WEB		
中高生	900 件	777 件	172 件	605 件	86.3%	19.1%	67.2%

2. 回答者の属性

問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	男性	424	54.6
2	女性	327	42.1
3	その他	4	0.5
4	回答しない	21	2.7
	無回答	1	0.1

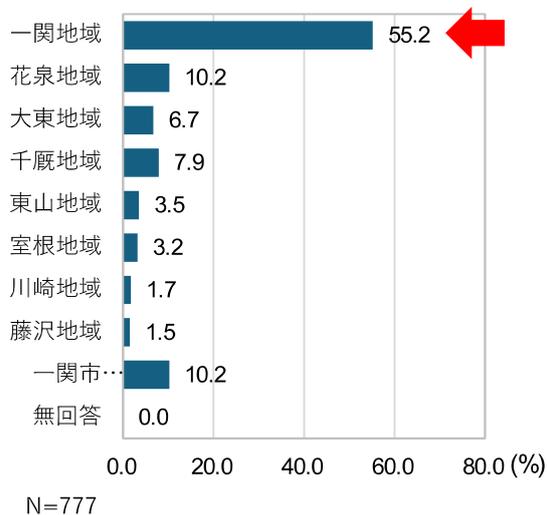
有効票数 = 777



問2 現在お住まいの地域を教えてください。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	一関地域	429	55.2
2	花泉地域	79	10.2
3	大東地域	52	6.7
4	千厩地域	61	7.9
5	東山地域	27	3.5
6	室根地域	25	3.2
7	川崎地域	13	1.7
8	藤沢地域	12	1.5
9	一関市以外	79	10.2
	無回答	0	0.0

有効票数 = 777



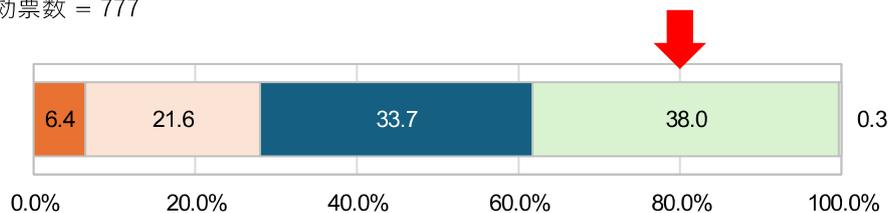
3. 調査結果

(1) 将来の「生活」について

問6 あなたは将来、一関市に住みたいと思いますか。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	学校を卒業しても住み続けたい	50	6.4
2	進学や就職で一度離れるかもしれないが、将来的には住みたい	168	21.6
3	将来的に住みたくない	262	33.7
4	わからない	295	38.0
	無回答	2	0.3

有効票数 = 777



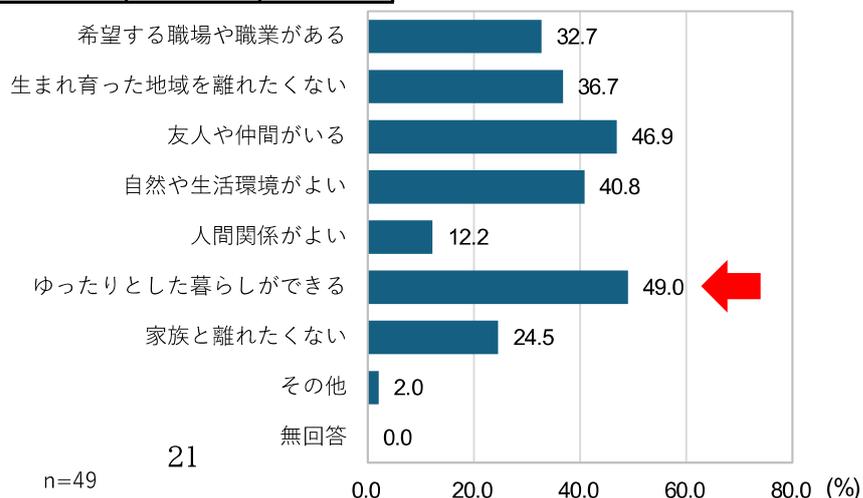
N=777

- 学校を卒業しても住み続けたい
- 進学や就職で一度離れるかもしれないが、将来的には住みたい
- 将来的に住みたくない
- わからない
- 無回答

問7 問6で「1. 学校を卒業しても住み続けたい」と回答した方に伺います。一関市に住みたいと思った理由は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	希望する職場や職業がある	16	32.7
2	生まれ育った地域を離れたくない	18	36.7
3	友人や仲間がいる	23	46.9
4	自然や生活環境がよい	20	40.8
5	人間関係がよい	6	12.2
6	ゆったりとした暮らしができる	24	49.0
7	家族と離れたくない	12	24.5
8	その他	1	2.0
	無回答	0	0.0

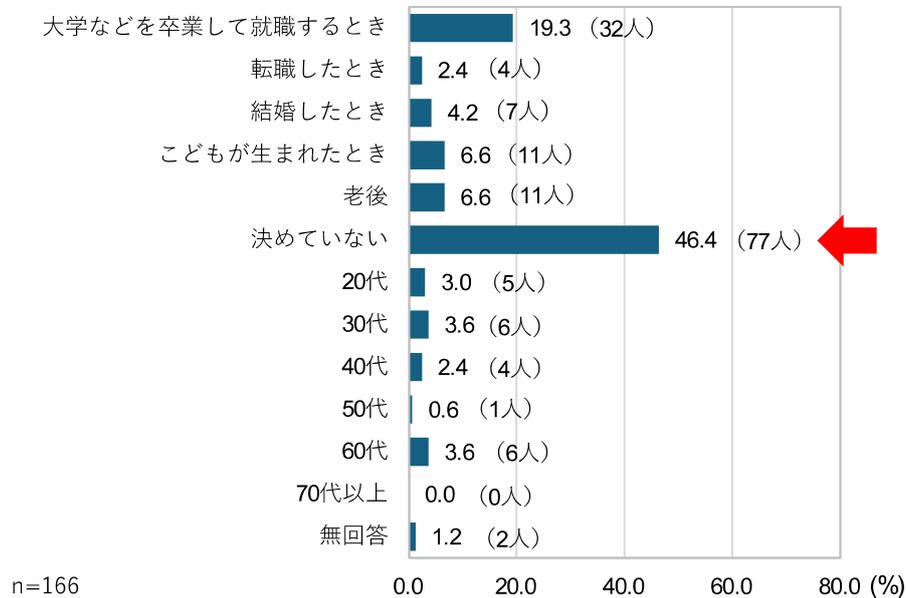
有効票数 = 49



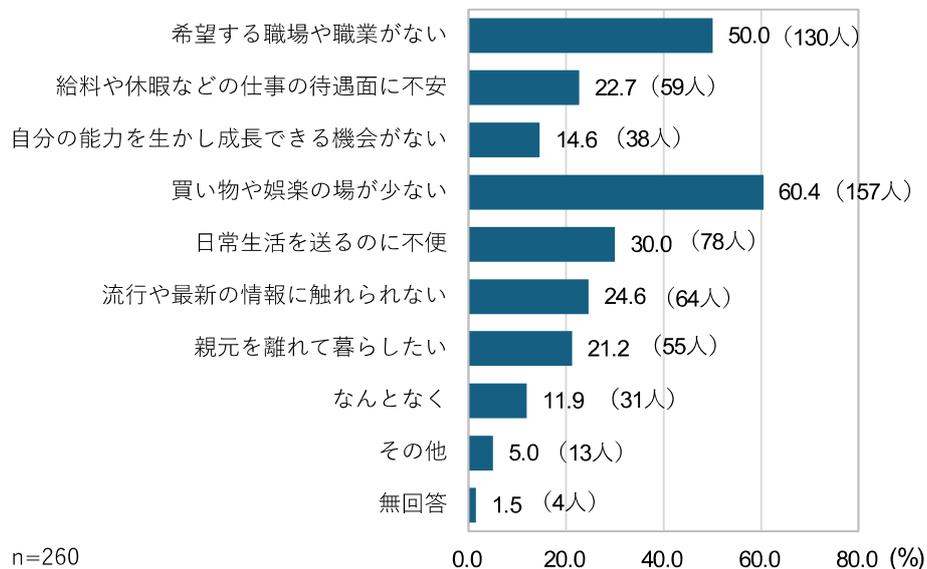
n=49

問9 問6で「2. 進学や就職で一度離れるかもしれないが、将来的には住みたい」と回答した方に伺います。

将来的に一関市に住みたいと考えている時期はいつですか。(1つに○)



問 10 問6で「3. 将来的に住みたくない」と回答した方に伺います。一関市に住みたくないと思った理由は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

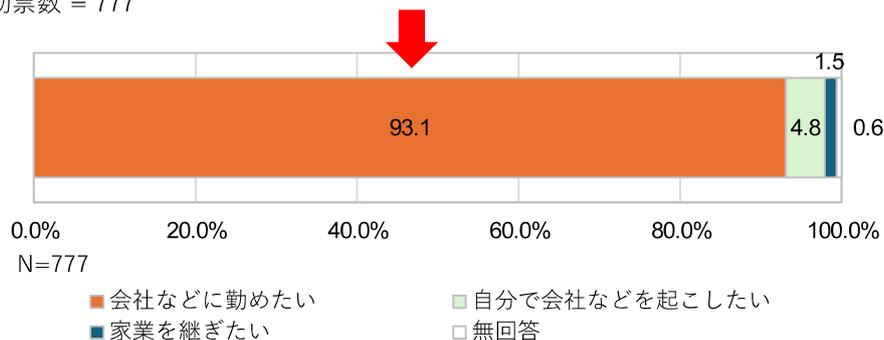


(2) 将来の「仕事」について

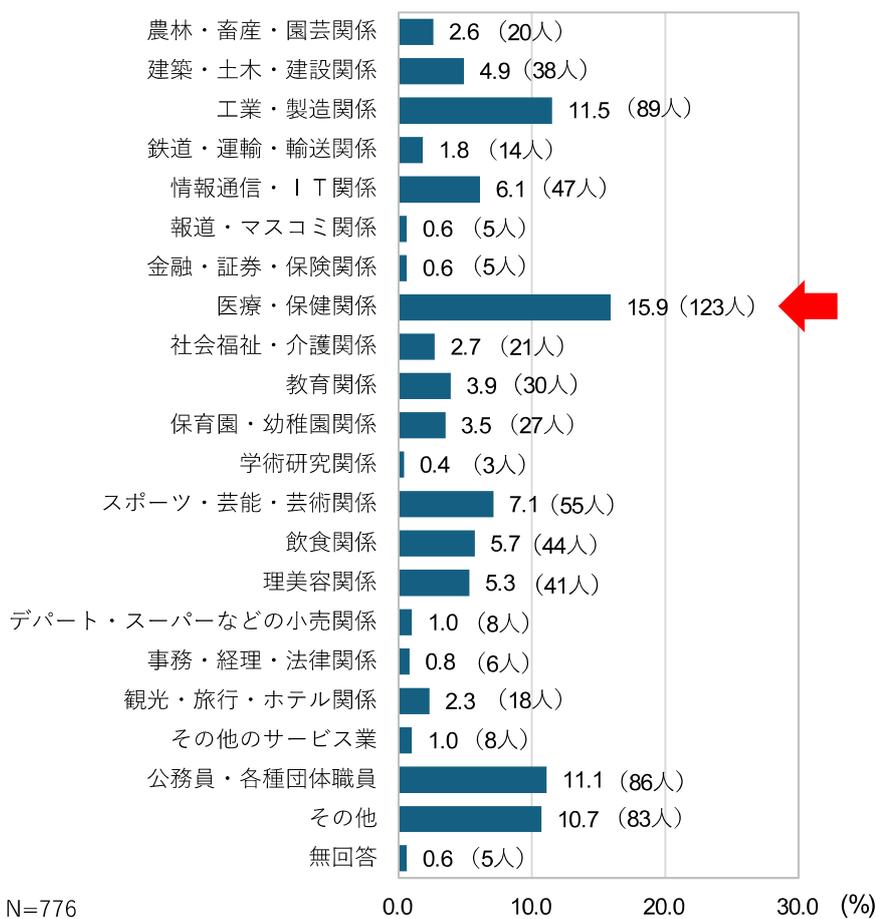
問 12 あなたは学校卒業後の仕事についてどのように考えていますか。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	会社などに勤めたい	723	93.1
2	自分で会社などを起こしたい	37	4.8
3	家業を継ぎたい	12	1.5
	無回答	5	0.6

有効票数 = 777



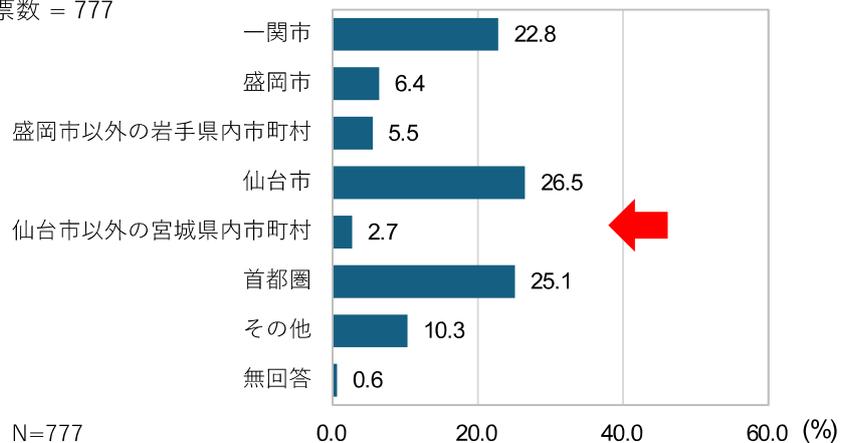
問 13 問 12 について、どのような職業につきたいですか。(1つに○)



問 15 あなたは学校卒業後、どの地域で働きたいですか。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	一関市	177	22.8
2	盛岡市	50	6.4
3	盛岡市以外の岩手県内市町村	43	5.5
4	仙台市	206	26.5
5	仙台市以外の宮城県内市町村	21	2.7
6	首都圏	195	25.1
7	その他	80	10.3
	無回答	5	0.6

有効票数 = 777

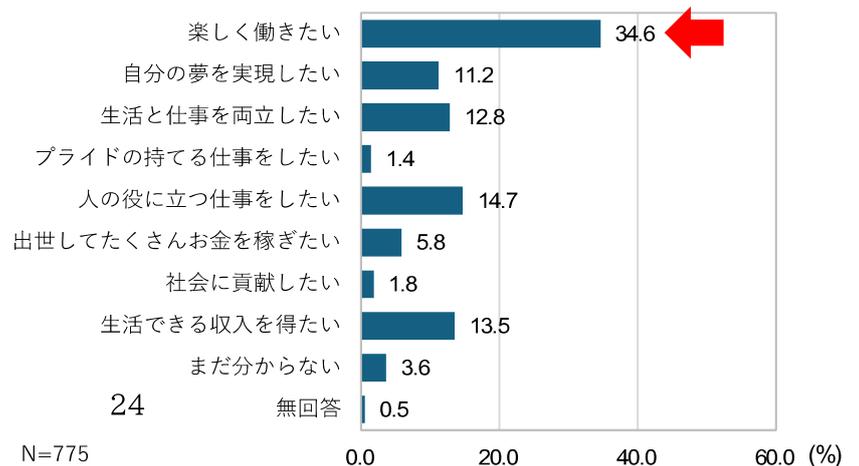


N=777

問 17 あなたが仕事を考える上で一番大切にしたいポイントはなんですか。(1つに○)

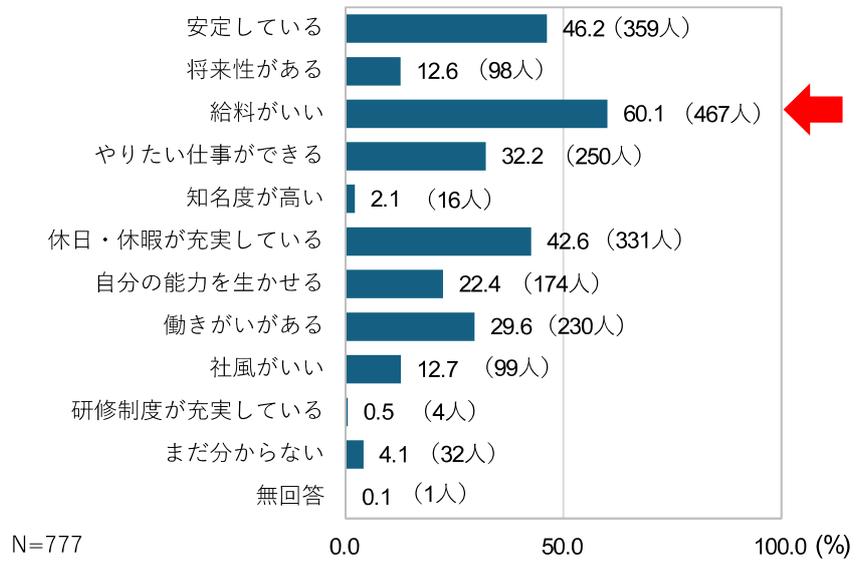
	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	楽しく働きたい	268	34.6
2	自分の夢を実現したい	87	11.2
3	生活と仕事を両立したい	99	12.8
4	プライドの持てる仕事をしたい	11	1.4
5	人の役に立つ仕事をしたい	114	14.7
6	出世してたくさんお金を稼ぎたい	45	5.8
7	社会に貢献したい	14	1.8
8	生活できる収入を得たい	105	13.5
9	まだ分からない	28	3.6
	無回答	4	0.5

有効票数 = 775



N=775

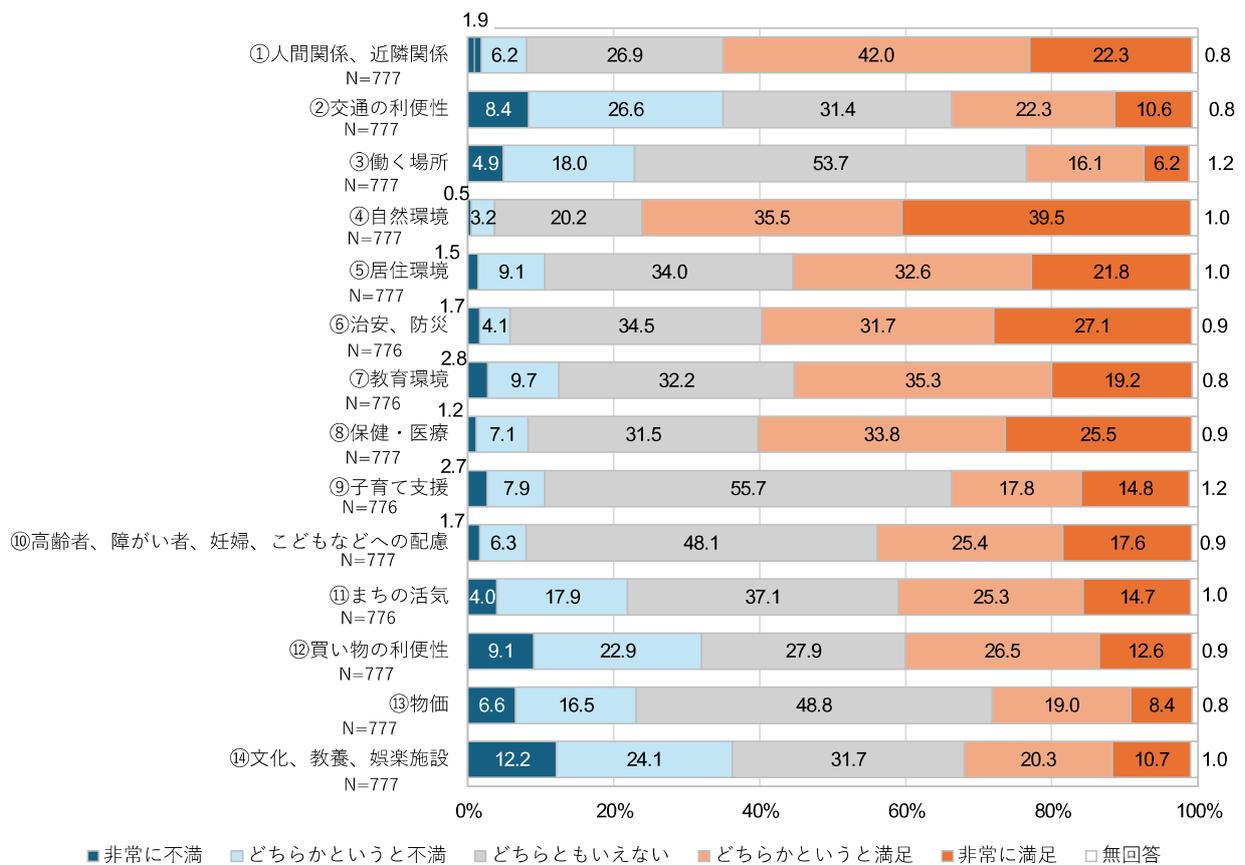
問 18 仕事を選ぶときに大切にしたい条件を教えてください。(あてはまるもの3つまで○)



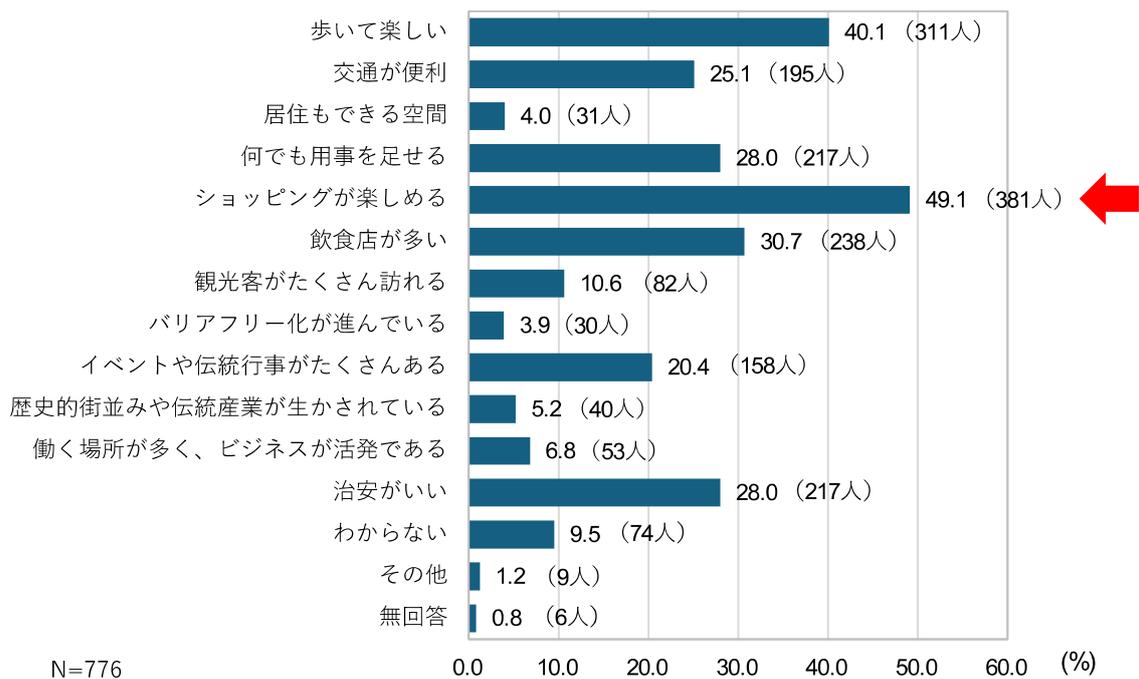
(3) 一関市での暮らしについて

問 19 あなたは一関市の住みやすさについて、どのように感じていますか。次の項目ごとに、1「非常に不満」～5「非常に満足」の5段階評価で、それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

		非常に不満	どちらかという不満	どちらともいえない	どちらかという満足	非常に満足	無回答	計
①人間関係、近隣関係	(人)	15	48	209	326	173	6	777
	(%)	1.9	6.2	26.9	42.0	22.3	0.8	100.0
②交通の利便性	(人)	65	207	244	173	82	6	777
	(%)	8.4	26.6	31.4	22.3	10.6	0.8	100.0
③働く場所	(人)	38	140	417	125	48	9	777
	(%)	4.9	18.0	53.7	16.1	6.2	1.2	100.0
④自然環境	(人)	4	25	157	276	307	8	777
	(%)	0.5	3.2	20.2	35.5	39.5	1.0	100.0
⑤居住環境	(人)	12	71	264	253	169	8	777
	(%)	1.5	9.1	34.0	32.6	21.8	1.0	100.0
⑥治安、防災	(人)	13	32	268	246	210	7	776
	(%)	1.7	4.1	34.5	31.7	27.1	0.9	100.0
⑦教育環境	(人)	22	75	250	274	149	6	776
	(%)	2.8	9.7	32.2	35.3	19.2	0.8	100.0
⑧保健・医療	(人)	9	55	245	263	198	7	777
	(%)	1.2	7.1	31.5	33.8	25.5	0.9	100.0
⑨子育て支援	(人)	21	61	432	138	115	9	776
	(%)	2.7	7.9	55.7	17.8	14.8	1.2	100.0
⑩高齢者、障がい者、妊婦、こどもなどへの配慮	(人)	13	49	374	197	137	7	777
	(%)	1.7	6.3	48.1	25.4	17.6	0.9	100.0
⑪まちの活気	(人)	31	139	288	196	114	8	776
	(%)	4.0	17.9	37.1	25.3	14.7	1.0	100.0
⑫買い物の利便性	(人)	71	178	217	206	98	7	777
	(%)	9.1	22.9	27.9	26.5	12.6	0.9	100.0
⑬物価	(人)	51	128	379	148	65	6	777
	(%)	6.6	16.5	48.8	19.0	8.4	0.8	100.0
⑭文化、教養、娯楽施設	(人)	95	187	246	158	83	8	777
	(%)	12.2	24.1	31.7	20.3	10.7	1.0	100.0

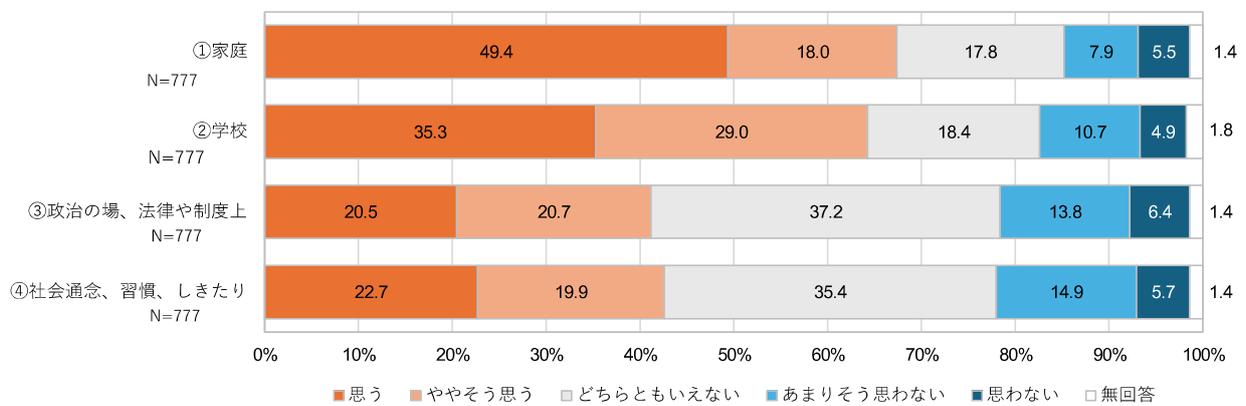


問 20 中心市街地の商店街(一ノ関駅西側の商店街)またはお住まいの地域の商店街がどのような空間になるとよいと思いますか。(あてはまるもの3つまで○)



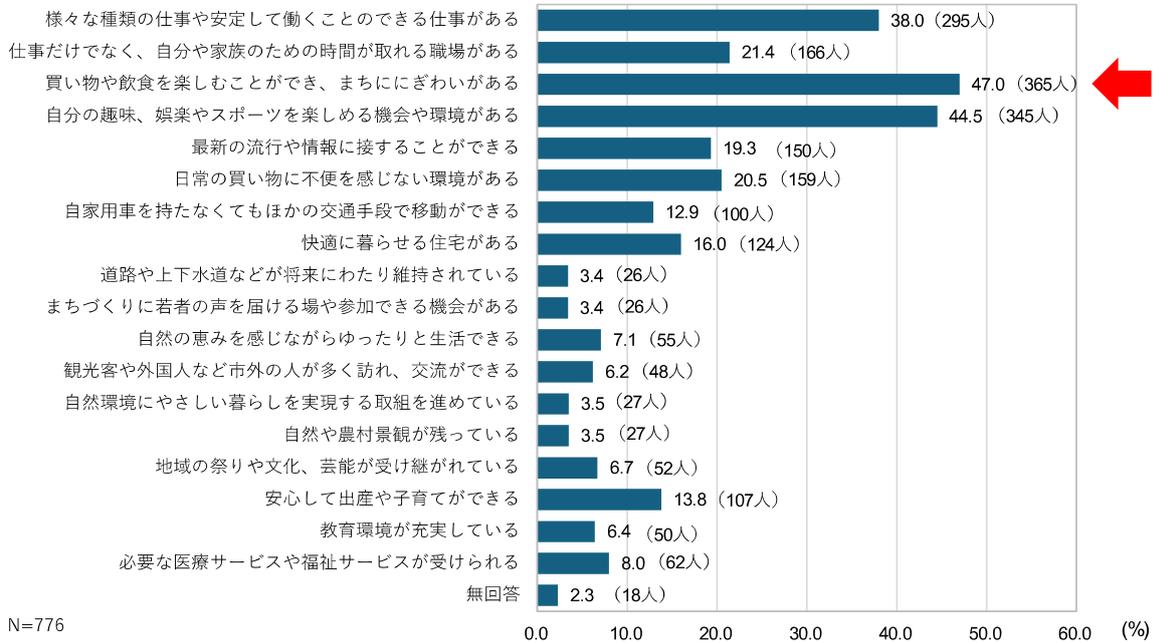
問 22 次にあげる各場面において、あなたの身の回りでは男女平等になっていると思いますか。次の項目ごとに、「1「思う」～5「思わない」の5段階評価で、それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

		思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	思わない	無回答	計
①家庭	(人)	384	140	138	61	43	11	777
	(%)	49.4	18.0	17.8	7.9	5.5	1.4	100.0
②学校	(人)	274	225	143	83	38	14	777
	(%)	35.3	29.0	18.4	10.7	4.9	1.8	100.0
③政治の場、法律や制度上	(人)	159	161	289	107	50	11	777
	(%)	20.5	20.7	37.2	13.8	6.4	1.4	100.0
④社会通念、習慣、しきたり	(人)	176	155	275	116	44	11	777
	(%)	22.7	19.9	35.4	14.9	5.7	1.4	100.0



(4) まちづくりについて

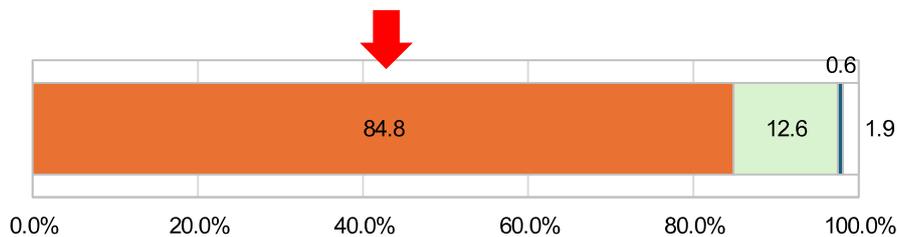
問 23 将来、どのようなまちになれば、一関市に住みたいと思う人が多くなると思いますか。(あてはまるもの3つまで○)



問 25 SDGsという言葉を知っていますか。(1つに○)

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 SDGsという言葉を知っている	659	84.8
2 SDGsという言葉を知っているが、内容は知らない	98	12.6
3 SDGsという言葉は聞いたことがない	5	0.6
無回答	15	1.9

有効票数 = 777



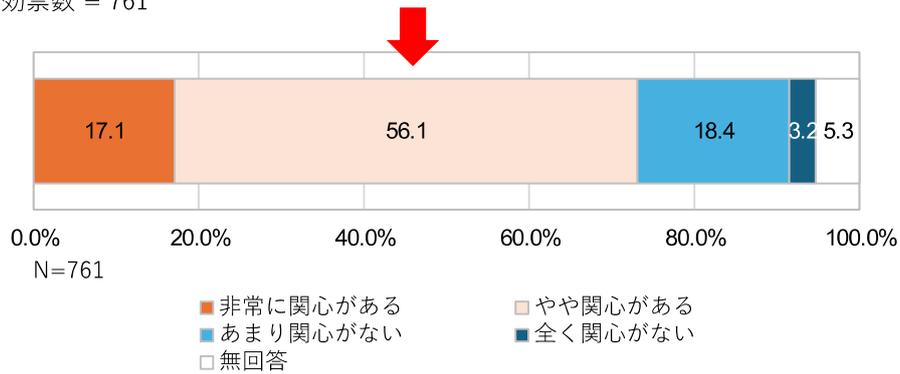
N=777

- SDGsという言葉を知っている
- SDGsという言葉を知っているが、内容は知らない
- SDGsという言葉は聞いたことがない
- 無回答

問 26 問 25 で「1. SDGsという言葉を知ったことがあるが、内容も知っている」「2. SDGsという言葉を知ったことがあるが、内容は知らない」と回答した方に伺います。
SDGsに関心はありますか。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	非常に興味がある	130	17.1
2	やや興味がある	427	56.1
3	あまり興味がない	140	18.4
4	全く興味がない	24	3.2
	無回答	40	5.3

有効票数 = 761



企業アンケート

1. 回答結果

有効回答数:85 件(回答率 56.7%)

【回答結果】

種類	配布数	回答数		回答率			
		調査票	WEB	調査票	WEB		
企業	150 件	85 件	53 件	32 件	56.7%	35.3%	21.3%

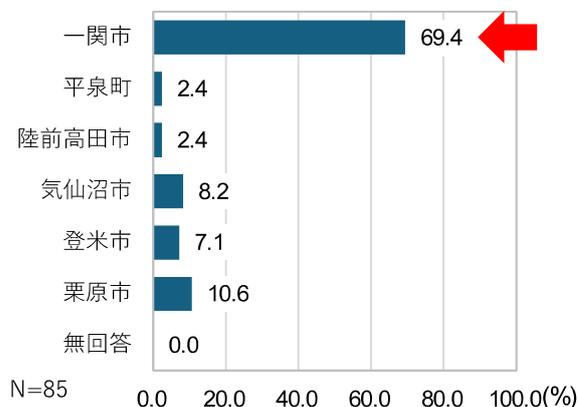
※合計 150 件を発送後、住所があっても営業している実態が無い等のため返送が 5 部あった。

2. 基礎情報

問1 貴社の所在地(現地事務所、工場など)は、次のうちどちらですか。(1つに○)複数の市町に該当する場合は、主たる所在地をお選びください。

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	一関市	59	69.4
2	平泉町	2	2.4
3	陸前高田市	2	2.4
4	気仙沼市	7	8.2
5	登米市	6	7.1
6	栗原市	9	10.6
	無回答	0	0.0

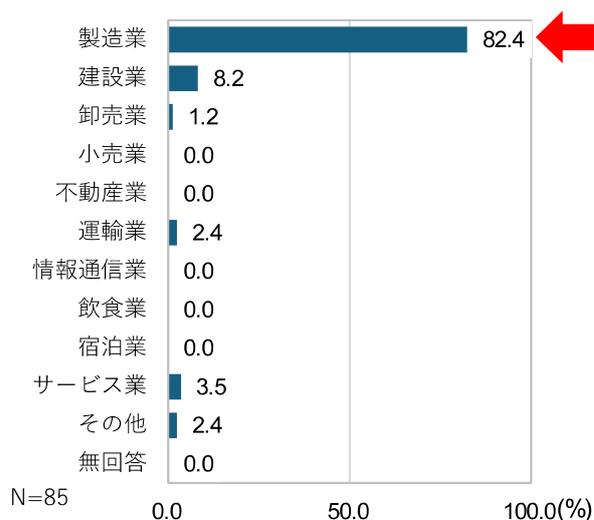
有効票数 = 85



問2 貴社の主な業種をお選びください。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	製造業	70	82.4
2	建設業	7	8.2
3	卸売業	1	1.2
4	小売業	0	0.0
5	不動産業	0	0.0
6	運輸業	2	2.4
7	情報通信業	0	0.0
8	飲食業	0	0.0
9	宿泊業	0	0.0
10	サービス業	3	3.5
11	その他	2	2.4
	無回答	0	0.0

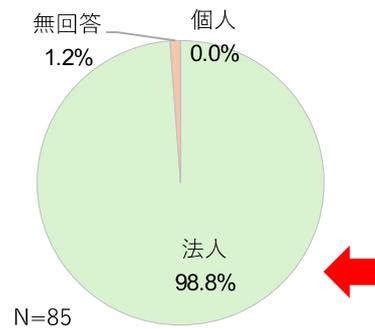
有効票数 = 85



問4 企業形態をお選びください。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	個人	0	0.0
2	法人	84	98.8
	無回答	1	1.2

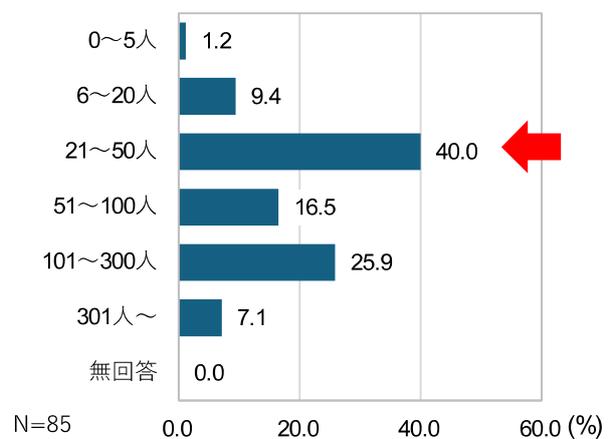
有効票数 = 85



問5 従業員数をお選びください。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	0~5人	1	1.2
2	6~20人	8	9.4
3	21~50人	34	40.0
4	51~100人	14	16.5
5	101~300人	22	25.9
6	301人~	6	7.1
	無回答	0	0.0

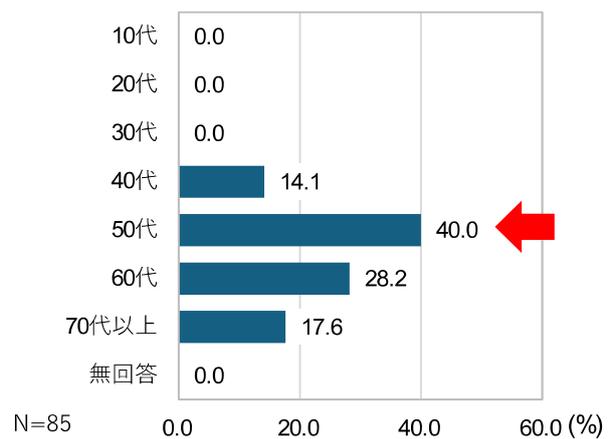
有効票数 = 85



問6 経営者(代表者)の年齢をお選びください。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	10代	0	0.0
2	20代	0	0.0
3	30代	0	0.0
4	40代	12	14.1
5	50代	34	40.0
6	60代	24	28.2
7	70代以上	15	17.6
	無回答	0	0.0

有効票数 = 85



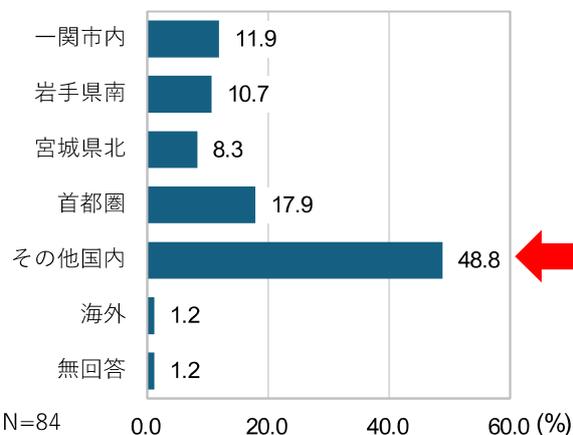
3. 調査結果

(1) 取引情報（仕入れ・販売）について

問7 主要な仕入れ先エリアをお選びください。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	一関市内	10	11.9
2	岩手県南	9	10.7
3	宮城県北	7	8.3
4	首都圏	15	17.9
5	その他国内	41	48.8
6	海外	1	1.2
	無回答	1	1.2

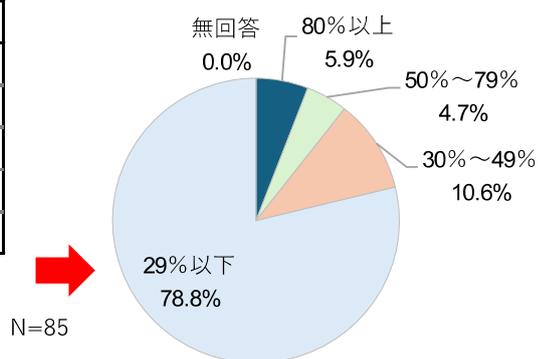
有効票数 = 84



問8 一関市からの仕入れ取引の割合をお選びください。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	80%以上	5	5.9
2	50%~79%	4	4.7
3	30%~49%	9	10.6
4	29%以下	67	78.8
	無回答	0	0.0

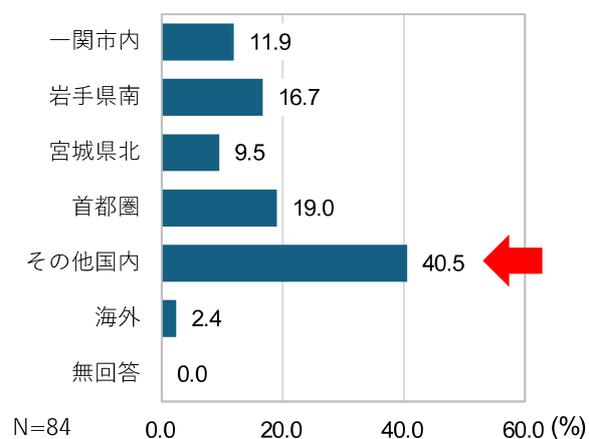
有効票数 = 85



問9 主要な販売先(顧客)エリアをお選びください。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	一関市内	10	11.9
2	岩手県南	14	16.7
3	宮城県北	8	9.5
4	首都圏	16	19.0
5	その他国内	34	40.5
6	海外	2	2.4
	無回答	0	0.0

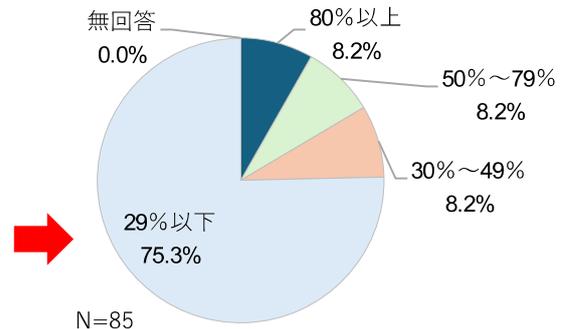
有効票数 = 84



問 10 一関市への販売取引の割合をお選びください。(1つに○)

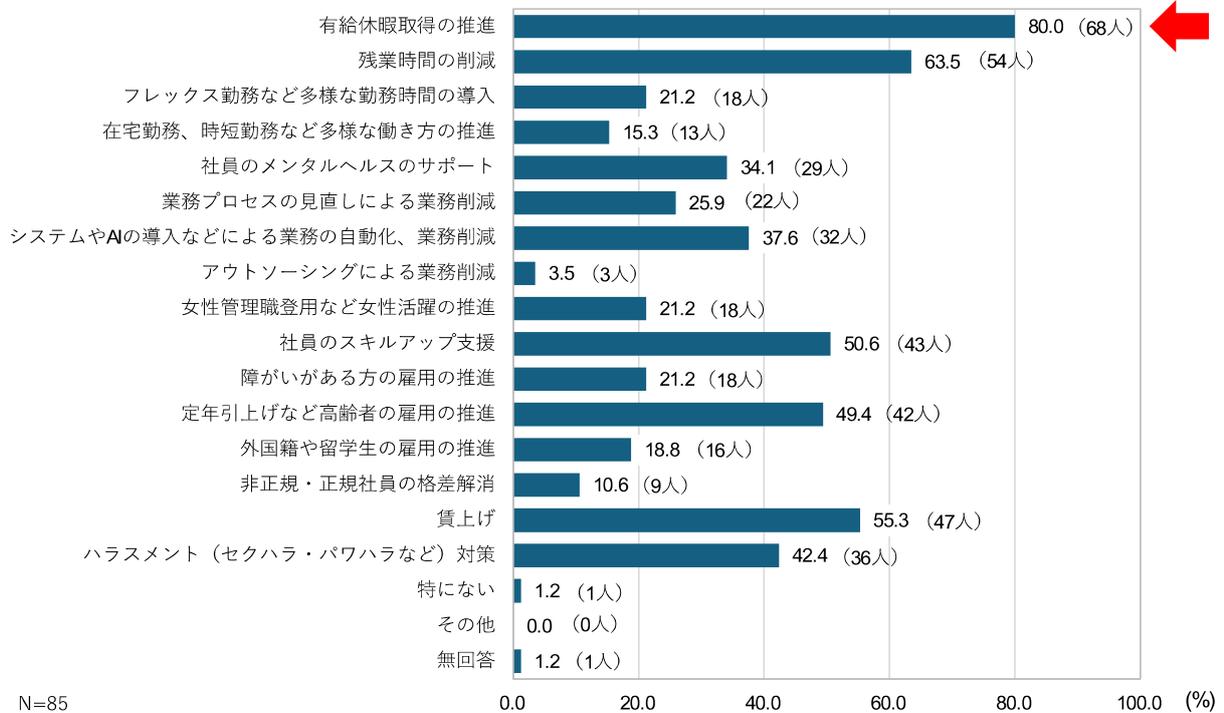
	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	80%以上	7	8.2
2	50%～79%	7	8.2
3	30%～49%	7	8.2
4	29%以下	64	75.3
	無回答	0	0.0

有効票数 = 85



(2) 現在の取組について

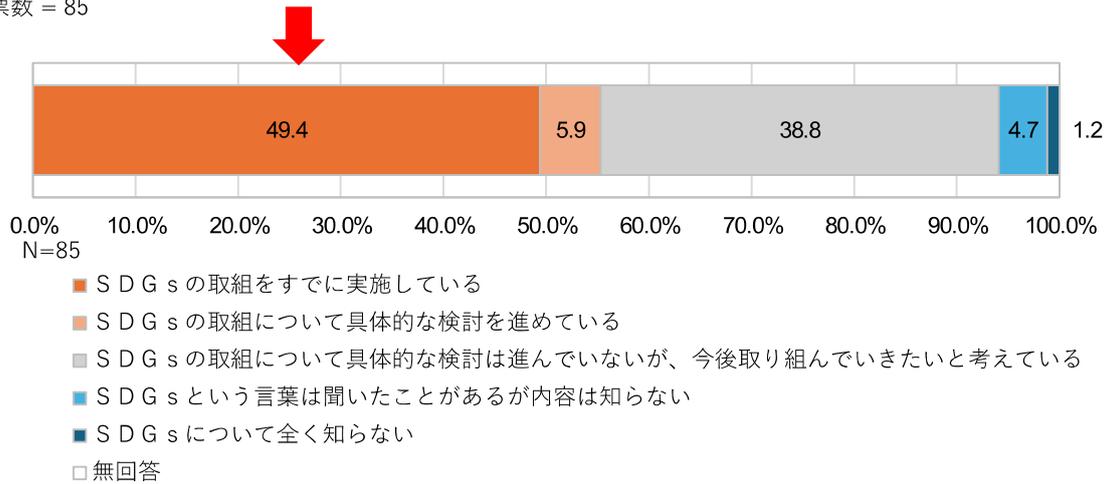
問 11 働きやすい職場環境の実現のため、以下の項目について貴社が実施している取組をお選びください。(あてはまるものすべてに○)



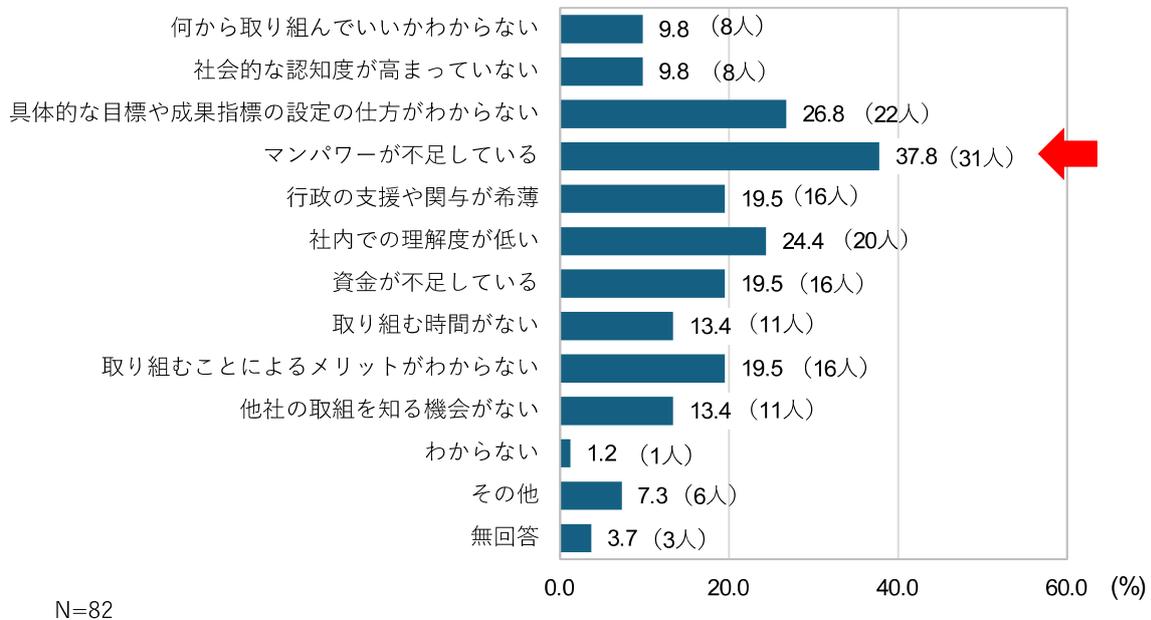
問 13 貴社ではSDGsの取組を行っていますか。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	SDGsの取組をすでに実施している	42	49.4
2	SDGsの取組について具体的な検討を進めている	5	5.9
3	SDGsの取組について具体的な検討は進んでいないが、今後取り組んでいきたいと考えている	33	38.8
4	SDGsという言葉は聞いたことがあるが内容は知らない	4	4.7
5	SDGsについて全く知らない	1	1.2
	無回答	0	0.0

有効票数 = 85

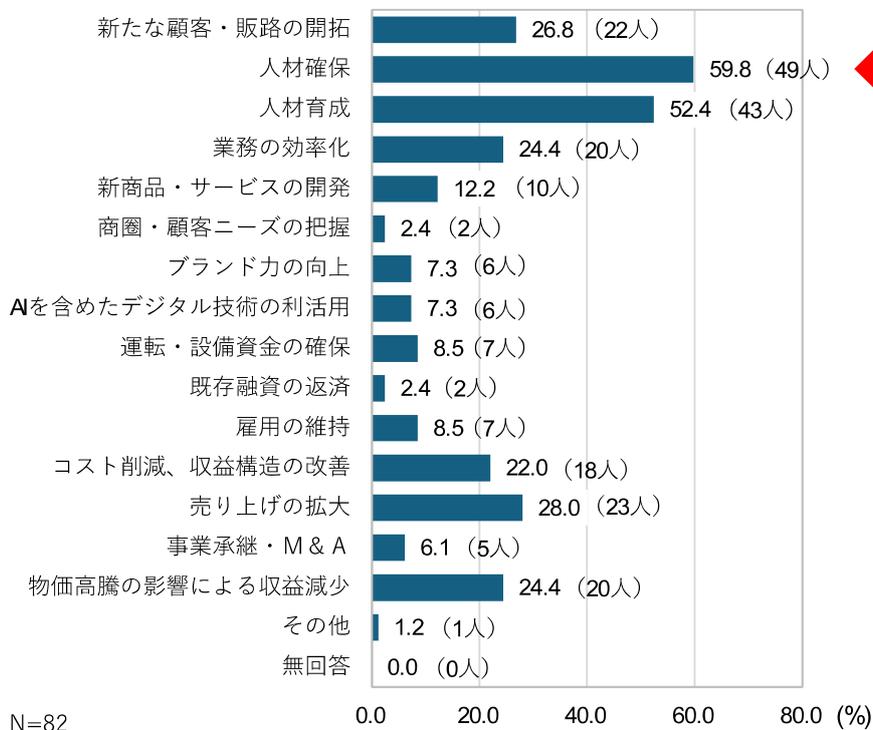


問 14 SDGsの取組を行うにあたり、何が課題だと思えますか。(あてはまるもの3つまで○)

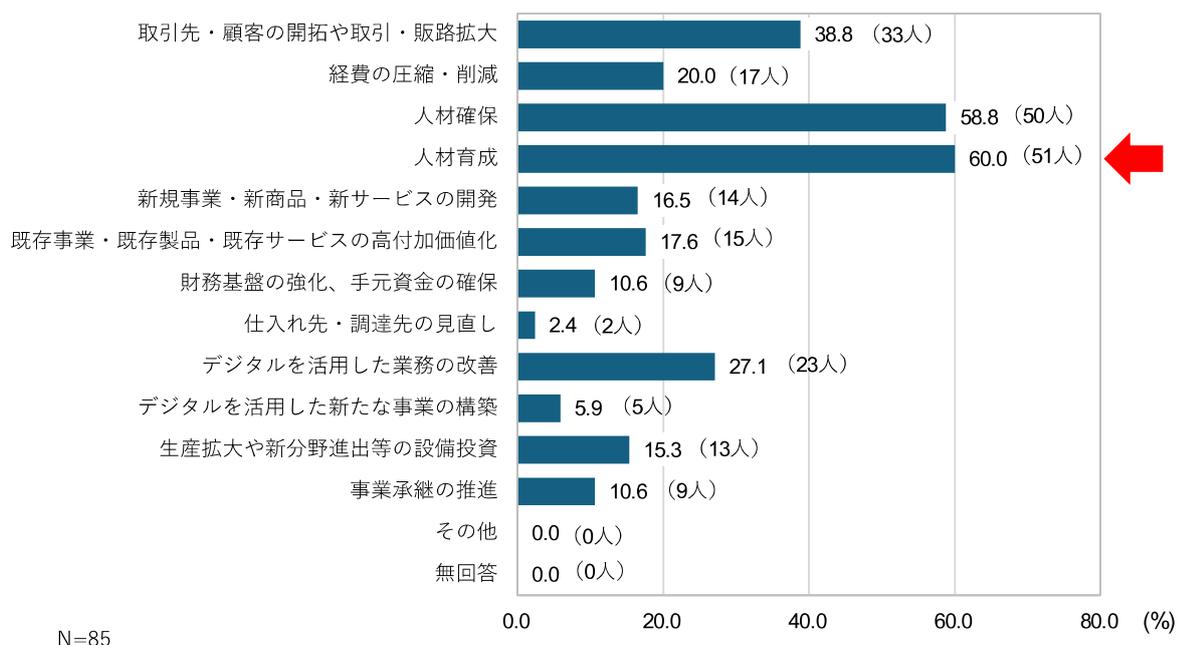


(3) 経営について

問 16 現在の経営上の課題で特に重要と思われるものをお選びください。(あてはまるもの3つまで○)



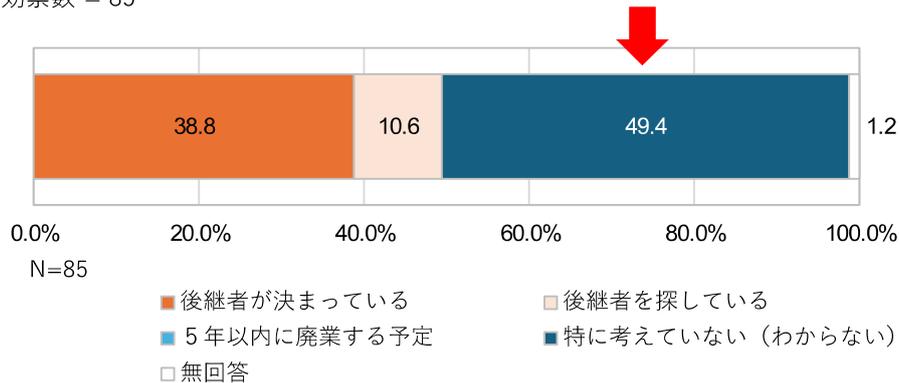
問 18 今後の経営で重視するものをお選びください。(あてはまるもの3つまで○)



問 20 事業の後継者の状況についてお選びください。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	後継者が決まっている	33	38.8
2	後継者を探している	9	10.6
3	5年以内に廃業する予定	0	0.0
4	特に考えていない(わからない)	42	49.4
	無回答	1	1.2

有効票数 = 85



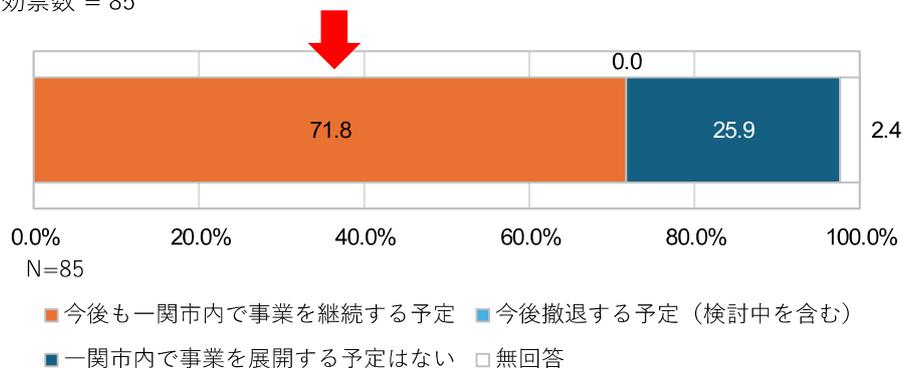
問 21 問 20 で「3. 5年以内に廃業する予定」を選んだ場合は、その理由をお書きください。

回答なし

問 22 今後、企業活動を一関市内で展開しようと思えますか(1つに○)

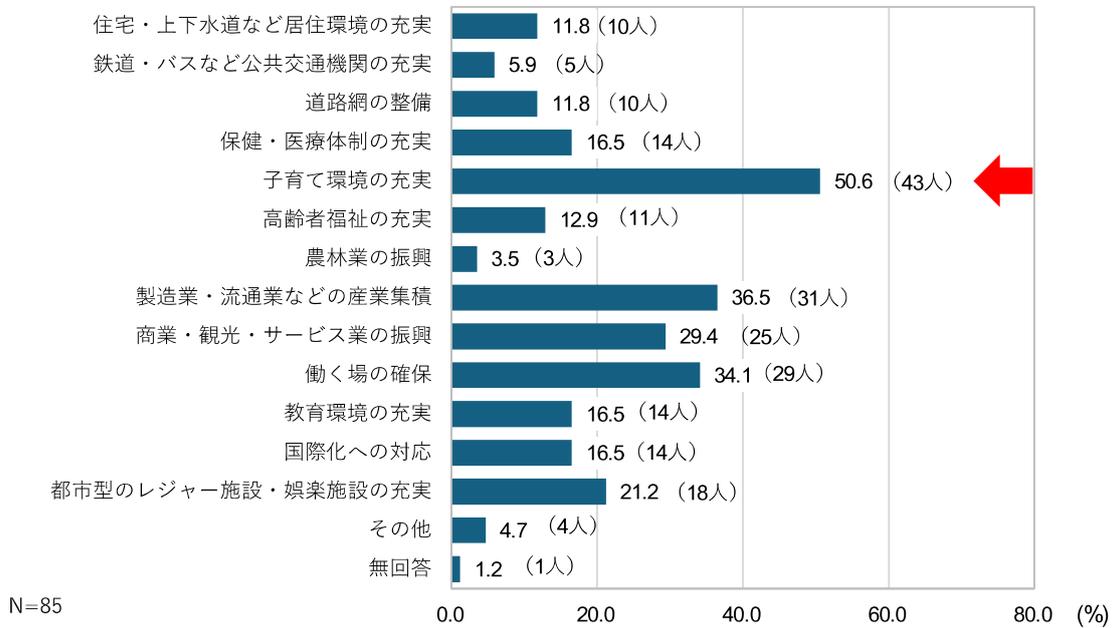
	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	今後も一関市内で事業を継続する予定	61	71.8
2	今後撤退する予定(検討中を含む)	0	0.0
3	一関市内で事業を展開する予定はない	22	25.9
	無回答	2	2.4

有効票数 = 85

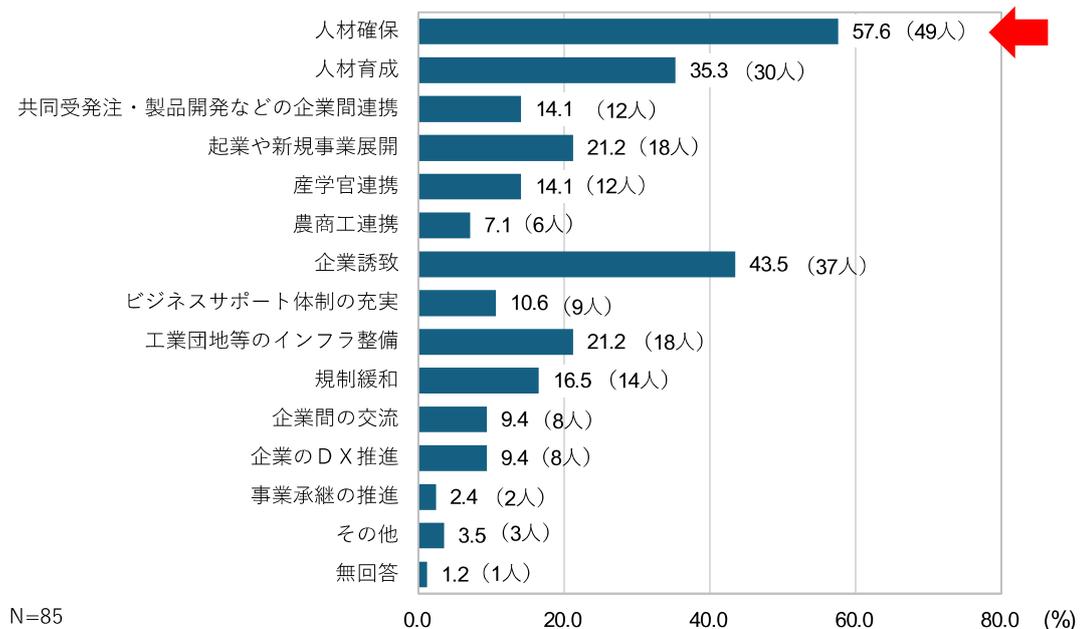


(4) まちづくりについて

問 24 一関市は今後、どのような分野に力を入れていくべきとお考えですか。(あてはまるもの3つまで○)



問 26 一関市の商工業の振興のために必要とお考えのものは、次のうちどれですか。(あてはまるもの3つまで○)

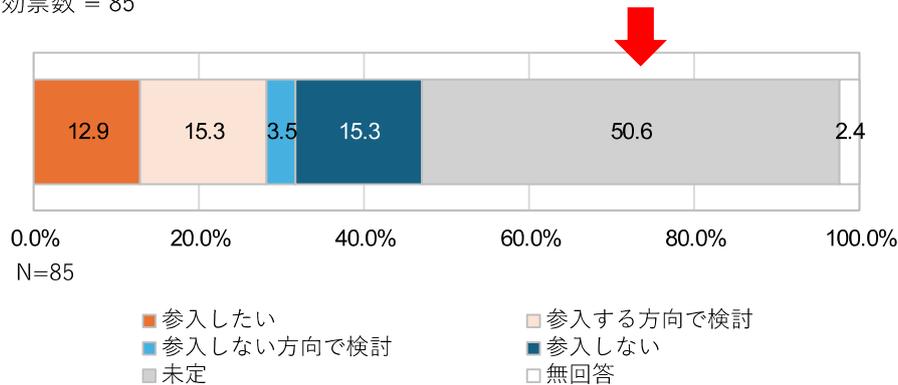


(5) ILC (国際リニアコライダー) について

問 29 一関市を含む北上高地がILC(国際リニアコライダー)計画の国内候補地となっています。ILC関連産業への参入について、どのようにお考えですか。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	参入したい	11	12.9
2	参入する方向で検討	13	15.3
3	参入しない方向で検討	3	3.5
4	参入しない	13	15.3
5	未定	43	50.6
	無回答	2	2.4

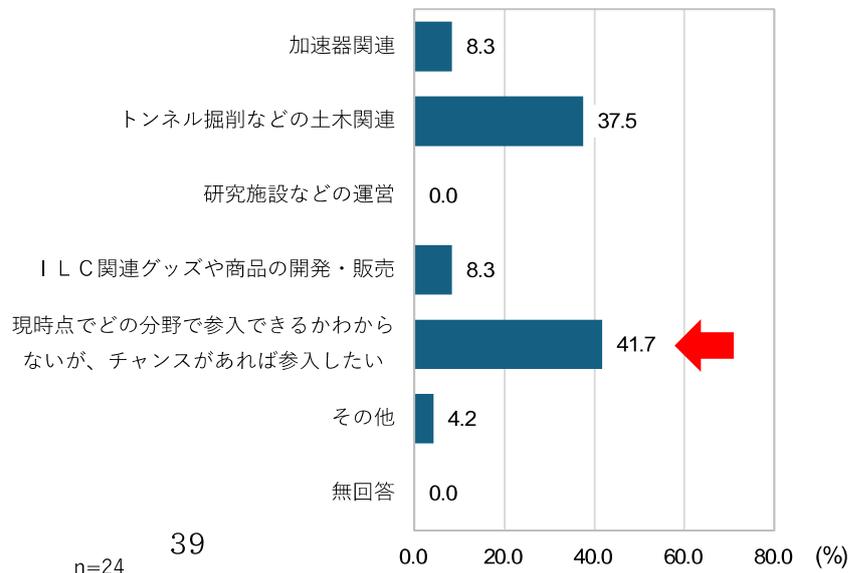
有効票数 = 85



問 30 問 29 で「1.参入したい」または「2. 参入する方向で検討」を選択した方にうかがいます。参入する場合、主にどのような分野で参入したいと考えていますか。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	加速器関連	2	8.3
2	トンネル掘削などの土木関連	9	37.5
3	研究施設などの運営	0	0.0
4	ILC関連グッズや商品の開発・販売	2	8.3
5	現時点でどの分野で参入できるかわからないが、チャンスがあれば参入したい	10	41.7
6	その他	1	4.2
	無回答	0	0.0

有効票数 = 24

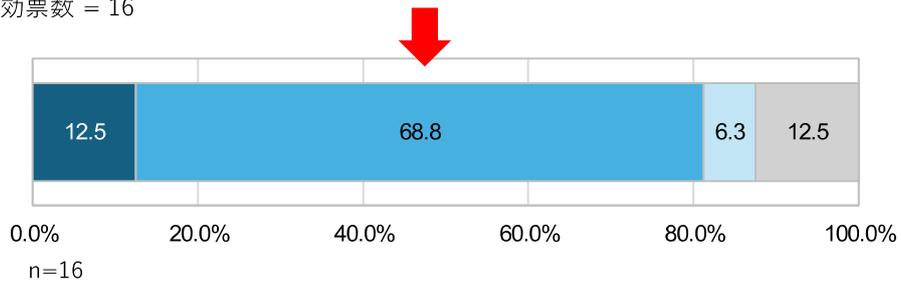


n=24 39

問 32 問 29 で「3. 参入しない方向で検討」または「4. 参入しない」を選択した方にうかがいます。
 参入しない理由は何ですか。(1つに〇)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	I L C に関心がないため	2	12.5
2	I L C と関係のない業種のため	11	68.8
3	I L C のことがよくわからないため	1	6.3
4	その他	2	12.5
	無回答	0	0.0

有効票数 = 16



n=16

- I L C に関心がないため
- I L C と関係のない業種のため
- I L C のことがよくわからないため
- その他
- 無回答

結婚・出産・就労に関するアンケート

1. 回答結果

有効回答数:426 件(回答率 28.4%)

【地区別回答結果】

地域	配布数	回答数			回答率		
		調査票	WEB	調査票	WEB		
一関市	1,500 件	426 件	216 件	210 件	28.4%	14.4%	14.0%
一関地域	879 件	260 件	121 件	139 件	29.6%	13.8%	15.8%
花泉地域	136 件	42 件	28 件	14 件	30.9%	20.6%	10.3%
大東地域	126 件	31 件	18 件	13 件	24.6%	14.3%	10.3%
千厩地域	121 件	29 件	12 件	17 件	24.0%	9.9%	14.0%
東山地域	77 件	23 件	14 件	9 件	29.9%	18.2%	11.7%
室根地域	44 件	5 件	4 件	1 件	11.4%	9.1%	2.3%
川崎地域	32 件	9 件	3 件	6 件	28.1%	9.4%	18.8%
藤沢地域	85 件	25 件	14 件	11 件	29.4%	16.5%	12.9%
無回答	—	2 件	2 件	0 件			

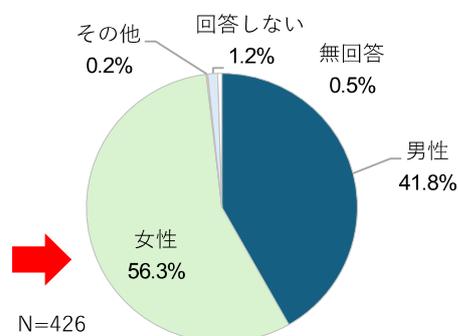
※合計 1,500 件を発送後、住所があっても住んでいる実態が無い等のため返送が 6 部あった。

2. 回答者の属性

問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	男性	178	41.8
2	女性	240	56.3
3	その他	1	0.2
4	回答しない	5	1.2
	無回答	2	0.5

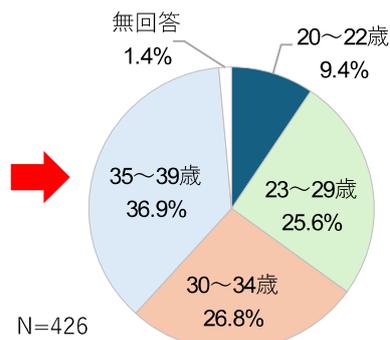
有効票数 = 426



問2 あなたの年齢はおいくつですか。

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	20~22歳	40	9.4
2	23~29歳	109	25.6
3	30~34歳	114	26.8
4	35~39歳	157	36.9
	無回答	6	1.4

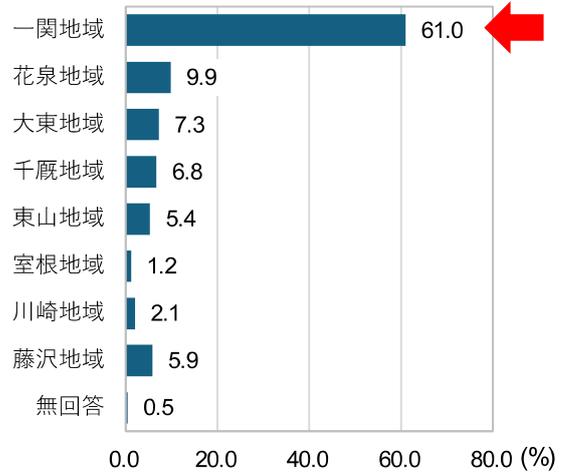
有効票数 = 426



問3 あなたのお住まいの地域はどちらですか。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	一関地域	260	61.0
2	花泉地域	42	9.9
3	大東地域	31	7.3
4	千厩地域	29	6.8
5	東山地域	23	5.4
6	室根地域	5	1.2
7	川崎地域	9	2.1
8	藤沢地域	25	5.9
	無回答	2	0.5

有効票数 = 426

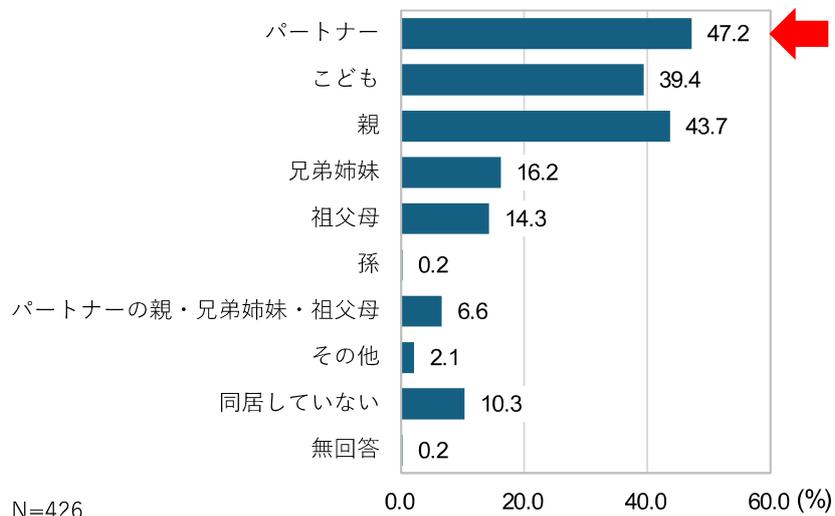


N=426

問4 現在どなたと同居されていますか。あなたからみた続柄をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	パートナー	201	47.2
2	子ども	168	39.4
3	親	186	43.7
4	兄弟姉妹	69	16.2
5	祖父母	61	14.3
6	孫	1	0.2
7	パートナーの親・兄弟姉妹・祖父母	28	6.6
8	その他	9	2.1
9	同居していない	44	10.3
	無回答	1	0.2

有効票数 = 426



N=426

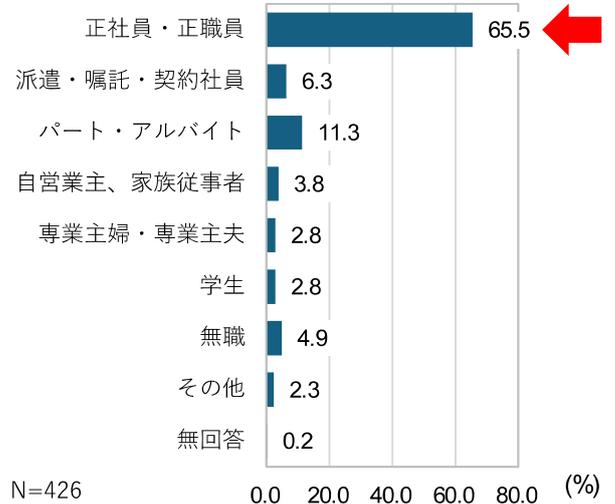
3. 調査結果

(1) 就労状況について

問5 あなたの就労状況を教えてください。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	正社員・正職員	279	65.5
2	派遣・嘱託・契約社員	27	6.3
3	パート・アルバイト	48	11.3
4	自営業主、家族従事者	16	3.8
5	専業主婦・専業主夫	12	2.8
6	学生	12	2.8
7	無職	21	4.9
8	その他	10	2.3
	無回答	1	0.2

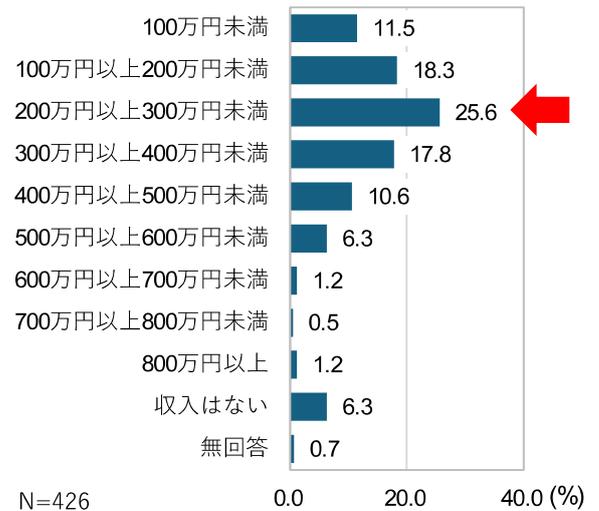
有効票数 = 426



問7 あなたの令和5年中の年収についてうかがいます。あてはまるものをお選びください。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	100万円未満	49	11.5
2	100万円以上200万円未満	78	18.3
3	200万円以上300万円未満	109	25.6
4	300万円以上400万円未満	76	17.8
5	400万円以上500万円未満	45	10.6
6	500万円以上600万円未満	27	6.3
7	600万円以上700万円未満	5	1.2
8	700万円以上800万円未満	2	0.5
9	800万円以上	5	1.2
10	収入はない	27	6.3
	無回答	3	0.7

有効票数 = 426

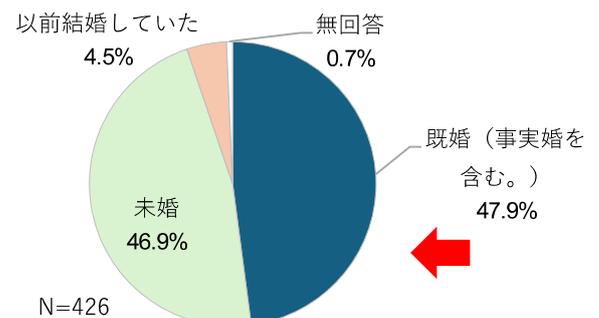


(2) パートナーとお子さんの状況について

問8 あなたは、現在結婚されていますか。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	既婚（事実婚を含む。）	204	47.9
2	未婚	200	46.9
3	以前結婚していた	19	4.5
	無回答	3	0.7

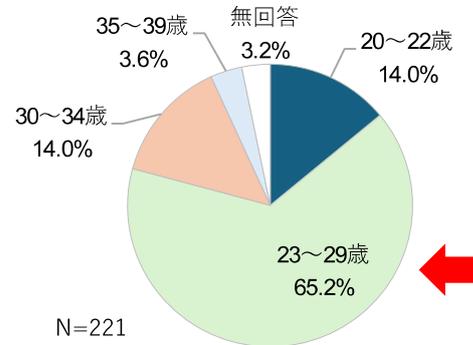
有効票数 = 426



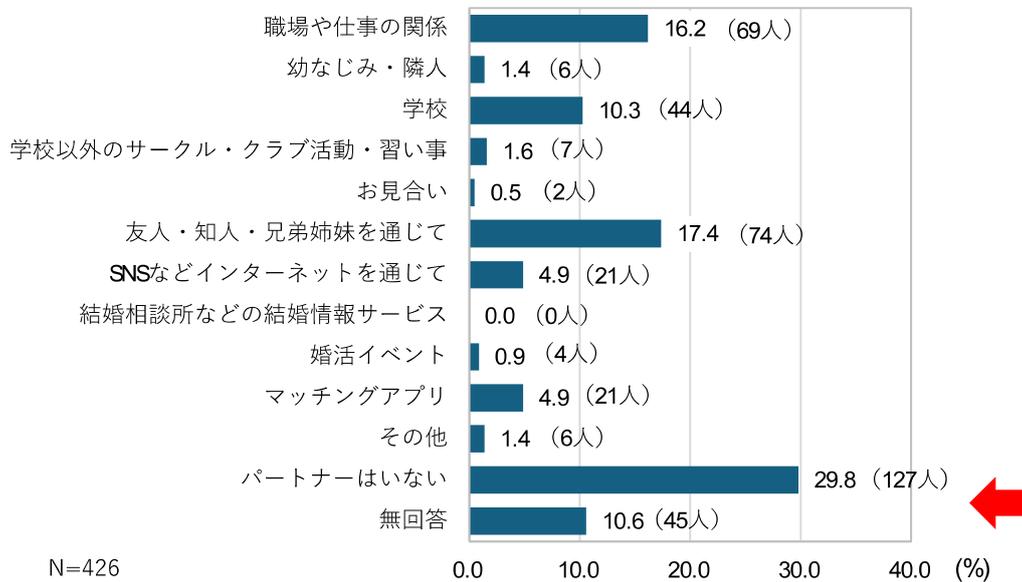
問9 問8で「1. 既婚(事実婚を含む。)」または「3. 以前結婚していた」を選んだ方にうかがいます。結婚されたのは何歳のときですか。その年齢をお書きください。結婚を複数回されている方は、一番最初に結婚された時の年齢をお書きください。

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	20~22歳	31	14.0
2	23~29歳	144	65.2
3	30~34歳	31	14.0
4	35~39歳	8	3.6
	無回答	7	3.2

有効票数 = 221



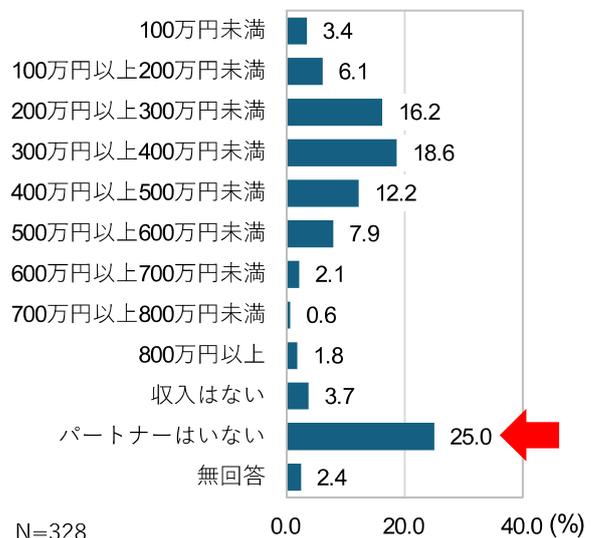
問10 パートナーとはどのようなきっかけで知り合いましたか。(1つに○)



問12 あなたのパートナーの令和5年中の年収についてうかがいます。あてはまるものをお選びください。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	100万円未満	11	3.4
2	100万円以上200万円未満	20	6.1
3	200万円以上300万円未満	53	16.2
4	300万円以上400万円未満	61	18.6
5	400万円以上500万円未満	40	12.2
6	500万円以上600万円未満	26	7.9
7	600万円以上700万円未満	7	2.1
8	700万円以上800万円未満	2	0.6
9	800万円以上	6	1.8
10	収入はない	12	3.7
11	パートナーはいない	82	25.0
	無回答	8	2.4

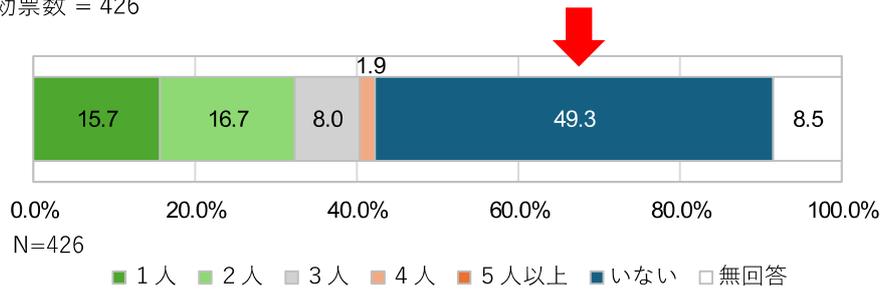
有効票数 = 328



問 13 お子さんは何人いらっしゃいますか。(同居・別居は問いません)(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	1人	67	15.7
2	2人	71	16.7
3	3人	34	8.0
4	4人	8	1.9
5	5人以上	0	0.0
6	いない	210	49.3
	無回答	36	8.5

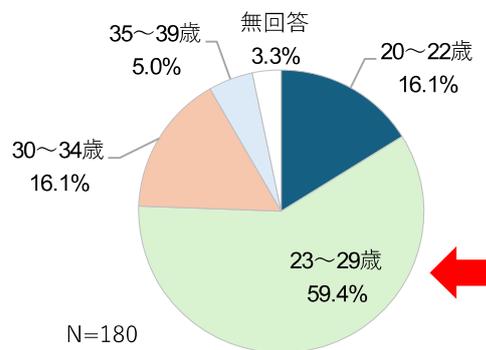
有効票数 = 426



問 14 問 13 で「1人」から「5人以上」を選んだ方にうかがいます。初めてお子さんをお持ちになった年齢をお書きください。

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	20～22歳	29	16.1
2	23～29歳	107	59.4
3	30～34歳	29	16.1
4	35～39歳	9	5.0
	無回答	6	3.3

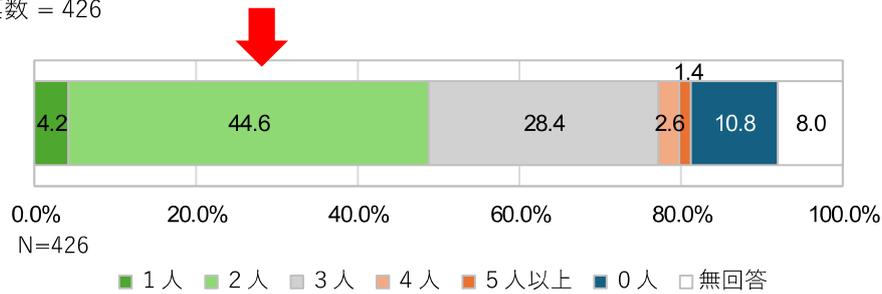
有効票数 = 180



問 15 あなたにとって理想のこどもの数は何人ですか。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	1人	18	4.2
2	2人	190	44.6
3	3人	121	28.4
4	4人	11	2.6
5	5人以上	6	1.4
6	0人	46	10.8
	無回答	34	8.0

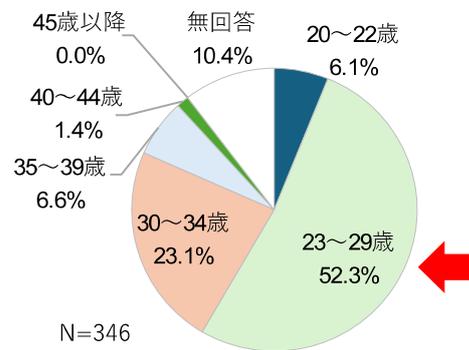
有効票数 = 426



問 16 問 15 で「1人」から「5人以上」を選んだ方にうかがいます。こども(第1子)を持つにあたり、理想の年齢をお書きください。

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	20~22歳	21	6.1
2	23~29歳	181	52.3
3	30~34歳	80	23.1
4	35~39歳	23	6.6
5	40~44歳	5	1.4
6	45歳以降	0	0.0
	無回答	36	10.4

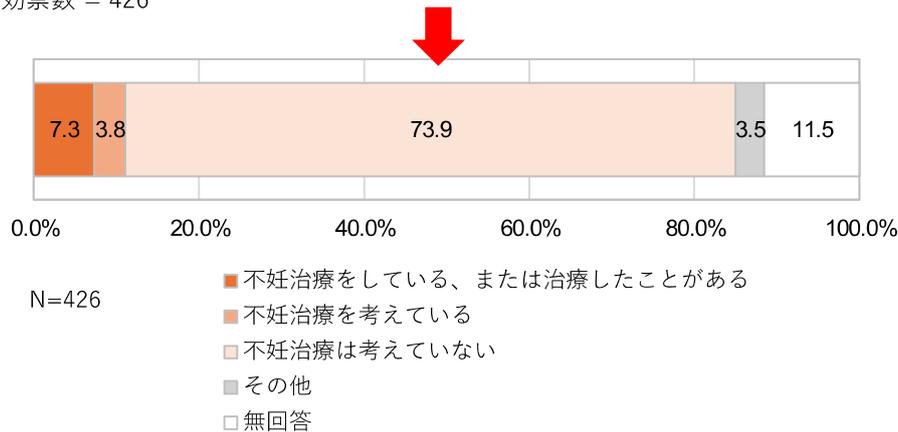
有効票数 = 346



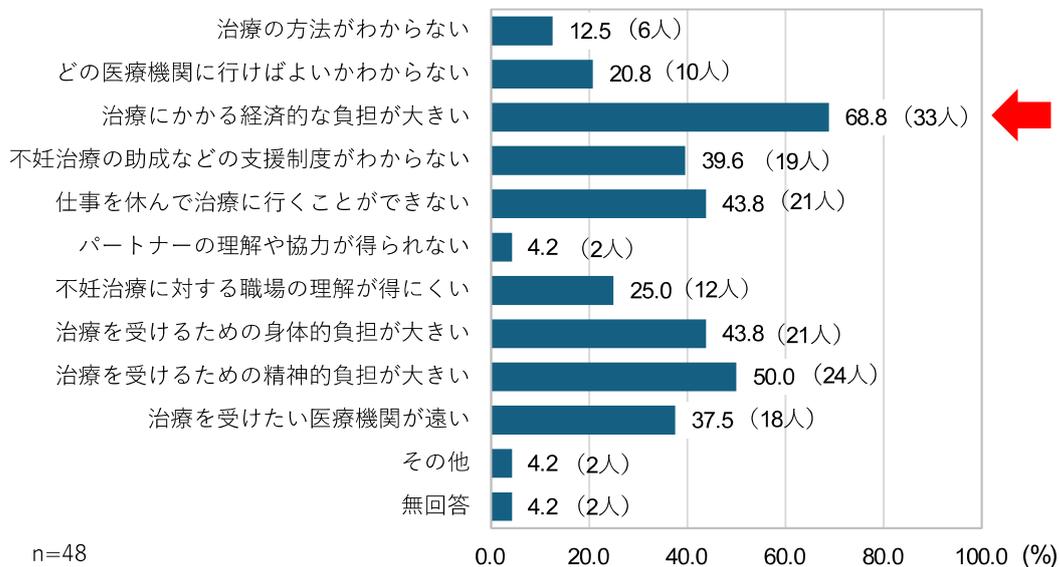
問 17 不妊治療についてうかがいます。あてはまるものをお選びください。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	不妊治療をしている、または治療したことがある	31	7.3
2	不妊治療を考えている	16	3.8
3	不妊治療は考えていない	315	73.9
4	その他	15	3.5
	無回答	49	11.5

有効票数 = 426



問 19 問 17 で「1. 不妊治療をしている、または治療したことがある」または「2. 不妊治療を考えている」を選んだ方にうかがいます。
不妊治療について、困っていること、心配していることは何ですか。(あてはまる ものすべてに○)

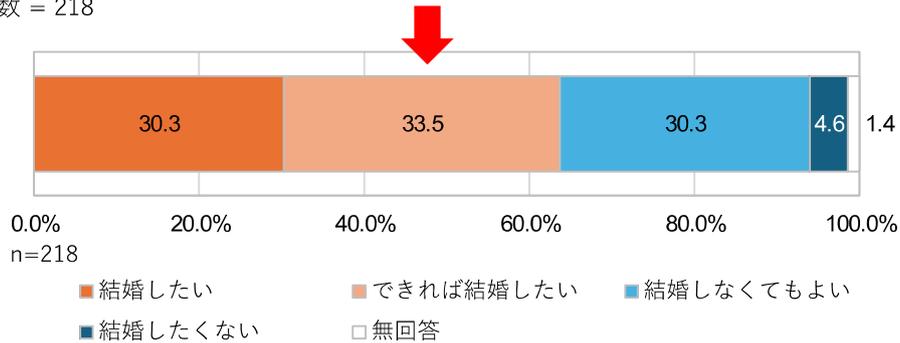


(3) 結婚に対する希望について

問 21 あなたは、結婚についてどのようにお考えですか。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	結婚したい	66	30.3
2	できれば結婚したい	73	33.5
3	結婚しなくてもよい	66	30.3
4	結婚したくない	10	4.6
	無回答	3	1.4

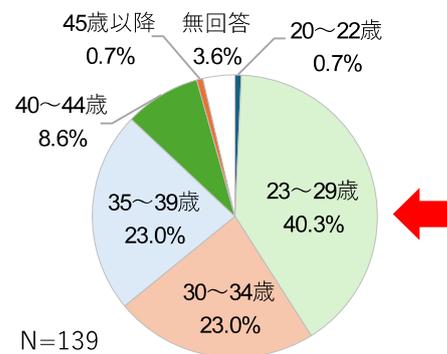
有効票数 = 218



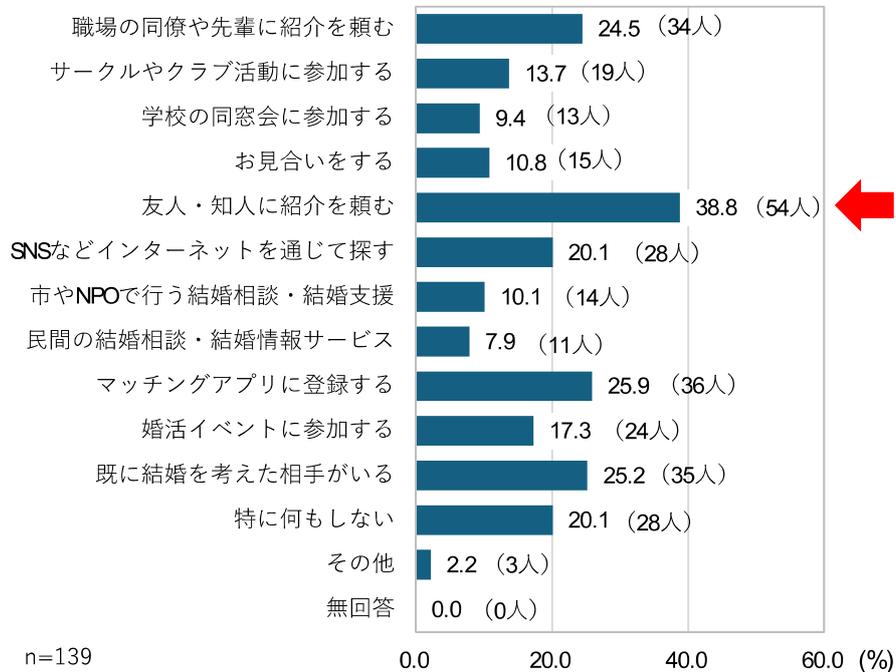
問 22 問 21 で「1. 結婚したい」または「2. できれば結婚したい」を選んだ方にうかがいます。何歳くらいで結婚したいですか。その年齢をお書きください。

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	20～22歳	1	0.7
2	23～29歳	56	40.3
3	30～34歳	32	23.0
4	35～39歳	32	23.0
5	40～44歳	12	8.6
6	45歳以降	1	0.7
	無回答	5	3.6

有効票数 = 139

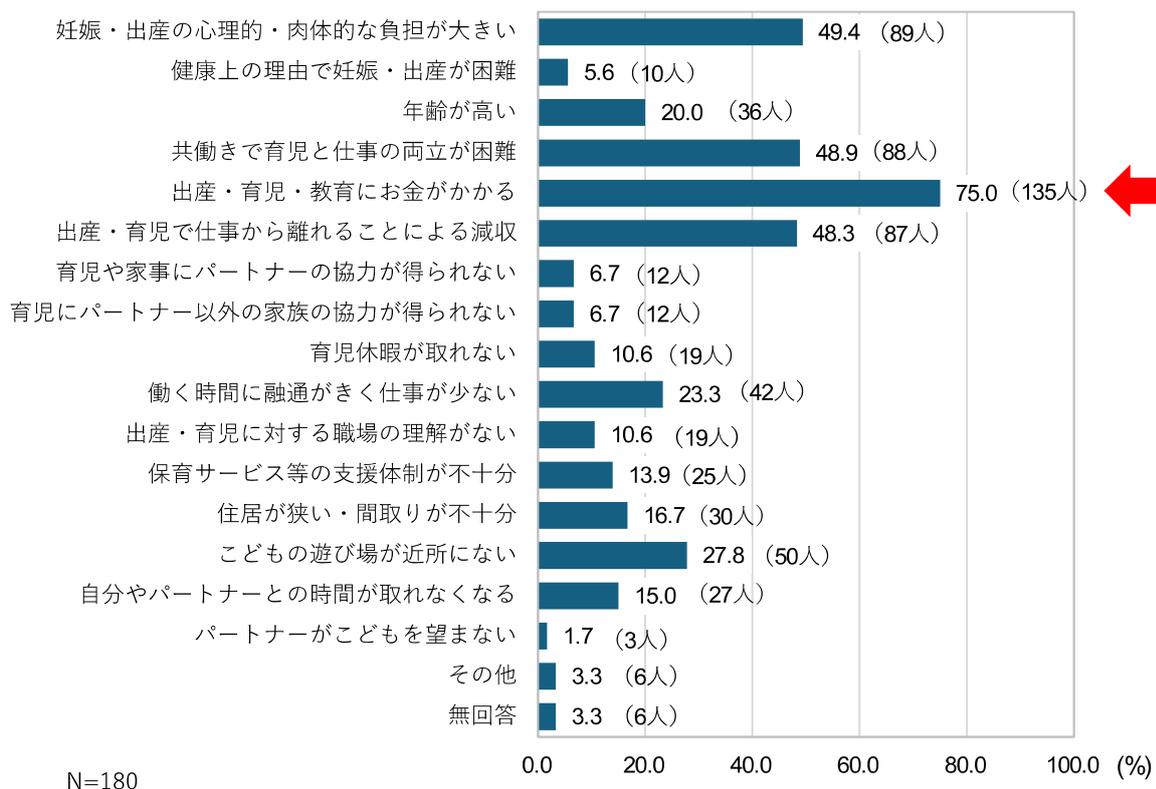


問 23 問 21 で「1. 結婚したい」または「2. できれば結婚したい」を選んだ方にうかがいます。結婚相手との出会いを求めるとしたら、どのようなことに取り組みたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



(4) 出産時の不安等について

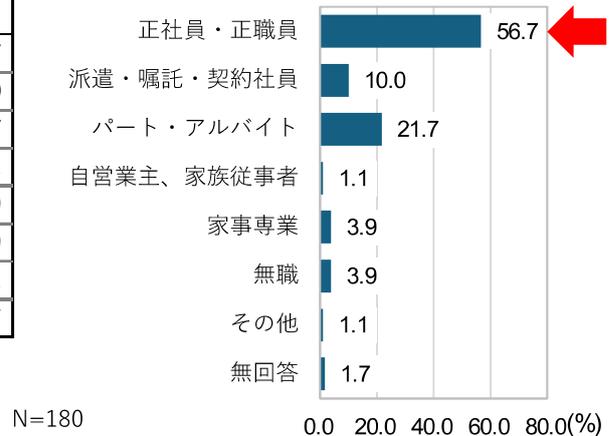
問 25 お子さんが1人の方は2人目を持つとしたら不安に思うこと、2人以上お子さんがいる方は2人目が誕生する前に不安だと感じていたことはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)



問 27 第1子が誕生する前の、母親の就労状況を教えてください。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	正社員・正職員	102	56.7
2	派遣・嘱託・契約社員	18	10.0
3	パート・アルバイト	39	21.7
4	自営業主、家族従事者	2	1.1
5	家事専業	7	3.9
6	無職	7	3.9
7	その他	2	1.1
	無回答	3	1.7

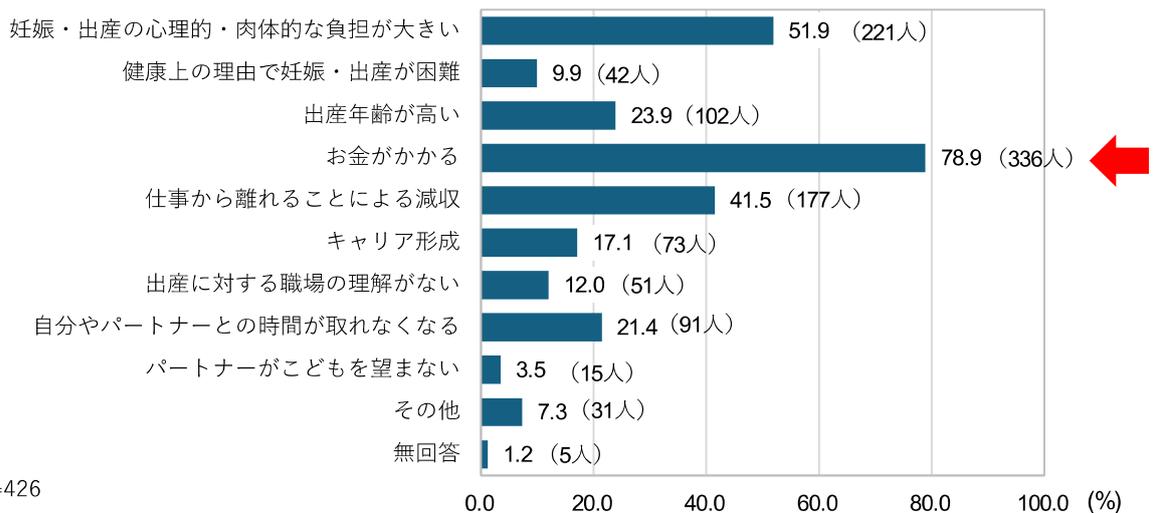
有効票数 = 180



N=180

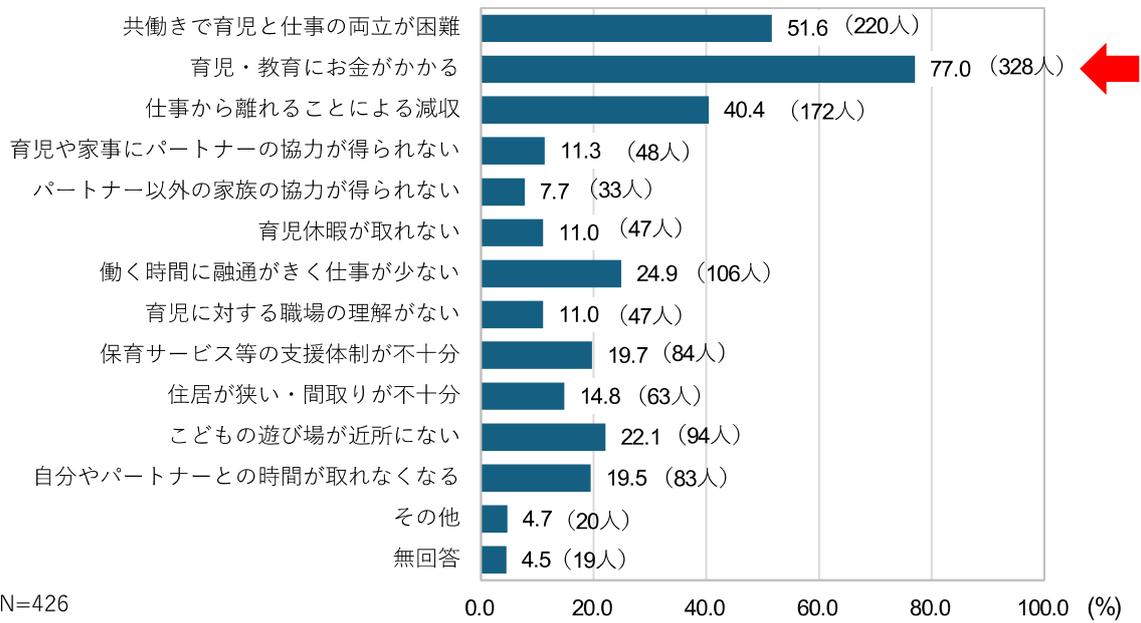
(5) こどもを持つこと・子育てに対する不安等について

問 29 こどもを持つことについて、不安になったこと・なりそうだと感じることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)



N=426

問 31 子育てについて、不安になったこと・なりそうだと感じることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)



転入者アンケート

1. 回答結果

有効回答数:145 件(回答率 29.0%)

【回答結果】

種類	配布数	回答数		回答率			
		調査票	WEB	調査票	WEB		
転入者	500 件	145 件	69 件	76 件	29.0%	13.8%	15.2%

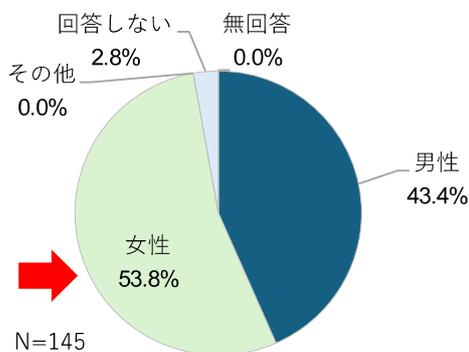
※合計 500 件を発送後、住所があっても住んでいる実態が無い等のため返送が 10 部あった。

2. 回答者の属性

問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	男性	63	43.4
2	女性	78	53.8
3	その他	0	0.0
4	回答しない	4	2.8
	無回答	0	0.0

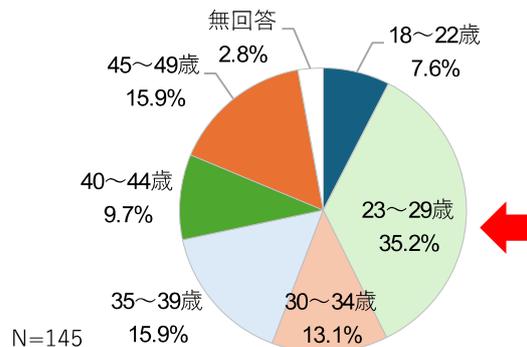
有効票数 = 145



問2 あなたの年齢をお書きください。

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	18~22歳	11	7.6
2	23~29歳	51	35.2
3	30~34歳	19	13.1
4	35~39歳	23	15.9
5	40~44歳	14	9.7
6	45~49歳	23	15.9
	無回答	4	2.8

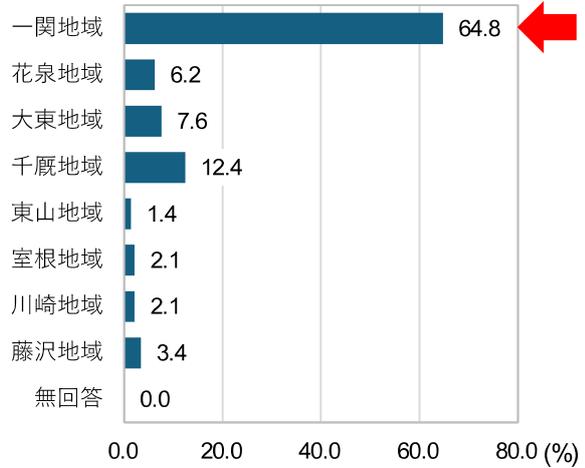
有効票数 = 145



問3 一関市でお住まいになられている地域を教えてください。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	一関地域	94	64.8
2	花泉地域	9	6.2
3	大東地域	11	7.6
4	千厩地域	18	12.4
5	東山地域	2	1.4
6	室根地域	3	2.1
7	川崎地域	3	2.1
8	藤沢地域	5	3.4
	無回答	0	0.0

有効票数 = 145

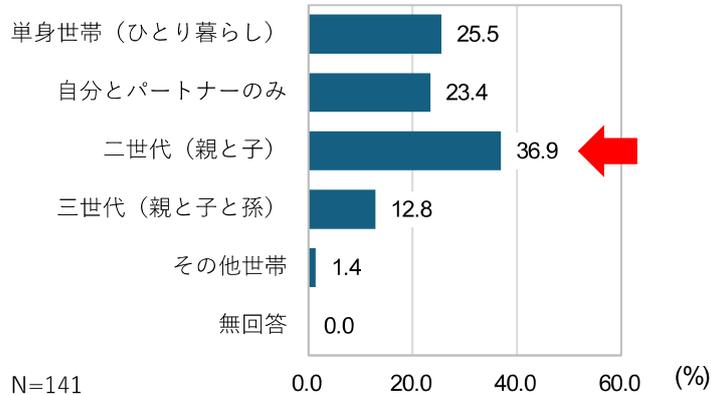


N=145

問4 あなたの家族構成は、次のどれですか。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	単身世帯 (ひとり暮らし)	36	25.5
2	自分とパートナーのみ	33	23.4
3	二世帯 (親と子)	52	36.9
4	三世帯 (親と子と孫)	18	12.8
5	その他世帯	2	1.4
	無回答	0	0.0

有効票数 = 141



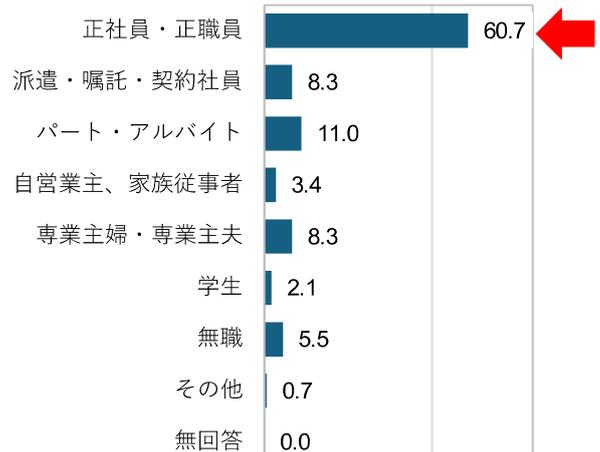
N=141

問6 あなたの就労状況を教えてください。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	正社員・正職員	88	60.7
2	派遣・嘱託・契約社員	12	8.3
3	パート・アルバイト	16	11.0
4	自営業主、家族従事者	5	3.4
5	専業主婦・専業主夫	12	8.3
6	学生	3	2.1
7	無職	8	5.5
8	その他	1	0.7
	無回答	0	0.0

有効票数 = 145

53



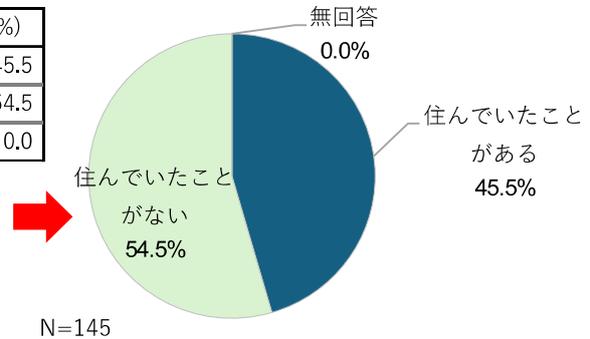
3. 調査結果

(1) 一関市に転入した経緯について

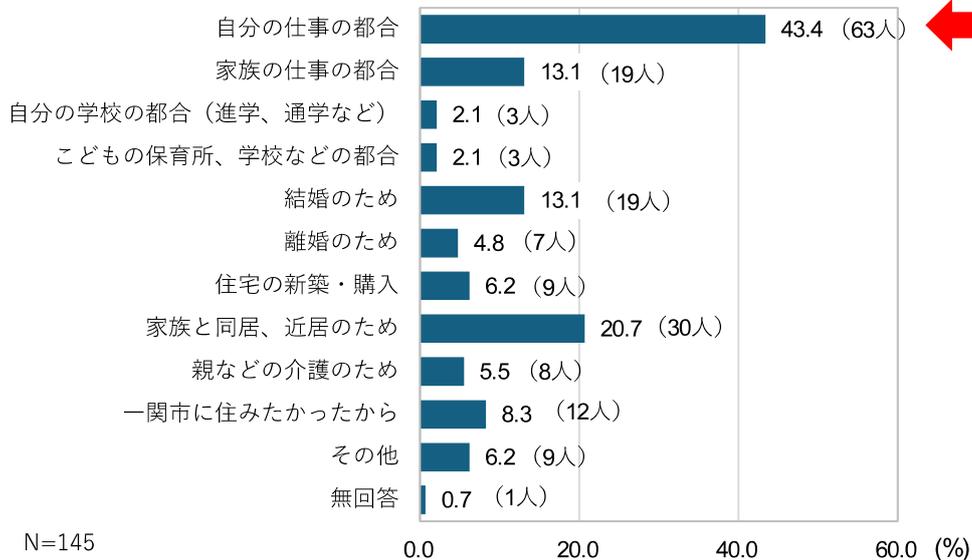
問 10 転入前に一関市に住んでいたことがありますか。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	住んでいたことがある	66	45.5
2	住んでいたことがない	79	54.5
	無回答	0	0.0

有効票数 = 145



問 11 一関市に転入された主な理由は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

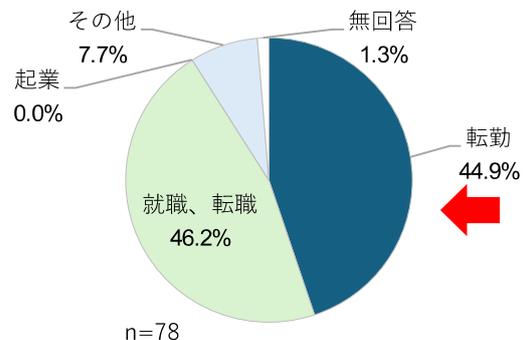


問 13 問 11 で「1. 自分の仕事の都合」または「2. 家族の仕事の都合」を選んだ方にうかがいます。

仕事の都合の具体的な内容は何か。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	転勤	35	44.9
2	就職、転職	36	46.2
3	起業	0	0.0
4	その他	6	7.7
	無回答	1	1.3

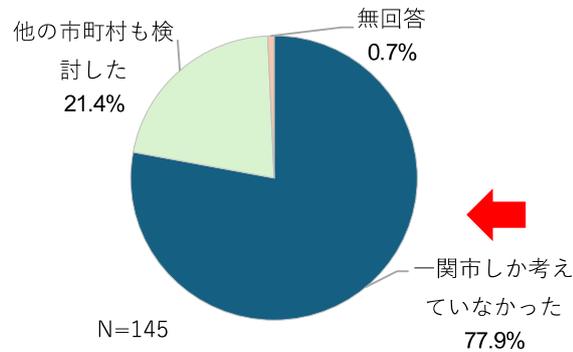
有効票数 = 78



問 15 転居先として一関市以外の市町村を検討していましたか。(1つに○)

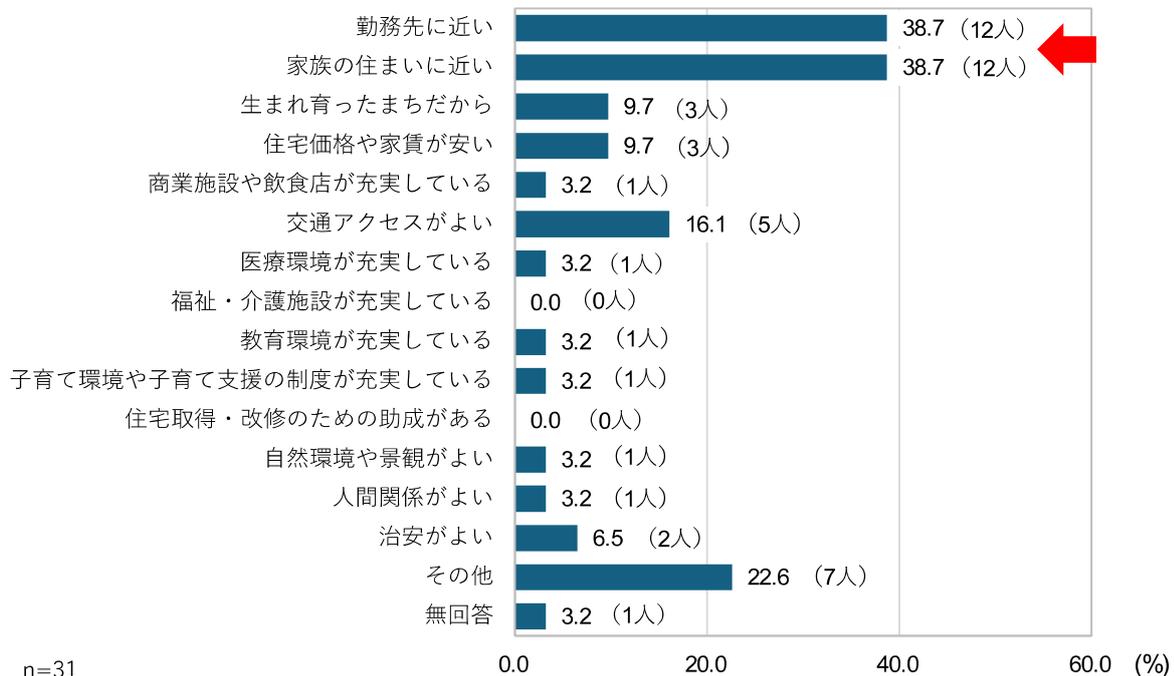
	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	一関市しか考えていなかった	113	77.9
2	他の市町村も検討した	31	21.4
	無回答	1	0.7

有効票数 = 145

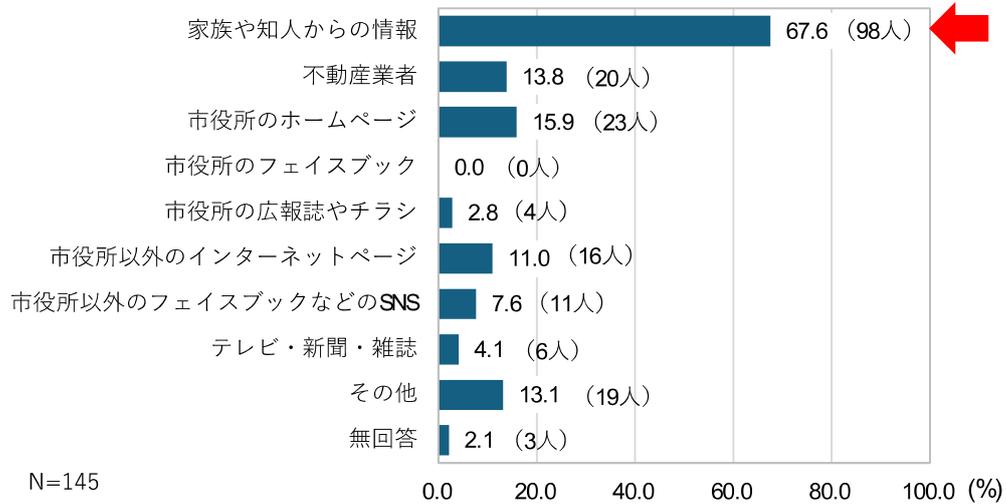


問 17 問 15 で「2. 他の市町村も検討した」を選んだ方にうかがいます。

他の市町村と検討した結果、一関市に決めた理由として大きかったものは何ですか。(あてはまるもの3つまで○)



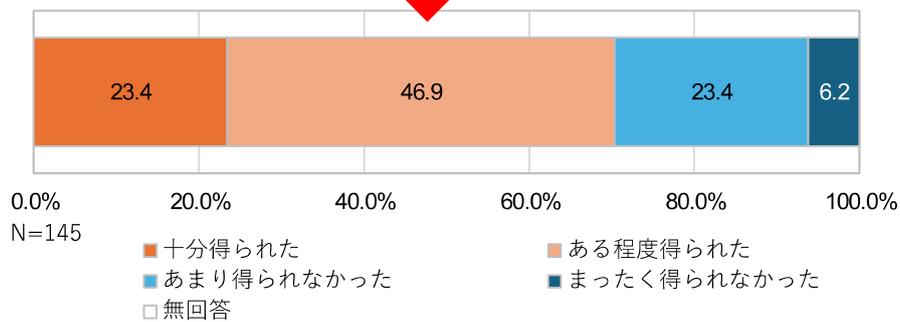
問 19 転入前に、一関市での生活環境に関する情報はどのような手段で得ていましたか。(あてはまるもの3つまで○)



問 21 転入前に、一関市の生活環境に関する情報は十分得られていましたか。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	十分得られた	34	23.4
2	ある程度得られた	68	46.9
3	あまり得られなかった	34	23.4
4	まったく得られなかった	9	6.2
	無回答	0	0.0

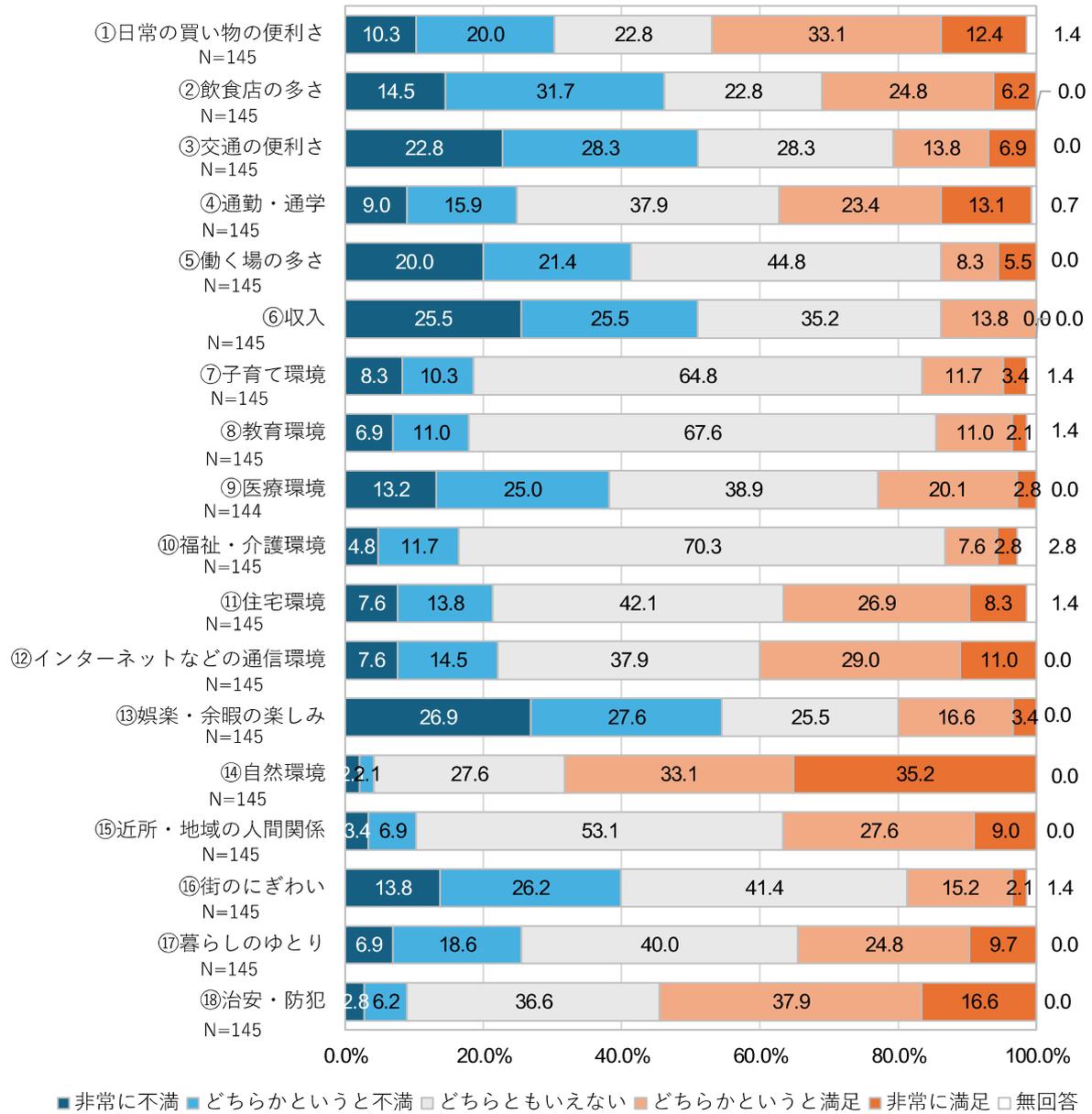
有効票数 = 145



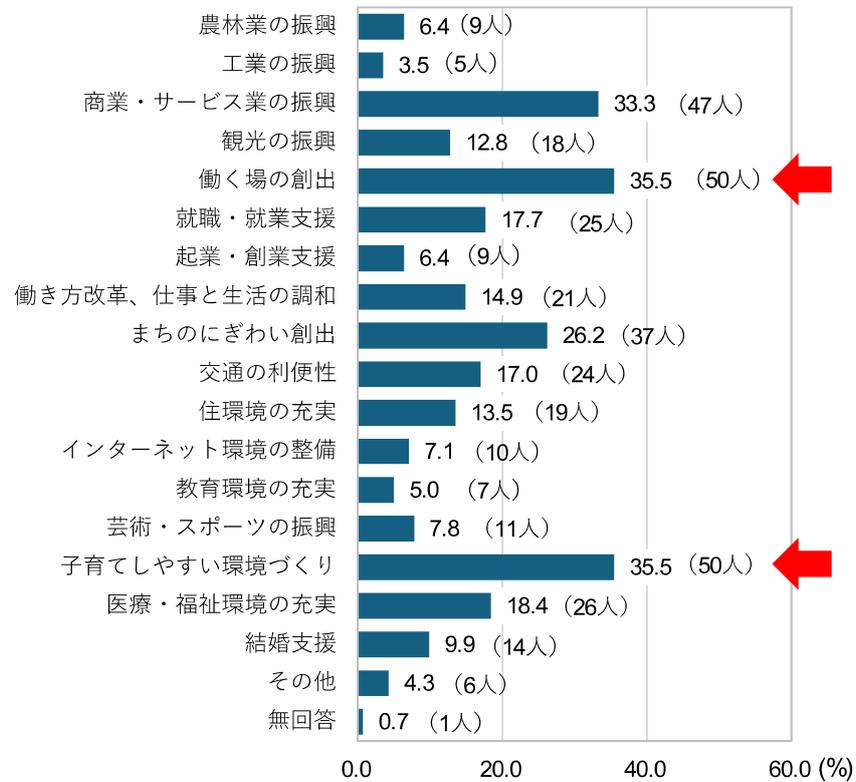
(2) まちづくりについて

問 22 以前にお住まいの市区町村と比べて、一関市の生活環境の満足度をうかがいます。次の各項目について、1「非常に不満」～5「非常に満足」の5段階評価で、それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

		非常に不満	どちらかという不満	どちらともいえない	どちらかという満足	非常に満足	無回答	計
①日常の買い物の 便利さ	(人)	15	29	33	48	18	2	145
	(%)	10.3	20.0	22.8	33.1	12.4	1.4	100.0
②飲食店の多さ	(人)	21	46	33	36	9	0	145
	(%)	14.5	31.7	22.8	24.8	6.2	0.0	100.0
③交通の便利さ	(人)	33	41	41	20	10	0	145
	(%)	22.8	28.3	28.3	13.8	6.9	0.0	100.0
④通勤・通学	(人)	13	23	55	34	19	1	145
	(%)	9.0	15.9	37.9	23.4	13.1	0.7	100.0
⑤働く場の多さ	(人)	29	31	65	12	8	0	145
	(%)	20.0	21.4	44.8	8.3	5.5	0.0	100.0
⑥収入	(人)	37	37	51	20	0	0	145
	(%)	25.5	25.5	35.2	13.8	0.0	0.0	100.0
⑦子育て環境	(人)	12	15	94	17	5	2	145
	(%)	8.3	10.3	64.8	11.7	3.4	1.4	100.0
⑧教育環境	(人)	10	16	98	16	3	2	145
	(%)	6.9	11.0	67.6	11.0	2.1	1.4	100.0
⑨医療環境	(人)	19	36	56	29	4	0	144
	(%)	13.2	25.0	38.9	20.1	2.8	0.0	100.0
⑩福祉・介護環境	(人)	7	17	102	11	4	4	145
	(%)	4.8	11.7	70.3	7.6	2.8	2.8	100.0
⑪住宅環境	(人)	11	20	61	39	12	2	145
	(%)	7.6	13.8	42.1	26.9	8.3	1.4	100.0
⑫インターネット などの通信環境	(人)	11	21	55	42	16	0	145
	(%)	7.6	14.5	37.9	29.0	11.0	0.0	100.0
⑬娯楽・余暇の楽 しみ	(人)	39	40	37	24	5	0	145
	(%)	26.9	27.6	25.5	16.6	3.4	0.0	100.0
⑭自然環境	(人)	3	3	40	48	51	0	145
	(%)	2.1	2.1	27.6	33.1	35.2	0.0	100.0
⑮近所・地域の人 間関係	(人)	5	10	77	40	13	0	145
	(%)	3.4	6.9	53.1	27.6	9.0	0.0	100.0
⑯街のにぎわい	(人)	20	38	60	22	3	2	145
	(%)	13.8	26.2	41.4	15.2	2.1	1.4	100.0
⑰暮らしのゆとり	(人)	10	27	58	36	14	0	145
	(%)	6.9	18.6	40.0	24.8	9.7	0.0	100.0
⑱治安・防犯	(人)	4	9	53	55	24	0	145
	(%)	2.8	6.2	36.6	37.9	16.6	0.0	100.0



問 23 一関市が住みたいと思われるまちになるために、どのような分野に力を入れればよいと思いますか。(あてはまるもの3つまで○)



N=141

第7章 転出者に関するアンケート

1. 回答結果

有効回答数:117 件(回答率 23.4%)

【回答結果】

種類	配布数	回答数		回答率	
		調査票	WEB	調査票	WEB
転出者	500 件	117 件	39 件	78 件	23.4% 7.8% 15.6%

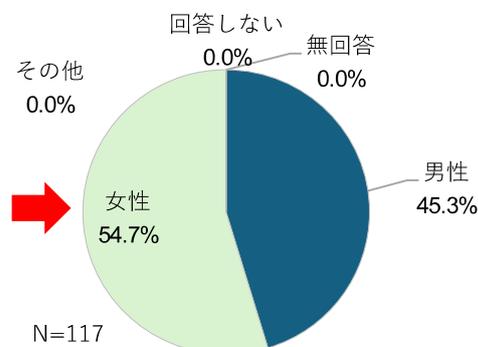
※合計 500 件を発送後、住所があっても住んでいる実態が無い等のため返送が 48 部あった。

2. 回答者の属性

問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	男性	53	45.3
2	女性	64	54.7
3	その他	0	0.0
4	回答しない	0	0.0
	無回答	0	0.0

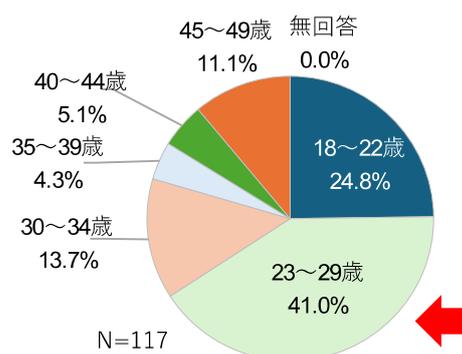
有効票数 = 117



問2 あなたの年齢をお書きください。

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	18~22歳	29	24.8
2	23~29歳	48	41.0
3	30~34歳	16	13.7
4	35~39歳	5	4.3
5	40~44歳	6	5.1
6	45~49歳	13	11.1
	無回答	0	0.0

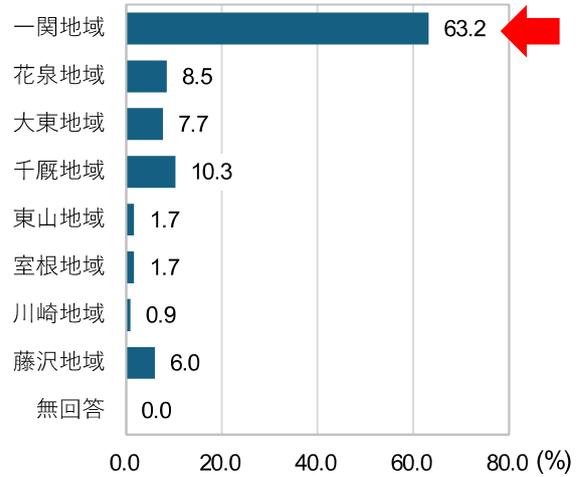
有効票数 = 117



問3 一関市でお住まいになられていた地域を教えてください。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	一関地域	74	63.2
2	花泉地域	10	8.5
3	大東地域	9	7.7
4	千厩地域	12	10.3
5	東山地域	2	1.7
6	室根地域	2	1.7
7	川崎地域	1	0.9
8	藤沢地域	7	6.0
	無回答	0	0.0

有効票数 = 117

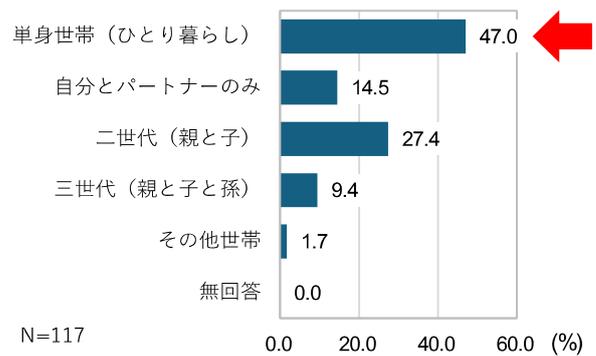


N=117

問4 あなたの家族構成は、次のどれですか。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	単身世帯 (ひとり暮らし)	55	47.0
2	自分とパートナーのみ	17	14.5
3	二世帯 (親と子)	32	27.4
4	三世帯 (親と子と孫)	11	9.4
5	その他世帯	2	1.7
	無回答	0	0.0

有効票数 = 117



N=117

問6 一関市にはおおむね何年、お住まいになりましたか。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	1年未満	3	2.6
2	1年から5年未満	36	30.8
3	5年から10年未満	7	6.0
4	10年から20年未満	40	34.2
5	20年から30年未満	24	20.5
6	30年以上	7	6.0
	無回答	0	0.0

有効票数 = 117

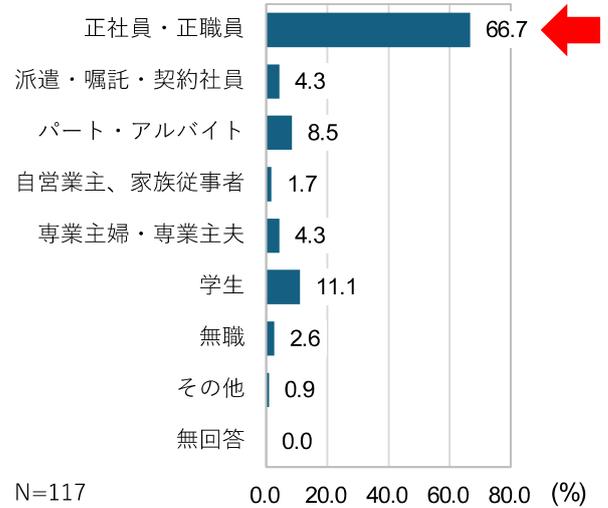


N=117

問7 あなたの就労状況を教えてください。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	正社員・正職員	78	66.7
2	派遣・嘱託・契約社員	5	4.3
3	パート・アルバイト	10	8.5
4	自営業主、家族従事者	2	1.7
5	専業主婦・専業主夫	5	4.3
6	学生	13	11.1
7	無職	3	2.6
8	その他	1	0.9
	無回答	0	0.0

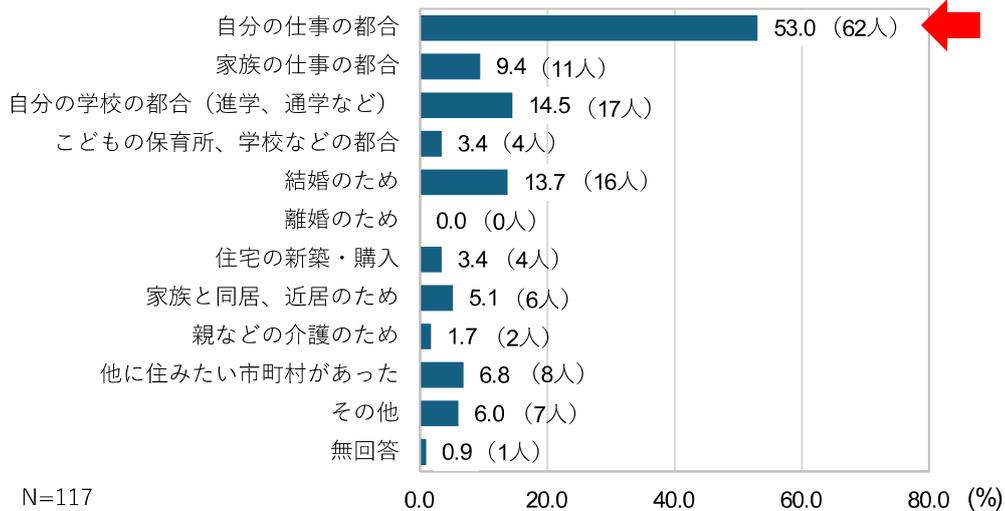
有効票数 = 117



3. 調査結果

(1) 転出の経緯について

問11 一関市から転出された主な理由は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

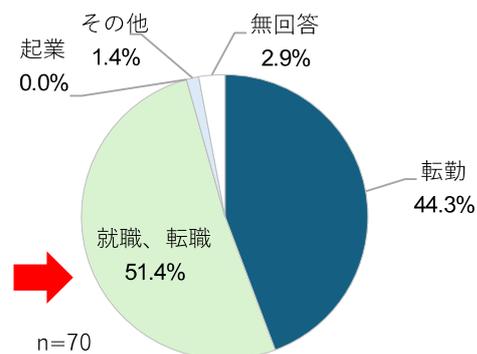


問13 問11で「1. 自分の仕事の都合」または「2. 家族の仕事の都合」を選んだ方にうかがいます。

仕事の都合の具体的な内容は何ですか。(1つに○)

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	転勤	31	44.3
2	就職、転職	36	51.4
3	起業	0	0.0
4	その他	1	1.4
	無回答	2	2.9

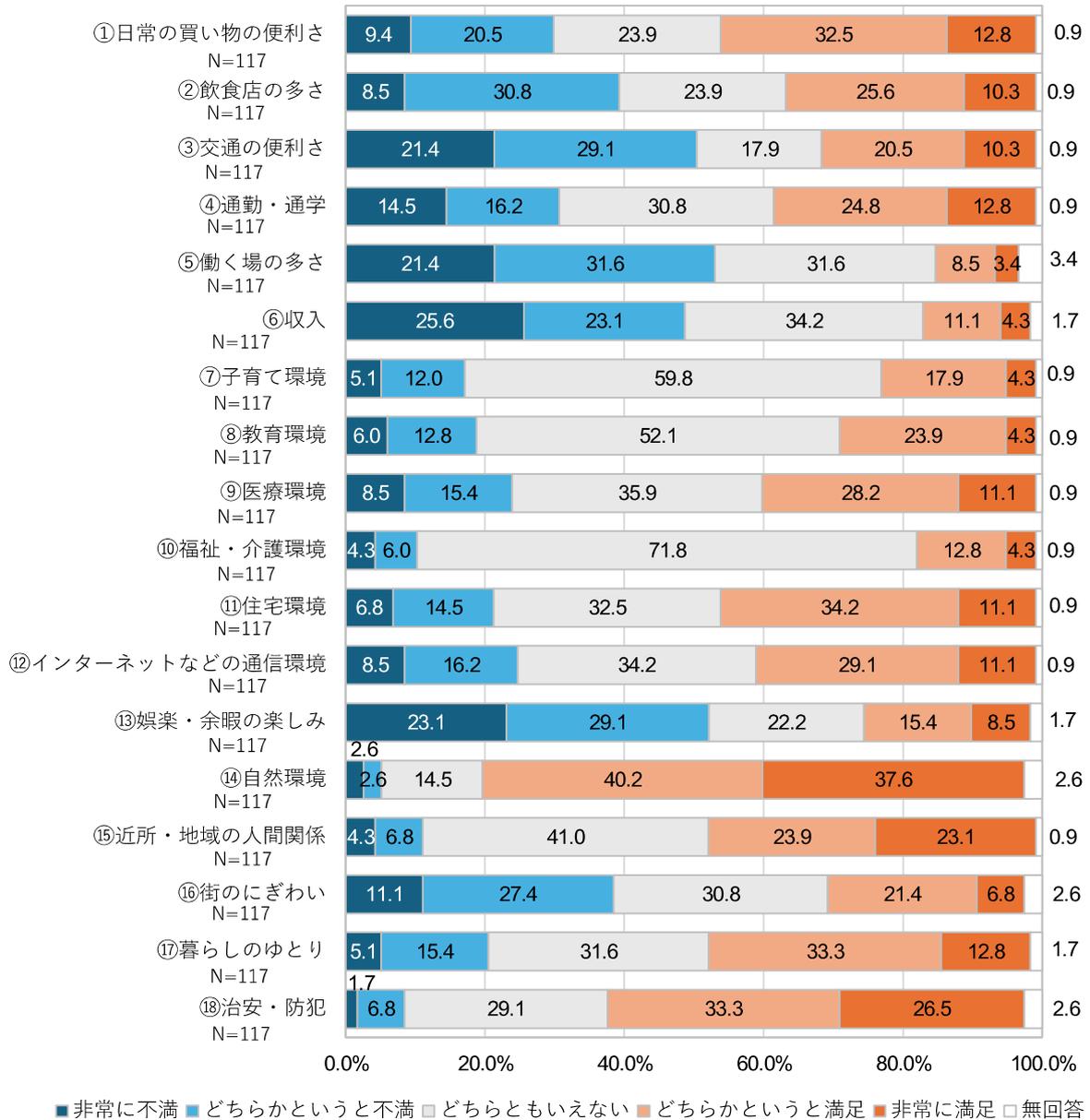
有効票数 = 70



(2) まちづくりについて

問 15 現在お住まいの市区町村と比べて、一関市にお住まいだった際の生活環境について満足度をうかがいます。次の各項目について、1「非常に不満」～5「非常に満足」の5段階評価で、それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

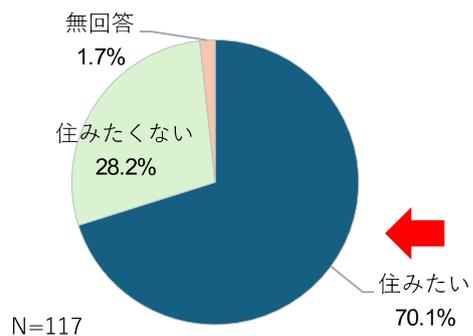
		非常に不満	どちらかという と不満	どちらとも いえない	どちらか という と満足	非常に満足	無回答	計
①日常の買い物の 便利さ	(人)	11	24	28	38	15	1	117
	(%)	9.4	20.5	23.9	32.5	12.8	0.9	100.0
②飲食店の多さ	(人)	10	36	28	30	12	1	117
	(%)	8.5	30.8	23.9	25.6	10.3	0.9	100.0
③交通の便利さ	(人)	25	34	21	24	12	1	117
	(%)	21.4	29.1	17.9	20.5	10.3	0.9	100.0
④通勤・通学	(人)	17	19	36	29	15	1	117
	(%)	14.5	16.2	30.8	24.8	12.8	0.9	100.0
⑤働く場の多さ	(人)	25	37	37	10	4	4	117
	(%)	21.4	31.6	31.6	8.5	3.4	3.4	100.0
⑥収入	(人)	30	27	40	13	5	2	117
	(%)	25.6	23.1	34.2	11.1	4.3	1.7	100.0
⑦子育て環境	(人)	6	14	70	21	5	1	117
	(%)	5.1	12.0	59.8	17.9	4.3	0.9	100.0
⑧教育環境	(人)	7	15	61	28	5	1	117
	(%)	6.0	12.8	52.1	23.9	4.3	0.9	100.0
⑨医療環境	(人)	10	18	42	33	13	1	117
	(%)	8.5	15.4	35.9	28.2	11.1	0.9	100.0
⑩福祉・介護環境	(人)	5	7	84	15	5	1	117
	(%)	4.3	6.0	71.8	12.8	4.3	0.9	100.0
⑪住宅環境	(人)	8	17	38	40	13	1	117
	(%)	6.8	14.5	32.5	34.2	11.1	0.9	100.0
⑫インターネット などの通信環境	(人)	10	19	40	34	13	1	117
	(%)	8.5	16.2	34.2	29.1	11.1	0.9	100.0
⑬娯楽・余暇の楽 しみ	(人)	27	34	26	18	10	2	117
	(%)	23.1	29.1	22.2	15.4	8.5	1.7	100.0
⑭自然環境	(人)	3	3	17	47	44	3	117
	(%)	2.6	2.6	14.5	40.2	37.6	2.6	100.1
⑮近所・地域の人 間関係	(人)	5	8	48	28	27	1	117
	(%)	4.3	6.8	41.0	23.9	23.1	0.9	100.0
⑯街のにぎわい	(人)	13	32	36	25	8	3	117
	(%)	11.1	27.4	30.8	21.4	6.8	2.6	100.0
⑰暮らしのゆとり	(人)	6	18	37	39	15	2	117
	(%)	5.1	15.4	31.6	33.3	12.8	1.7	100.0
⑰治安・防犯	(人)	2	8	34	39	31	3	117
	(%)	1.7	6.8	29.1	33.3	26.5	2.6	100.0



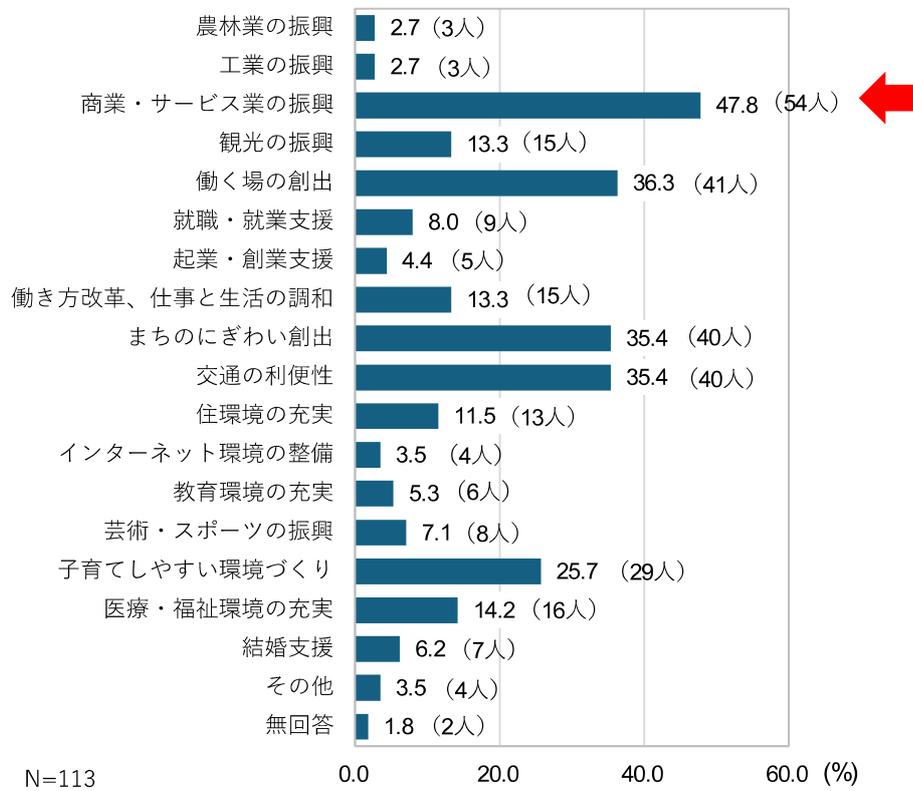
問 16 機会があれば、もう一度一関市に住みたいですか。(1つに○)

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 住みたい	82	70.1
2 住みたくない	33	28.2
無回答	2	1.7

有効票数 = 117



問 19 一関市が住みたいと思われるまちになるためにどのような分野に力を入れればよいと思いますか。(あてはまるもの3つまで○)

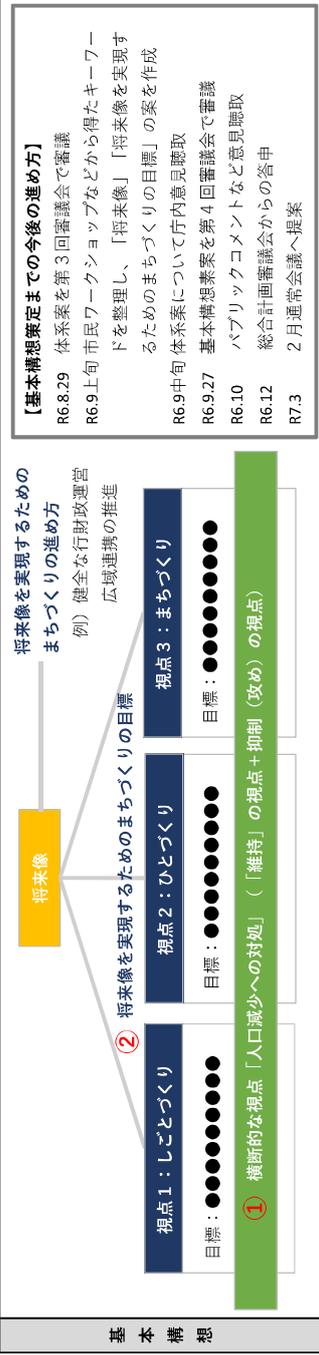


総合計画、総合戦略、人口ビジョン一体化後の体系について

1 一体化の趣旨

当市の最大の課題である人口減少を踏まえた方向性や施策を分かりやすく整理する。(＝方向性の一本化)

2 一体化後の体系案



【参考】現計画体系図、経過は別紙のとおり

【基本構想策定までの今後の進め方】
 R6.8.29 体系案を第3回審議会で審議
 R6.9.上旬 市民ワークショップなどから得たキーワードを整理し、「将来像」「将来像」を実現するためのまちづくりの目標の案を作成
 R6.9.中旬 体系案について庁内意見聴取
 R6.9.27 基本構想案を第4回審議会で審議
 R6.10 パブリックコメントなど意見聴取
 R6.12 総合計画審議会からの答申
 R7.3 2月通常会議へ提案

【現計画からの変更点】
① 「人口減少への対処」の観点での横断的な方向性を示す
 人口減少を踏まえた市の方向性を示す(「維持」+「抑制」の観点)
② まちづくりの目標を「しごとづくり」「ひとづくり」「まちづくり」の観点で整理する
 目標を3つの観点で整理することで、基本計画に記載する施策も3分類化し、人口減少を踏まえた施策として分かりやすく整理する
 =「しごと」があるから「ひと」が集まり「まち」になるというシリンブルな考え方に整理
③ 横断的なプロジェクト＝重点プロジェクト(総合戦略の基本的な方向性)として人口減少抑制のための施策を設定
 ①で方向性を示した人口減少への対処のうち、人口減少抑制のための「攻めの施策」(減らさない)を重点プロジェクト(総合戦略の基本的な方向性)として横断的に取り組む。
④ 人口ビジョン(抜粋)
 人口減少の現状と合わせ、③の人口減少抑制のための「攻めの施策」を行った場合の将来展望人口を示す。人口ビジョン自体は基本計画の基礎資料として位置付ける。
⑤ 施策を3分類化
 基本構想で掲げた目標に合わせ、施策も3分類化する。
⑥ 指標をKPIとして整理する
 これまで総合計画で設定している136の指標と、総合戦略で設定している67のKPI・数値指標をKPIに一本化する。
 これまで総合計画で設定していた事業単位の指標は、個別計画で設定し進捗管理していく。
⑦ 総合戦略に該当する施策にはその旨を示す
 戦略に該当する施策を明記することで、③人口減少抑制のための「攻めの施策」を明確化する。
⑧ 分野横断的な施策で整理する
 縦割りのな施策ではなく「目指す姿」に向けて必要な施策を分野横断的に整理するため、個別の分野(子育て、雇用など)を示すのではなく、施策レベル(子育て環境の充実、働く場の選択性の充実に)で整理する。3区分にまたがる施策についても整理する
※議決について
 基本構想、基本計画ともに議決が必要
 一議決後の変更の想定
 ・人口ビジョンは資料として位置づけるため変更時の議決不要
 ・総合戦略は施策レベルの記載をし、事業名は掲載しない。施策を変更する改訂は想定されず、これまでのような事業レベルでの改訂は行わない。※北上市と同様

④ 人口ビジョン「将来展望人口」

⑤ まちづくりの目標を達成するための施策

③ 横断的なプロジェクト(総合戦略の基本的な方向性) 人口減少抑制(攻め)のための施策	
視点1：しごとづくり KPI 例) 10～30代の転入者数 納税義務者1人あたりの所得など 例) 働く場の選択性の充実	視点2：ひとづくり KPI 例) 合計特殊出生率 など ※現総合戦略のKPI ⑥ 子育て環境の充実【戦略】 ▶ 目指す姿 みんなが安心して子育てできるまち ▶ 現状 結婚・出産・就労アンケートの結果では希望のことも の数を3人以上と回答した人が〇割いる ▶ 指標 出生数に占める第2子以降の割合 ▶ 施策の展開 地域で子育てを支える仕組みづくり ▶ 行政：市民、企業の役割 行政：妊娠から小学校入学時までの継続した支援 市民：地域全体で子どもの成長を見守る意識の醸成
視点3：まちづくり KPI 例) 公共交通、自家用車を使って1人で外出する高齢者の割合など 例) 移動の自由の確保	視点3：まちづくり 道路 公共交通 地域情報化 文化財の保護 骨守村荘園遺跡の保護 自然環境 環境保全 公園 資源・エネルギー循環型社会 住環境 景観 上水道 下水道 医療 防災 消防 救急 救助 防犯 交通安全 市民相談体制

⑧ ひと+まち施策 例)協働のまちづくりの推進

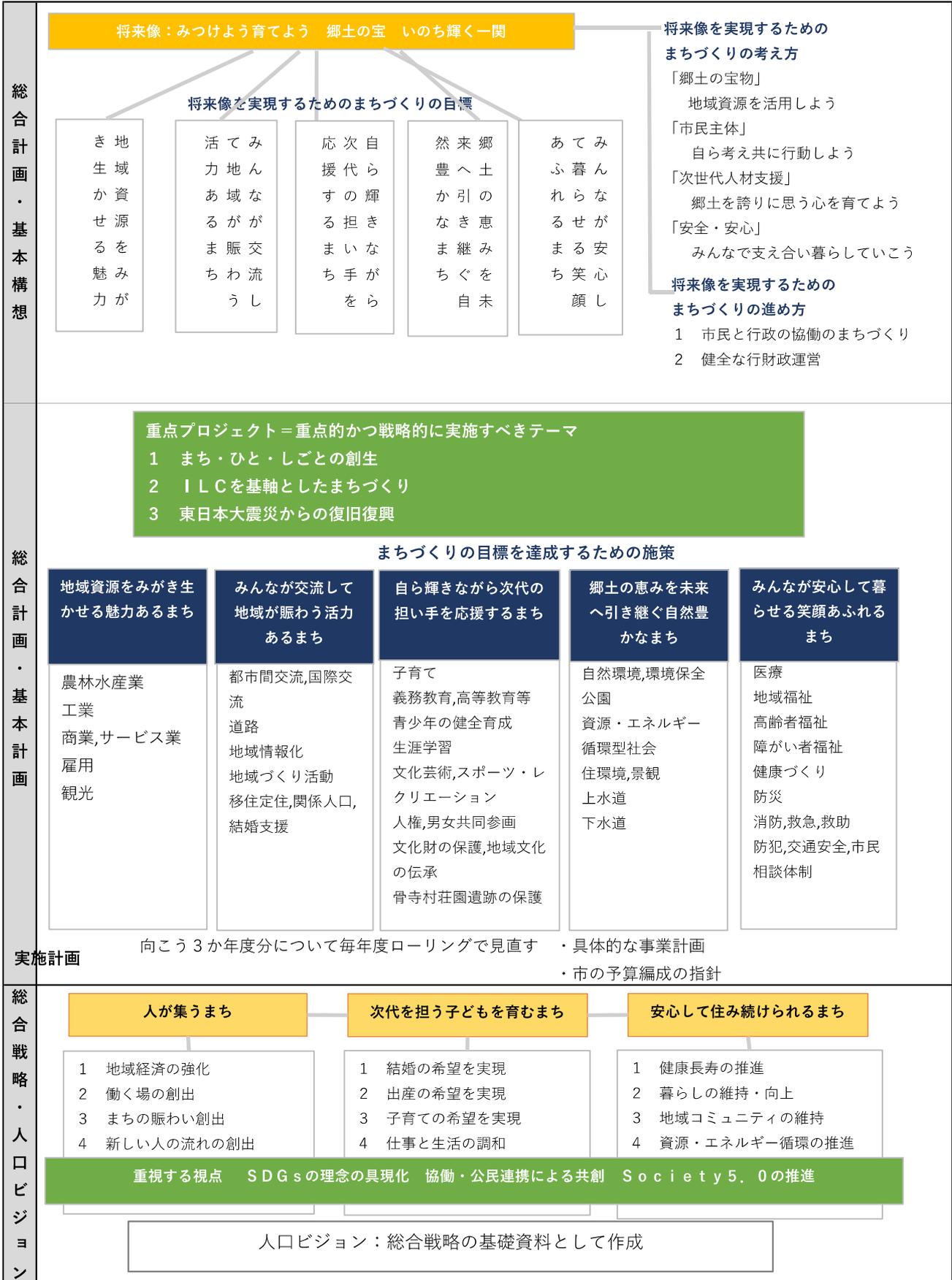
現計画の施策項目を振り分けた場合(例)	
視点1：しごとづくり 工業 農林水産業	視点2：ひとづくり 子育て 義務教育、高等教育 結婚支援 青少年の健全育成 生涯学習 人権 男女共同参画 地域福祉 高齢者福祉 障がい者福祉 健康づくり 商業・サービス業 観光
視点1：しごとづくり 地域づくり活動 関係人口 移住定住 都市間交流 国際交流 文化芸術 スポーツ・レクリエーション	視点3：まちづくり 道路 公共交通 地域情報化 文化財の保護 骨守村荘園遺跡の保護 自然環境 環境保全 公園 資源・エネルギー循環型社会 住環境 景観 上水道 下水道 医療 防災 消防 救急 救助 防犯 交通安全 市民相談体制

実施計画
 向こう3か年程度分について毎年度ローリングで見直す
 ・具体的な事業計画
 ・市の予算編成の指針

1 経過

- R5.9.11 市長副市長協議において次期総合計画策定時は総合戦略、人口ビジョンを一体化して策定することで方針決定
- R5.11.20 令和5年度第2回総合計画審議会
- R6.3.15 令和5年度第3回総合計画審議会 一体化することについても含めた「一関市総合計画策定基本方針」を審議
- R6.3.29 「一関市総合計画策定基本方針」市長決裁

2 現計画の体系



令和6年度における有識者会議開催等のスケジュールについて

【参考資料】
令和6年度第2回まち・ひと・しごと創生有識者会議
令和6年8月30日(金)

※前回会議(5/10開催)で示したスケジュールを最新の情報に更新

R7														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～	
有識者会議		■第1回 ・アンケート内容			■第2回 ・アンケート結果 ・ワークショップ結果 ・総合計画等との一体化後の体系案	■第3回 ・アンケート結果 ・ワークショップ結果 ・総合計画、総合戦略等との一体化後の体系案	■第4回 ・アンケート調査追加分析結果 ・基本構想草案 ・アンケート調査追加分析結果	■第5回 ・基本構想素案 ・主な指標令和5年度実績報告	■第6回 ・基本構想素案 ・基本構想答申案 ・総合計画前期基本計画体系案	■第7回 ・基本構想答申案 ・前期基本計画体系案	■第8回 ・前期基本計画	■第9回 ・総合戦略改定 ・前期基本計画		
全体	諮問								基本構想答申			基本構想議決	12月 前期基本計画 議決	
(審議会)	■第1回 ・アンケート内容 ・ワークショップ内容	■第2回 ・アンケート内容			■第3回 ・アンケート結果 ・ワークショップ結果 ・総合計画、総合戦略等との一体化後の体系案	■第4回 ・アンケート調査追加分析結果 ・基本構想草案 ・アンケート調査追加分析結果	■第5回 ・基本構想素案 ・主な指標令和5年度実績報告	■第6回 ・基本構想素案 ・基本構想答申案 ・総合計画前期基本計画体系案	■第7回 ・基本構想答申案 ・前期基本計画体系案	■第8回 ・前期基本計画				全体会・分科会 合わせて8回程度を予定
(審議会)		第2回審議会「アンケート部会」「ワークショップ部会」を設けることについて了承	部会への参加意向調査	7/20 ワークショップ部会 市民ワークショップ部会にオブザーバー参加	8/9 アンケート部会に取りまとめ結果を報告 8/20 アンケート分析結果を報告し意見提出依頼(9/2締切)	9/3 ワークショップ部会ワークショップ等「将来後」の検討「本目標」の検討	意見を基に追加分析	分析結果を前期基本計画策定における ・現状分析 ・目指す姿の設定に活用						
アンケート	審議会での意見を踏まえ各議で検討	アンケート素案について委員から意見聴取	6/18 発送	7/5 回答締切→集計作業	第3回審議会、アンケート部会などで結果に対する意見聴取	結果を基本構想の ・将来後 ・基本目標へ反映								
ワークショップ				7/20 ワークショップ開催→結果取りまとめ作業	第3回審議会での結果に対する意見聴取									
その他														タウンミーティング パブリックコメント

R6